

---

オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント  
スマートデバイスマネジメント  
Android キットティングマニュアル

最終更新日 2024 年 4 月 22 日  
(Web サイト ver.9.18.0)

株式会社オプティム  
(c)東日本電信電話株式会社

---

## はじめに

本マニュアルでは、オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント（以下、本製品と呼ぶ）の操作ほか、各機能の概要、画面の説明、設定操作について説明しています。

また、要点となる各種の内容を以下に記載しています。これらの内容をご理解の上、マニュアルをお読みください。



### 名称・呼称

本マニュアルに登場する特定の企業、人について、以下の定義で記載しています。

名称	説明
サービス企業	本製品を提供する企業。
管理者	本製品の管理サイト（機器の管理・運用を行う Web サイト）を運用する者。
端末使用者	本製品で管理している端末を使用する者。
システム管理者	企業の社内システム（サーバー・インフラなど）を管理する者。

### 注意・ポイントマーク

操作を行う場合に注意する点や、操作のポイントとなる点を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	データの破損や消失など、特に注意していただきたい内容を記載しています。
	操作のポイントや知っておくと便利な内容を記載しています。




### 記号

画面に表示されるボタンやメニュー、キーボードのキーなどを示す場合は、以下の記号で記載しています。

マーク	説明
[ ]	ボタン、メニュー、タブ、リンク、チェックボックス、ラジオボタンなどの名称を示しています。
	画面名、機能名、項目名、マニュアル内の参照先などを示しています。
『 』	マニュアルや資料などの名称を示しています。
< >	キーボードなどのハードキー名称（スペースキーは〈スペース〉と表記）を示しています。

### 参照マーク

他のマニュアルや他のページへなどの参照を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	他のページや Web サイトへの参照を示しています。クリックすると該当箇所にジャンプします。
	セクション内の画面への参照を示しています。クリックすると該当の画面にジャンプします。
	他のマニュアルや資料への参照を示しています。

### 用語集

不明な用語については、以下を参照してください。

 『FAQ 一覧』

## 免責事項

---

- 本マニュアルは、ユーザー種別が [管理者] のユーザーを対象としています。[管理者] 以外のユーザー種別でログインした場合は、操作が制限されます。
- iPad OS の操作は iOS と同様です。差異がある場合は iPad OS 用の記載をしています。
- 画面上のバージョン表記は、実際の表示と異なる場合があります。
- 本マニュアルに記載されている Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。
- OS のバージョンやブラウザにより、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome を例に説明しています。

## 登録商標

---

- Apple、iPad、iPadOS、iPhone、Mac、macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。  
IOS は、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
- Android、Google Chrome、Google Cloud、Google マップ、Google Play、Google Workspace は、Google LLC の商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、各社の登録商標および商標です。

# 目次

[1 Android クライアントについて](#)

[2 キットニング方法を選択する](#)

[3 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う](#)

[4 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、Google Workspace アカウントを併用する](#)

[5 Google Workspace アカウントで Android Enterprise 連携を行う](#)

[6 その他のキットニング方法](#)

[7 オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント - Google 間の連携設定を変更する](#)

<b>1 Android クライアントについて</b> .....	<b>6</b>
1.1 概要 .....	7
1.2 OS サポートポリシー .....	7
1.3 動作環境 .....	7
<b>2 キットニング方法を選択する</b> .....	<b>8</b>
2.1 各キットニング方法の概要 .....	9
<b>3 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う</b> .....	<b>11</b>
3.1 Google アカウントを登録する .....	12
3.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合.....	12
3.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合.....	22
3.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合 .....	26
3.2 ユーザーを作成する .....	33
3.3 afw 識別子でキットニングする .....	35
3.4 端末にユーザーを割り当てる .....	44
<b>4 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、Google Workspace アカウントを併用する</b> .....	<b>46</b>
4.1 Google アカウントを登録する .....	47
4.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合.....	47
4.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合.....	57
4.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合 .....	61
4.2 ユーザーを作成する .....	68
4.3 afw 識別子でキットニングする .....	70
4.4 端末にユーザーを割り当てる .....	79
4.5 Google Workspace アカウントを併用する .....	81
4.5.1 Google Workspace アカウントを設定する.....	81
4.5.2 Google Workspace アカウントを追加する.....	85
4.5.3 アカウントの追加を禁止する .....	88


<b>5 Google Workspace アカウントで Android Enterprise 連携を行う</b> .....	<b>89</b>
5.1 トークンを発行する .....	90
5.2 Google Workspace アカウントを登録する .....	96
5.3 ユーザーを作成する .....	99
5.3.1 既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する .....	101
5.4 Google Workspace アカウントでキットティングする .....	103
<b>6 その他のキットティング方法</b> .....	<b>112</b>
6.1 QR コードでキットティングする .....	113
6.1.1 QR コードを表示する .....	113
6.1.2 QR コードを端末に読み込む .....	114
6.2 NFC でキットティングする .....	122
6.2.1 設定セットを作成する .....	122
6.2.2 親機を設定する .....	123
6.2.3 子機を設定する .....	126
6.3 ライセンス認証を行う .....	129
6.3.1 ユーザーID で認証する .....	129
6.3.2 企業コード・認証コードで認証する .....	130
<b>7 オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント – Google 間の連携設定を変更する</b> .....	<b>132</b>
7.1 Google アカウントを削除する .....	133
7.2 Google アカウントを再登録する .....	136
7.2.1 企業ドメインのメールアドレスで再登録する場合 .....	136
7.2.2 Gmail のメールアドレスで再登録する場合 .....	138
7.3 Google Workspace アカウントを削除する .....	142


---

# 1 Android クライアントについて

## 1.1 概要


本製品は、専門の知識を必要とせず、機器の管理・運用を行うサポートサービスです。Android 端末にアプリ「デバイスマネジメント エージェント（以下、エージェントと呼ぶ）」をインストールし認証すると、端末の状態や位置情報を確認したり、管理サイトから端末のリモートロックやリモートワイプ（初期化）をしたりできます。


 管理サイトの操作については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』




## 1.2 OS サポートポリシー

本製品では、確実な製品の動作とセキュリティ機能の提供を目的として、OS サポートポリシーを定めています。

 定期的に下位の OS バージョンのサポートを終了します。サポート対象外となる OS や端末を利用している場合は、OS アップデートまたは機種の変更をしてください。対応機種については、以下を参照してください。

 『Android エージェント対応端末表』

## 1.3 動作環境

対象 OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ストア版：Android 11～14</li> <li>●従来版：Android 2.0～8.x</li> <li> 従来版エージェントのサポートは終了しました。</li> <li> 詳細については以下を参照してください。</li> </ul> <p style="text-align: center;"> 『Android エージェント対応端末表』</p>
本体メモリ	200MB 以上の空き容量
SD カード	5MB 以上の空き容量（ダウンロードしたインストーラーを SD カードに保存する場合）
ネットワーク接続	3G、4G/LTE、5G または Wi-Fi でインターネットへアクセスができること。 直接またはプロキシを介して管理サイトと HTTPS 通信（443 番ポート）ができること。

## 2 キットティング方法を選択する

利用している端末、および Google Workspace アカウント利用の有無によりキットティング方法が異なります。以下を参照して、適切なキットティング方法を選択してください。



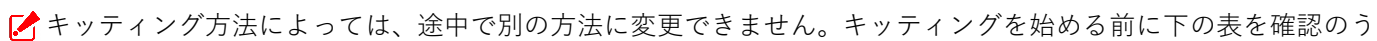
- キットティングを行うには、端末を工場出荷状態（初期設定画面）にする必要があります。

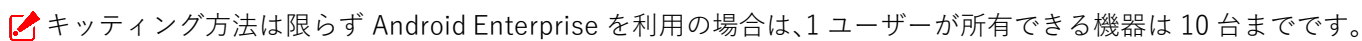


## 2.1 各キットニング方法の概要

エージェントのキットニングには、以下の 5 種類の方法があります。各方法の特徴については、下の表を参照してください。

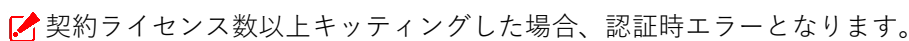
- afw 識別子
- afw 識別子 (Google Workspace アカウント併用)
- Google Workspace アカウント
- QR コード
- NFC

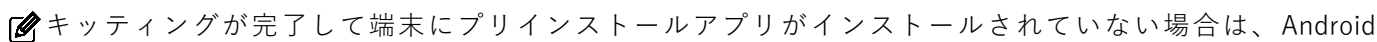
 キットニング方法によっては、途中で別の方法に変更できません。キットニングを始める前に下の表を確認のうえ、適切な方法を慎重に選択してください。


 キットニング方法は限らず Android Enterprise を利用の場合は、1 ユーザーが所有できる機器は 10 台までです。1 ユーザーに 11 台以上の機器を紐づけないでください。





1 ユーザーに 11 台以上の機器を紐づけると、端末に配信した Google アカウントが無効になります。アカウントで利用している Google Play ストアの閲覧やアプリのインストールができなくなります。





 NFC キットニングは、Android 6.0~9 の NFC 対応端末で利用できます。

 契約ライセンス数以上キットニングした場合、認証時エラーとなります。

 キットニングが完了して端末にプリインストールアプリがインストールされていない場合は、Android Enterprise でアプリを配信するか、Google Play ストアから手動でインストールしてください。Android Enterprise でのアプリ配信の詳細は、以下を参照してください。

 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』



キットニング方法	説明
afw 識別子	<p>端末のアクティベート時に表示される Google アカウント入力欄に、afw 識別子「afw#ntte_mdm」を入力します。事前の設定が少ない最も標準的なキットニング方法です。</p> <p>キットニングの手順については、以下を参照してください。</p> <p> 「Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う」11 ページ</p> <p> Google Workspace を契約している場合は、この方法を選択せず、必ず以下の方法でキットニングしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Google Workspace アカウント</li> </ul>
afw 識別子 (Google Workspace アカウント併用)	<p>afw 識別子でキットニングを行い、Google Workspace アカウントを追加します。Google アカウントと Google Workspace アカウントを併用して利用することができます。</p> <p>キットニングの手順については、以下を参照してください。</p> <p> 「Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、Google Workspace アカウントを併用する」46 ページ</p>
Google Workspace アカウント	<p>端末のアクティベート時に表示される Google アカウント入力欄に、Google Workspace アカウントを入力します。利用中の Google Workspace アカウントで Android Enterprise との連携を行う方法です。この方法には、以下のメリットがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Google Workspace アカウントを利用することで、別途管理用の Google アカウントを作成する必要がありません。</li> <li>• 端末から Google Workspace アカウントで Google のサービスを利用できます。</li> </ul> <p>キットニングの手順については、以下を参照してください。</p> <p> 「Google Workspace アカウントで Android Enterprise 連携を行う」89 ページ</p>

キットニング方法		説明
その他	QR コード	<p>初期設定画面を 6 回タップして QR コードリーダーをインストール後、指定の QR コードを読み込みます。</p> <p>キットニングの手順については、以下を参照してください。</p> <p> 「QR コードでキットニングする」 113 ページ</p>
	NFC	<p>NFC に対応した端末の親機を子機にかざし、エージェントをインストールします。</p> <p>キットニングの手順については、以下を参照してください。</p> <p> 「NFC でキットニングする」 122 ページ</p> <p> Android 6.0~9 の NFC 対応端末で利用できますが、動作保証の対象外です。NFC 対応端末については、以下を参照してください。</p> <p> 『Android エージェント対応端末表』</p>


## 3 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う

Android Enterprise を利用するには、端末をキットニングする前に Google アカウントで本製品と Google 間の連携設定を行います。

### 注意

- Android Enterprise の連携設定を行っていない Google アカウントが必要です。
- 連携設定を行ったアカウントの削除や再登録をしたい場合は、以下を参照してください。  
 「オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント - Google 間の連携設定を変更する」  
132 ページ
- 以下の項目は、初回のキットニング時のみ必要な操作です。  
 「Google アカウントを登録する」12 ページ

### 参考

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておくこと、キットニングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。  
 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」

## 3.1 Google アカウントを登録する

管理サイトに Android Enterprise 連携するための Google アカウントを登録します。

登録できる Google アカウントは、以下の 3 種類です。Google アカウントに応じて、いずれかの方法で登録してください。

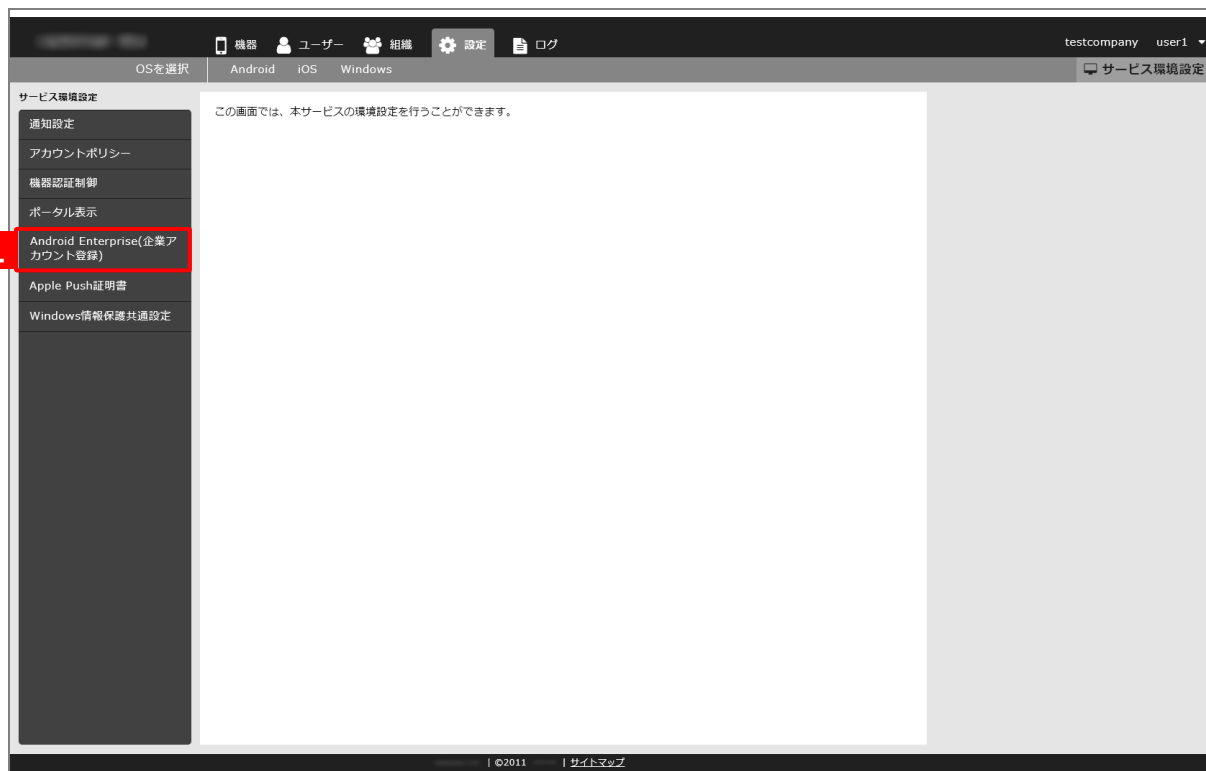
- 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合
  - ☑ Google が推奨する登録方法です。なるべくこの方法で登録してください。
- Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合
  - ☑ Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みの場合は、自動的にこの登録方法になります。
- Gmail のメールアドレスを登録する場合

### 3.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合

企業ドメインのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- ☑ Google が推奨する登録方法です。
- ☑ 企業で初めて登録した企業ドメインのメールアドレスの使用者が、ドメイン管理者です。その後、同じ企業ドメインで他のメールアドレスを登録するときは、ドメイン管理者に連絡してください。ドメイン管理者が Google の画面で他のメールアドレスを登録します。

- [1]** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



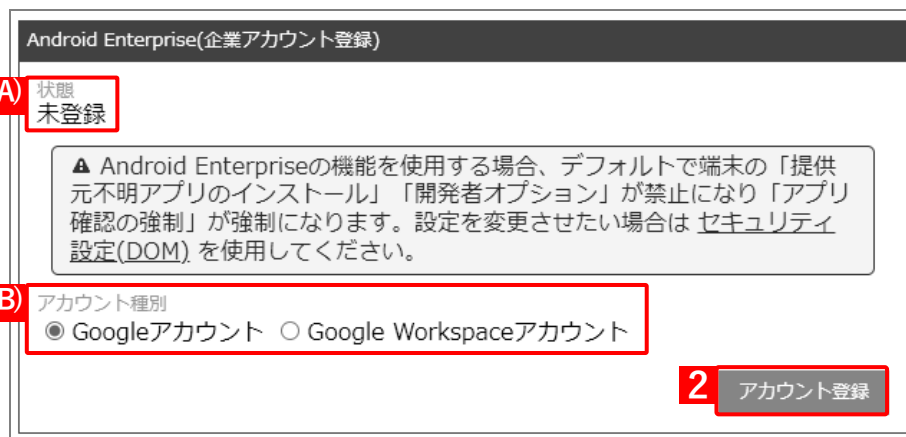
**【2】 [アカウント登録] をクリックします。**

📌 アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

✍ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

✍ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



**【3】 企業ドメインのメールアドレスを入力します。**

**【4】 [次へ] をクリックします。**

⇒ 企業で初めて企業ドメインのメールアドレスを登録した場合は、手順【3】で入力したメールアドレスに、Google からメールが届きます。メールを確認してください。



- すでに企業ドメインが登録されていた場合は、以下の画面が表示されます。  
企業のドメイン管理者に連絡してください。企業のドメイン管理者が不明な場合は、Google にお問い合わせください。



- ドメイン管理者のメールアドレスを他の企業で登録しようとした場合は、以下の画面が表示されます。  
(A) [許可] をクリックすると、企業登録が完了します。



**【5】** メールの内容を確認して、[メールアドレスの確認] をクリックします。

⇒ 情報登録画面が表示されます。



**【6】** 名、姓、会社名を入力して、国を選択します。

**【7】** [続行] をクリックします。

 名、姓、会社名を入力すると、[続行] がクリックできます。



**【8】** [次へ] をクリックします。



**【9】** 8 文字以上のパスワードを入力します。

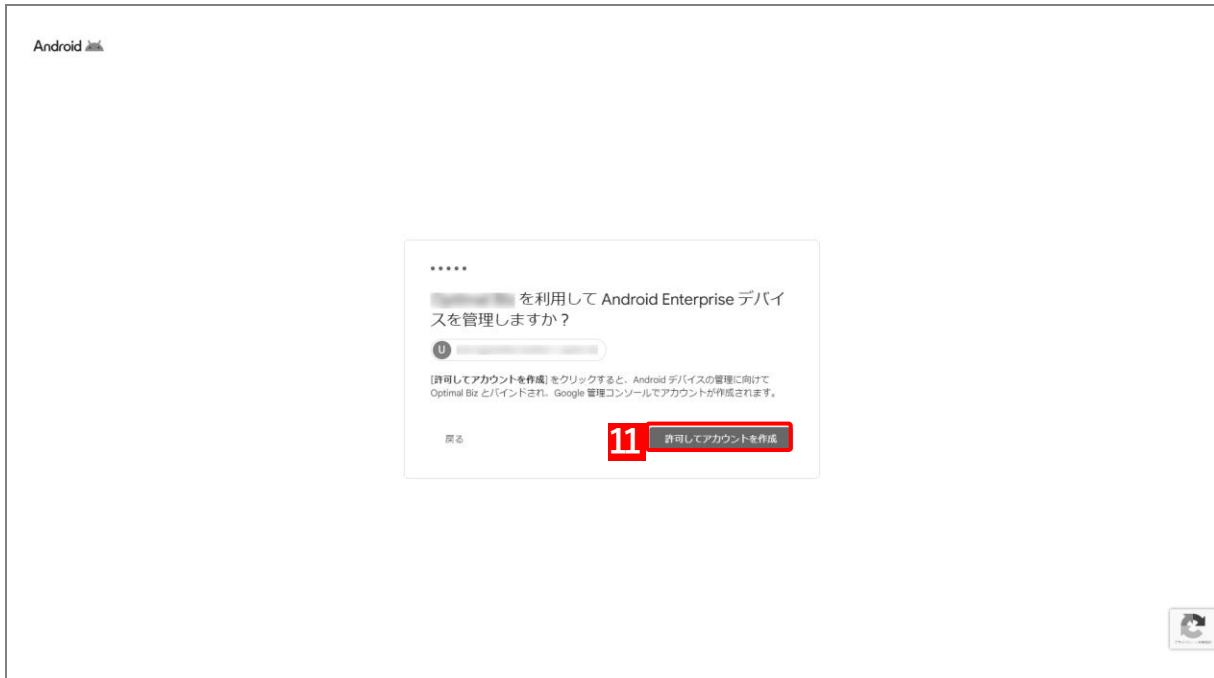
**【10】** [同意して続行] をクリックします。

パスワードを入力すると、[同意して続行] がクリックできます。



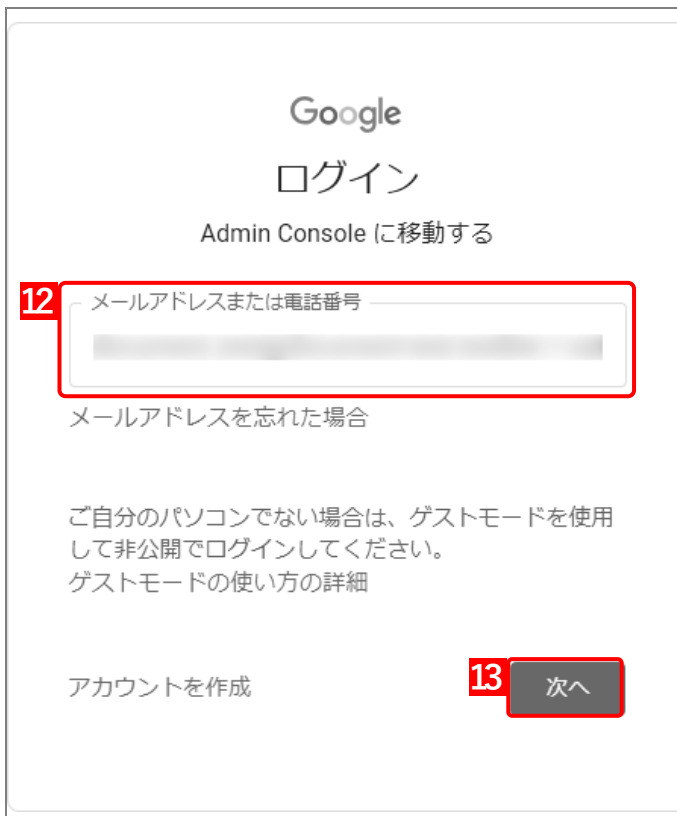


**【11】** [許可してアカウントを作成] をクリックします。



**【12】** 手順【3】で入力した企業ドメインのアドレスを入力します。

**【13】** [次へ] をクリックします。



**【14】** 手順【9】で入力したパスワードを入力します。

**【15】** [次へ] をクリックします。


⇒本人確認の画面が表示されます。

- 【16】 確認コードを受け取る電話番号を入力します。
- 【17】 確認コードの受け取り方法を選択します。
- 【18】 [コードを取得] をクリックします。

# Google

## 本人確認の実施

アクセスしようとしているアカウントで通常とは異なるアクティビティが検出されました。続行するには、以下の手順に沿って操作してください。



電話番号を指定して続行してください。ログインに使用できる確認コードを送信します。

国名  
[ 日本 ]

電話番号

**16**

この番号はセキュリティ保護の目的でのみ使用されます。  
通常のテキストメッセージ料金がかかります。

**確認コードの受け取り方法:**

**17**  テキストメッセージ (携帯電話のメール)  
 自動音声通話

**18**

確認コードが届かない場合は、サポート オプションをご確認ください。

- 【19】** 手順【16】で入力した電話番号で受け取った確認コードを入力します。  
**【20】** [確認] をクリックします。



- 【21】** [理解しました] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で使用したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意的識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

**(A)** 状態  
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別  
Googleアカウント

**(B)** アカウントメールアドレス

**(C)** 組織ID

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ [同意する] にチェックを入れて [アカウント削除] をクリックしてください。

同意する

アカウント削除

### 3.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合

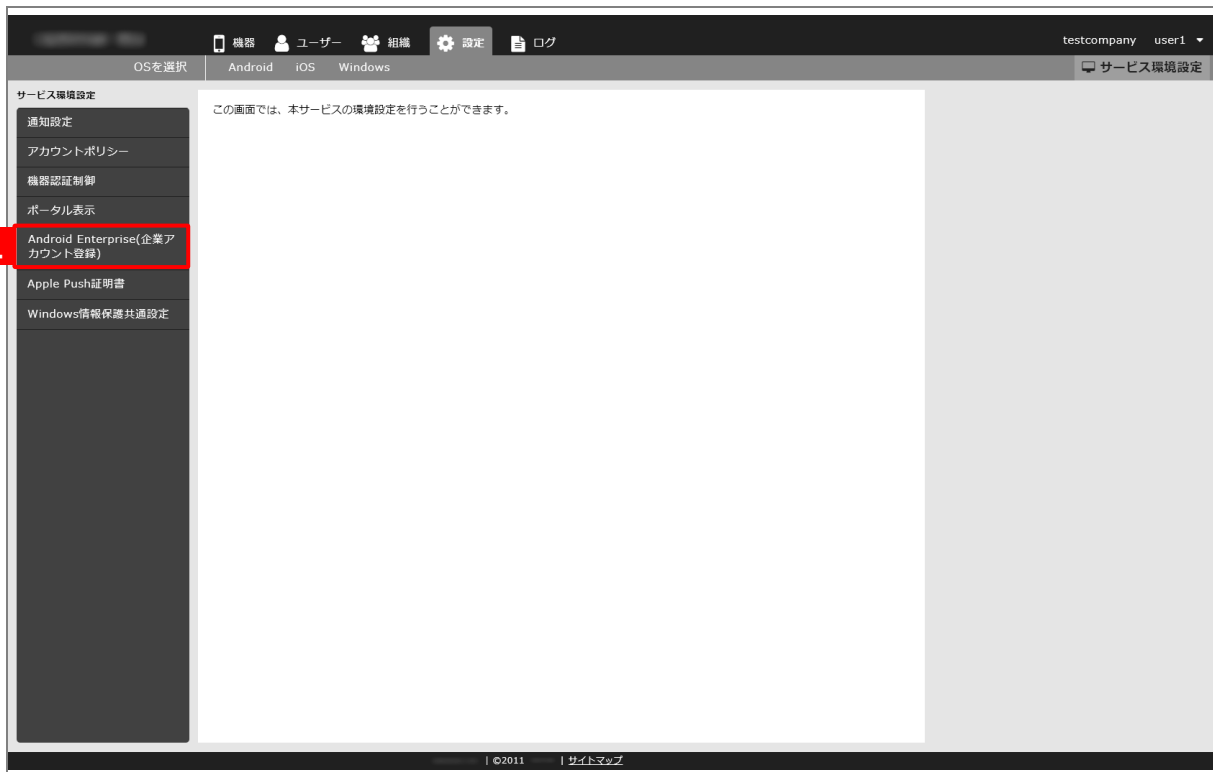
Microsoft ID アカウントのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

✂ Microsoft ID アカウントのメールアドレスは、Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みのものを使用してください。認証を行うため自動的に Microsoft の画面が表示されます。

✂ Microsoft ID アカウントについての詳細は、以下を参照してください。

🔗 <https://learn.microsoft.com/ja-jp/entra/identity-platform/v2-protocols-oidc>

**【1】** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



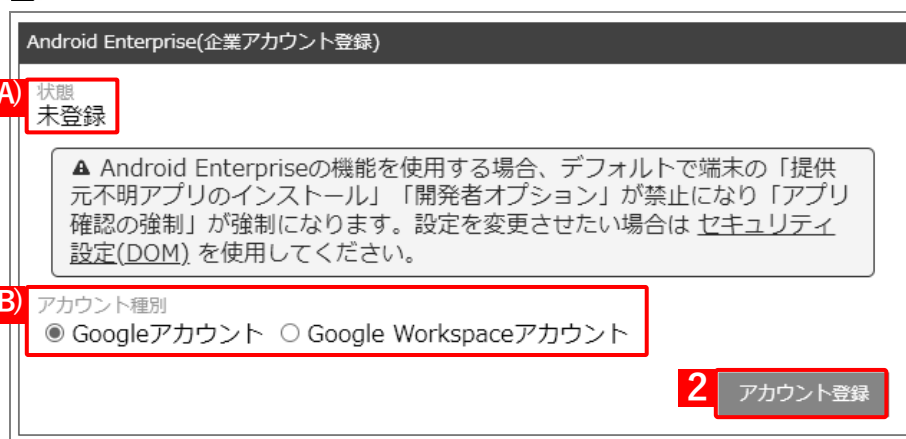
**[2] [アカウント登録] をクリックします。**

✚ アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

✎ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



**[3] Microsoft ID アカウントのメールアドレスを入力します。**

**[4] [次へ] をクリックします。**



**[5] [Microsoft でログイン] をクリックします。**

⇒ Microsoft の登録画面が表示されます。画面の指示にしたがい登録を行ってください。





⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で使したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態  
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別  
Googleアカウント

(B) アカウントメールアドレス

(C) 組織ID

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ【同意する】にチェックを入れて【アカウント削除】をクリックしてください。

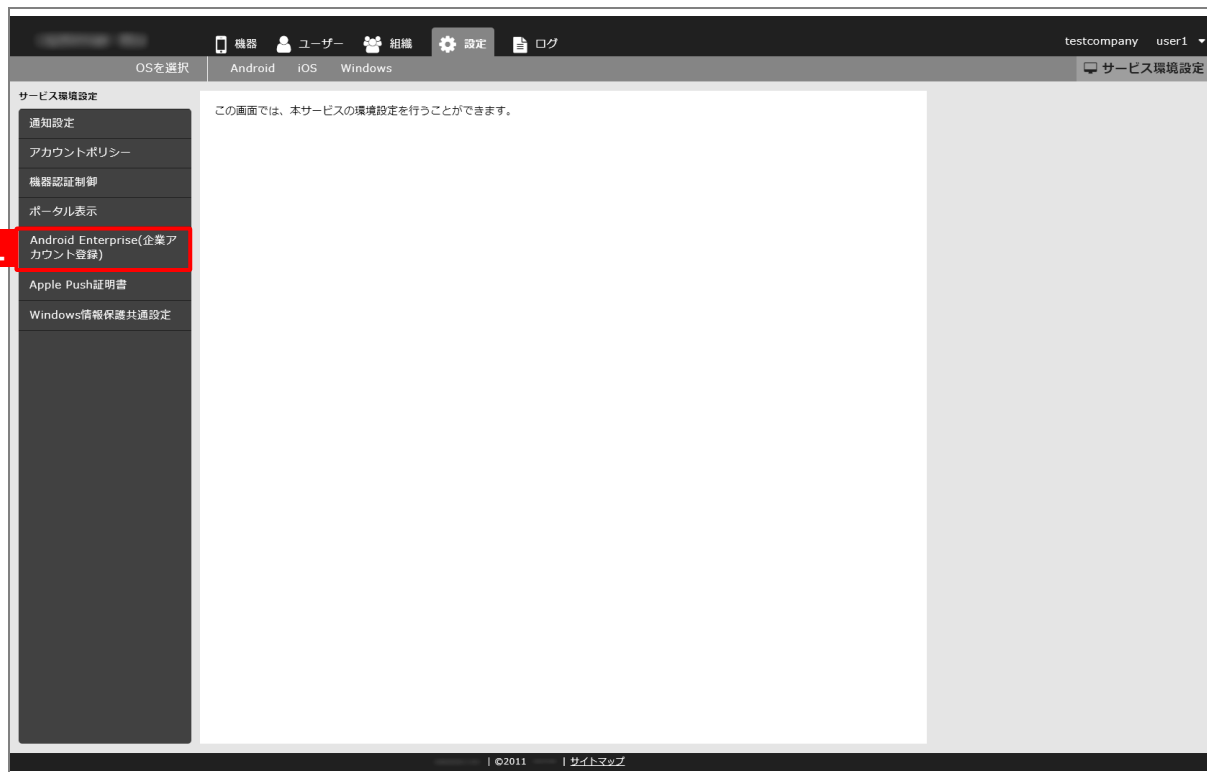
同意する

アカウント削除

### 3.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合

Gmail のメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- [1]** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



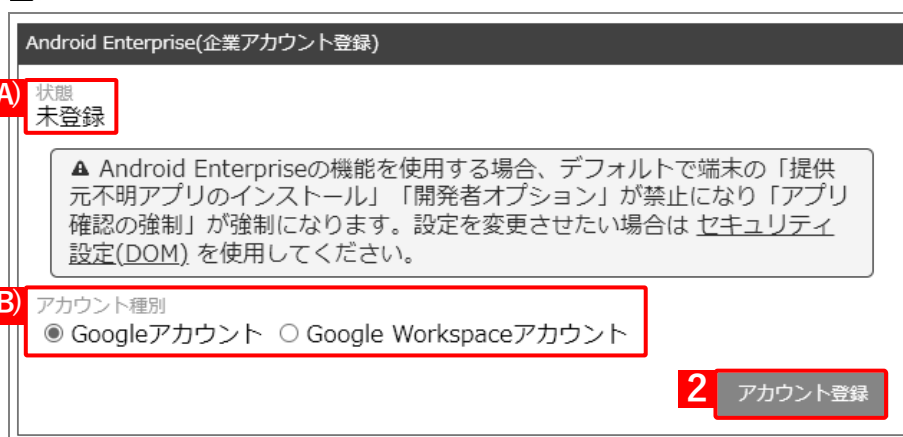
- [2]** [アカウント登録] をクリックします。

アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

(A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

(B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



**[3]** Gmail のメールアドレスを入力します。

**[4]** [次へ] をクリックします。

Android

.....

管理者アカウントを作成する

**3** 仕事用メールアドレスを入力してください\*

例: [名前]@[会社名].com

**4** 次へ

Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズ クラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

**[5]** 「Android のみ登録」の「登録」をクリックします。

⇒ Google Play ストアが表示されます。

Android

.....@gmail.com  
は個人のメールアドレス  
のようです

次のいずれかを選ぶことができます

仕事用メールアドレスで登録

お申し込みには、  
name@company.com のような仕事  
用メールアドレスが必要です

仕事用メールアドレスで再試行

会社のドメインを購入

company.com などのドメインや対  
応する name@company.com のメ  
ールアドレスがない場合は、新しい  
ドメインを購入してから登録を再試  
行できます。

新規ドメインを購入する

Android のみ登録

Android デバイスのみをデプロイす  
る場合は、managed Google Play  
アカウントエンタープライズを作  
成できます。

このアカウントを使用して、  
Chromebook や Chrome ブラウザ  
などの他の Google サービスを管理  
することはできません。詳細

**5** 登録

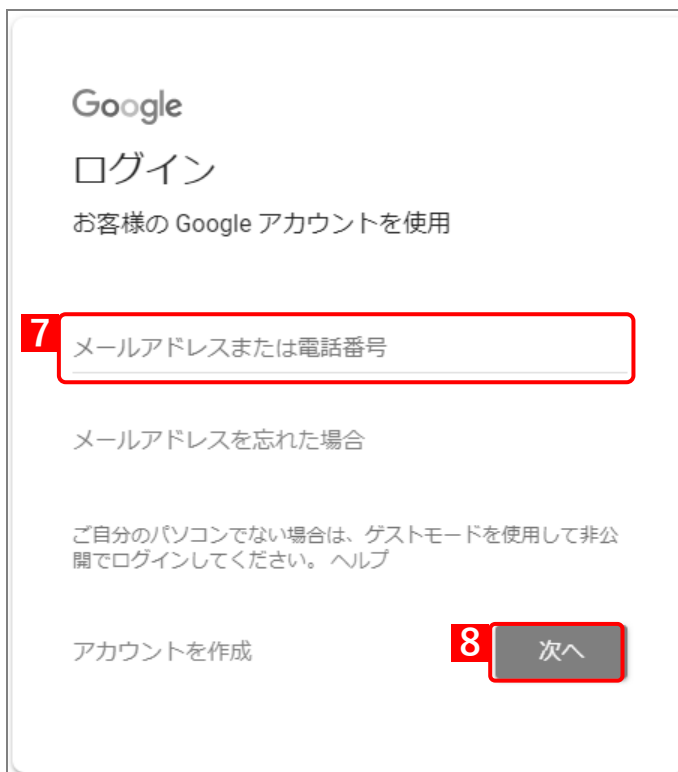
**【6】** [ログイン] をクリックします。

☑ 利用しているブラウザにより、Google Play ストアが正常に動作しないことがあります。



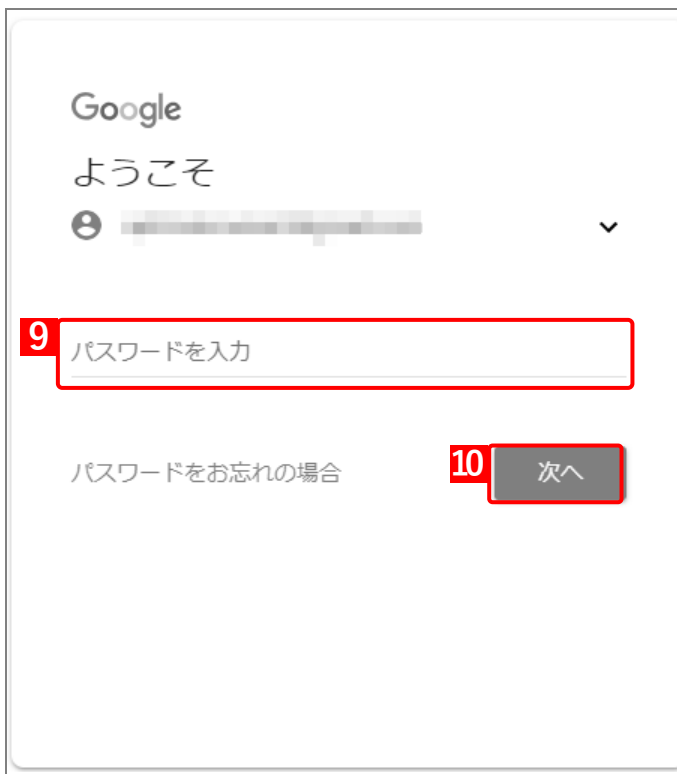
**【7】** 手順【3】で入力した Gmail のメールアドレスを入力します。

**【8】** [次へ] をクリックします。

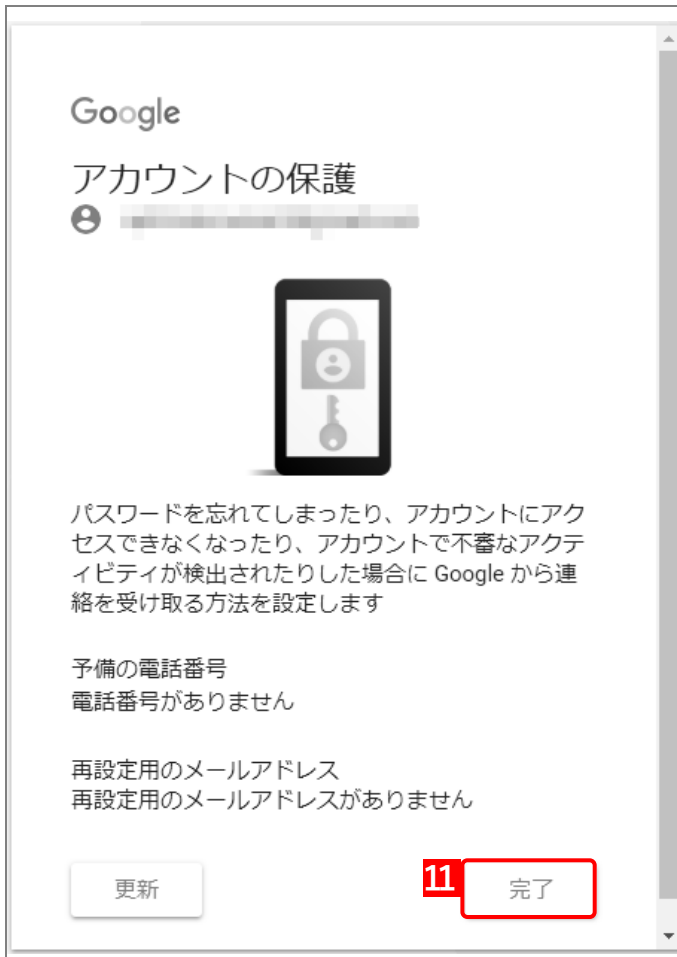


**【9】** パスワードを入力します。

**【10】** [次へ] をクリックします。



**【11】** [完了] をクリックします。



**【12】** [スタートガイド] をクリックします。



**【13】** 「組織名」を入力します。

**【14】** [次へ] をクリックします。



**【15】** 規約を確認し、同意にチェックを入れます。

**【16】** [確認] をクリックします。

- (A) データの保護責任者および EU 担当者は、任意入力です。必要に応じて入力します。データの保護責任者、EU 担当者についての詳細は、以下を参照してください。

<https://support.google.com/googleplay/work/answer/7681629>

連絡先情報

連絡先情報を入力してください

Google では、データ保護に関する法規制を遵守するための取り組みとして、顧客データ保護責任者様と EU 担当者様の連絡先情報を保管する必要があります。この情報は、Google のサービス内にあるデータのプライバシーやセキュリティに関する質問またはお知らせについてご連絡する場合に使用します。

この情報をまだご用意できていない場合は、managed Google Play の [管理者設定] から後で追加できます。

**(A)** データ保護責任者

名前

メール

モバイル端末

EU 担当者

名前

メール

モバイル端末

**15**  managed Google Play 契約を確認しました。この内容に同意します。

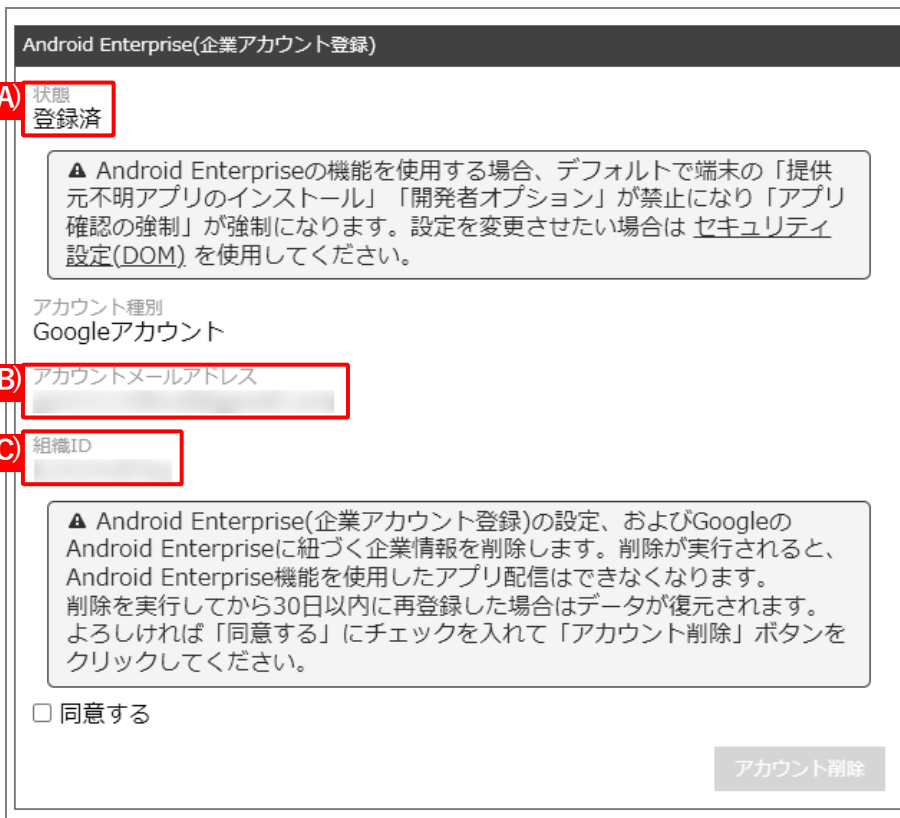
前へ **16** 確認

**【17】 [登録を完了] をクリックします。**

⇒アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」に Google Play ストアで登録したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

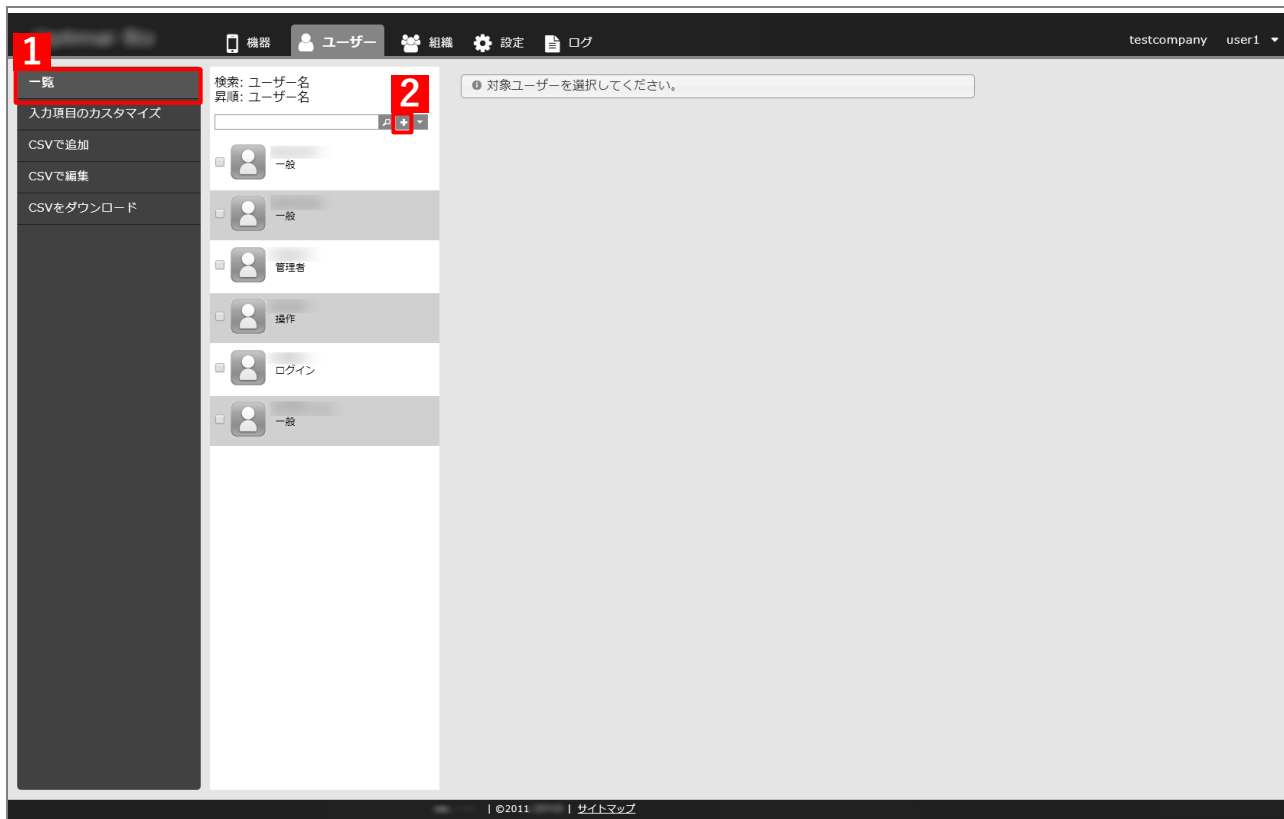




## 3.2 ユーザーを作成する

以下の手順で、ユーザーを作成します。

- [1]** [ユーザー] → [一覧] をクリックします。
- [2]** + をクリックします。



**【3】 「名前」 に任意の名前を入力します。**

✎ その他の入力および設定項目の詳細については、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」 - 「一覧」 - 「ユーザーの作成」

**【4】 [保存] をクリックします。**

⇒ ユーザーが作成されます。

The screenshot shows a web interface for user management. At the top, there are tabs for '管理' (Management), '「Appとブック」設定' (App and Book Settings), and 'その他' (Others). A '操作' (Action) dropdown menu is on the right. The main content area is titled '管理情報 - 編集' (Management Information - Edit). It is divided into two columns. The left column contains various input fields: '名前' (Name), 'フリガナ' (Furigana), '姓' (Surname), '名' (Given Name), 'ユーザーID' (User ID), 'メールアドレス' (Email Address), 'ユーザー種別' (User Type) with radio buttons for '管理者' (Administrator), '操作' (Operator), '閲覧者' (Viewer), 'ロック・ワイプ' (Lock/Wipe), 'ログイン' (Login), and '一般' (General); '組織' (Organization) dropdown; '分類' (Classification) dropdown; and '機器認証制限' (Device Authentication Limit) with radio buttons for '制限なし' (No Limit), '制限あり' (Limit) with a text input, and '認証禁止' (Prohibit Authentication). The right column contains 'パスワード' (Password) with a '編集' (Edit) button and '機器' (Devices) with '機器数' (Device Count) set to 0. At the bottom, there are '取消' (Cancel) and '保存' (Save) buttons. A red box with the number '3' highlights the '名前' field, and another red box with the number '4' highlights the '保存' button.

### 3.3 afw 識別子でキットニングする

以下の手順で、afw 識別子による端末のキットニングを行います。

🔗 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキットニングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キットニングを行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

✎ 手順【10】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

**【1】** [始める] をタップします。



**【2】** [スキップ] をタップします。

✎ SIM が挿入されている場合は、表示されません。



**【3】** 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

- ☑必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。
- ☑モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。



**【4】** [コピーしない] をタップします。



**【5】** 「メールアドレスまたは電話番号」に「afw#ntte\_mdm」と入力します。

**【6】** [次へ] をタップします。



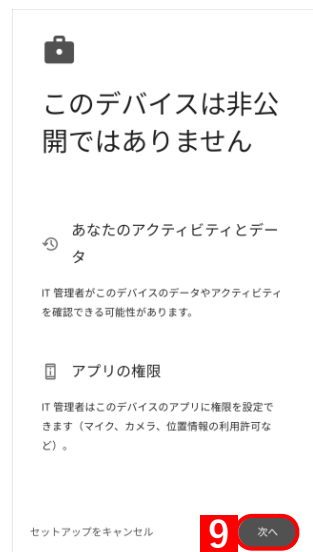
**【7】** [次へ] をタップします。



**【8】** [同意して続行] をタップします。



**【9】** [次へ] をタップします。



**【10】 [OK] をタップします。**

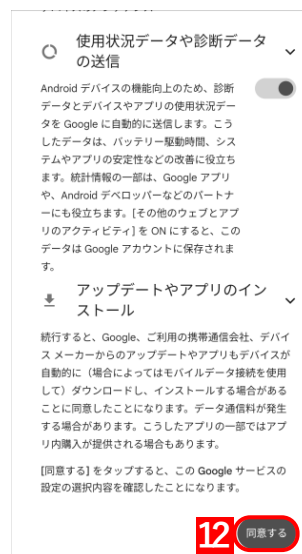


**【11】 [もっと見る] をタップします。**

✎ 端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、タップします。



**【12】 [同意する] をタップします。**



**【13】** [スキップ] をタップします。




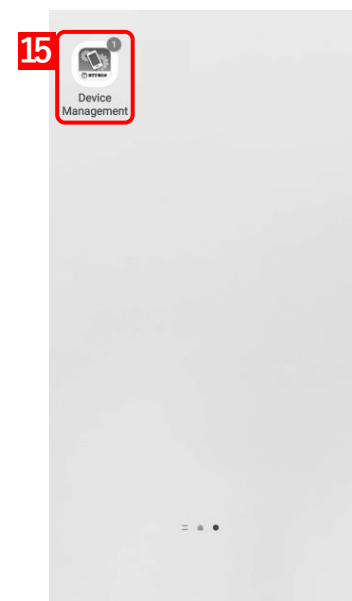
**【14】** 画面下部からスワイプします。

⇒ ホーム画面に移動します。



**【15】** [Device Management] をタップします。

 ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。



**【16】** [ライセンス認証] をタップします。

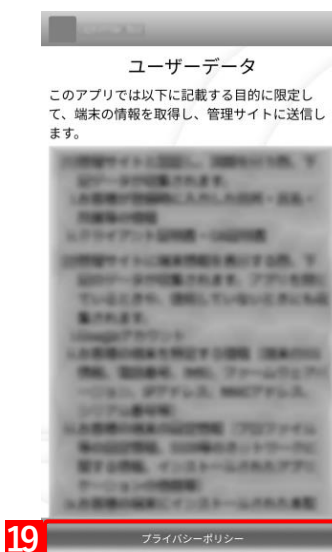


**【17】** 「使用許諾に同意する」にチェックを入れます。

**【18】** [OK] をタップします。

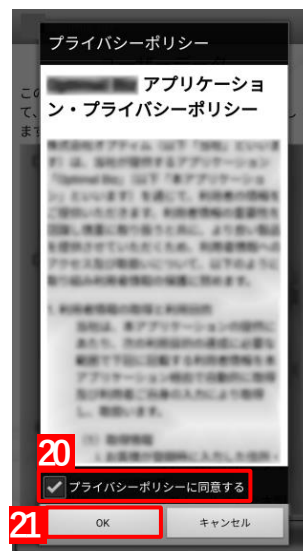


**【19】** ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。

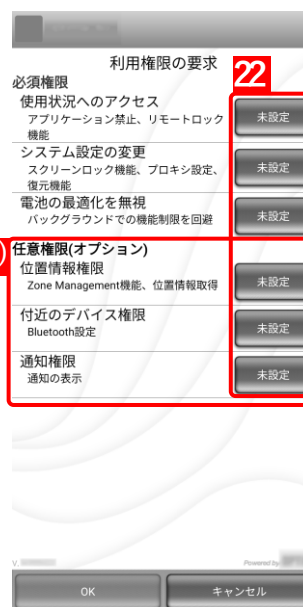




- [20]** 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。
- [21]** [OK] をタップします。  
⇒ 権限要求画面が表示されます。



- [22]** 画面の案内に従って設定を行ってください。
  - ✎ エージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、(A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
  - ✎ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、(A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。「ストレージ権限」は表示されません。



- [23]** [OK] をタップします。



**【24】 「企業コード」 および 「認証コード」 を入力します。**

- ☑ 企業コード、認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ☑ (A) [QRコード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QRコードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QRコードは、管理者にお問い合わせください。

**【25】 [送信] をタップします。**

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。

**【26】 [OK] をタップします。**

⇒ 初期登録画面が表示されます。

- ☑ 手順【27】～【29】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」 - 「ポータル表示」

**【27】 必要事項を選択、入力します。**

**【28】 [次へ] をタップします。**

- ☑ あらかじめ、管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「入力項目のカスタマイズ」

- ☑ 管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。

- ☑ 機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。



**【29】 [OK] をタップします。**

⇒ キットティングおよびライセンス認証が完了しました。  
以下に進んでください。

🏠 「端末にユーザーを割り当てる」44 ページ



### 3.4 端末にユーザーを割り当てる

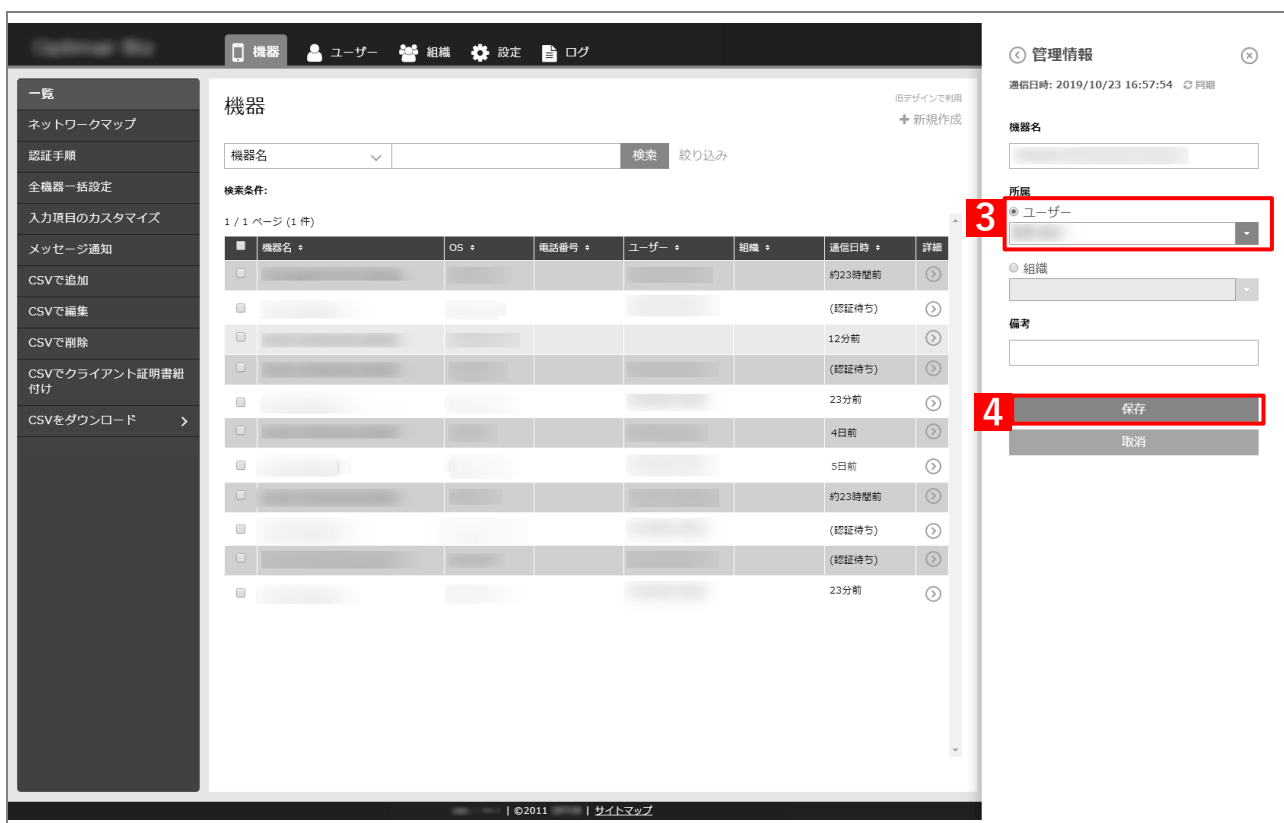
以下の手順で、「ユーザーを作成する」で作成したユーザーを対象端末に割り当てます。

- [1]** [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。
- [2]** [管理情報の編集] をクリックします。

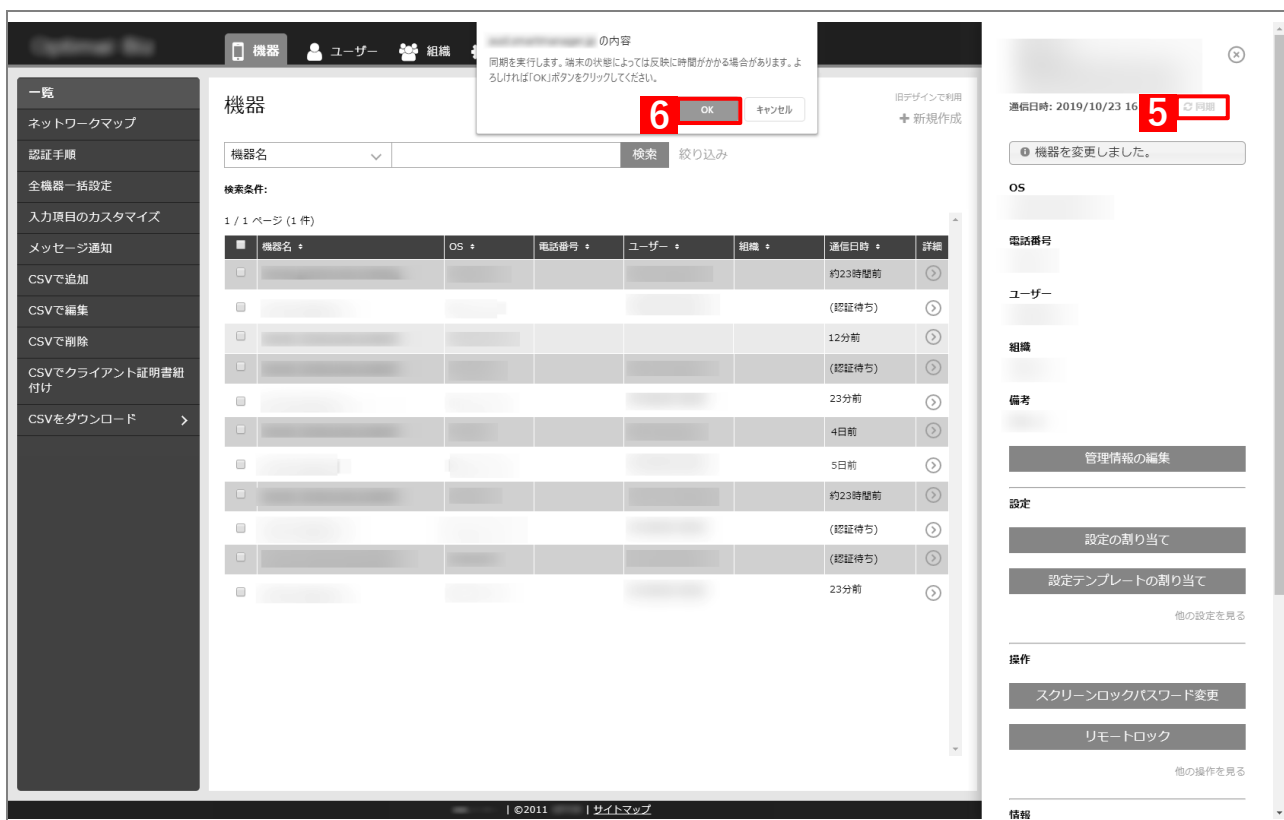
The screenshot shows the '機器' (Devices) management page. The main area displays a table of devices with columns for device name, OS, phone number, user, organization, and connection time. A red box labeled '1' highlights a device row. The sidebar on the right contains various management options, with a red box labeled '2' highlighting the '管理情報の編集' (Edit Management Information) button.

機器名	OS	電話番号	ユーザー	組織	通信日時	詳細
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	12分前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	4日前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	5日前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	⌵

- [3]** 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを作成する」で選択したユーザーを指定します。
- [4]** [保存] をクリックします。



- [5]** [同期] をクリックします。
  - [6]** [OK] をクリックします。
- ⇒端末にユーザーが割り当てられます。





## 4 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、Google Workspace アカウントを併用する


Android Enterprise を利用するには、端末をキットニングする前に Google アカウントで本製品と Google 間の連携設定を行います。

Google Workspace アカウントを併用して登録する場合は、Google 管理コンソール上での設定を行ったあと、端末に Google Workspace アカウントを追加します。

### 注意

- Android Enterprise の連携設定を行っていない Google アカウント、Google Workspace アカウントが必要です。
- 連携設定を行ったアカウントの削除や再登録をしたい場合は、以下を参照してください。  
 「オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント - Google 間の連携設定を変更する」  
132 ページ
- 以下の項目は、初回のキットニング時のみ必要な操作です。  
 「Google アカウントを登録する」 47 ページ

### 参考


- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておく、キットニングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。  
 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」

## 4.1 Google アカウントを登録する


管理サイトに Android Enterprise 連携するための Google アカウントを登録します。

登録できる Google アカウントは、以下の 3 種類です。Google アカウントに応じて、いずれかの方法で登録してください。

### ● 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合

 Google が推奨する登録方法です。なるべくこの方法で登録してください。


### ● Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合


 Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みの場合は、自動的にこの登録方法になります。

### ● Gmail のメールアドレスを登録する場合

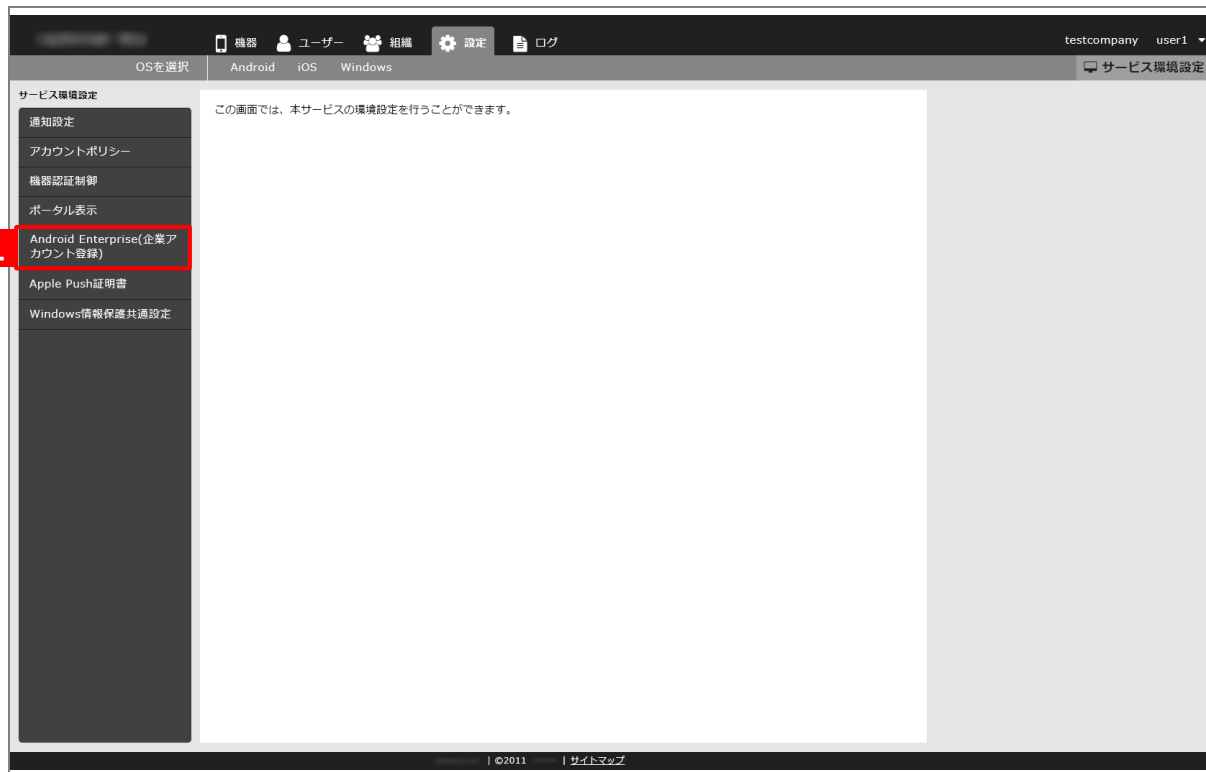
### 4.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合

企業ドメインのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

 Google が推奨する登録方法です。

 企業で初めて登録した企業ドメインのメールアドレスの使用者が、ドメイン管理者です。その後、同じ企業ドメインで他のメールアドレスを登録するときは、ドメイン管理者に連絡してください。ドメイン管理者が Google の画面で他のメールアドレスを登録します。

**[1]** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



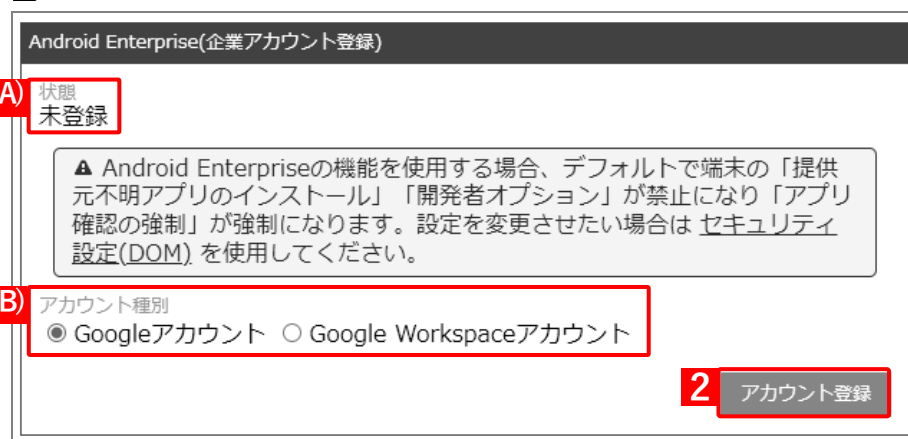
**【2】 [アカウント登録] をクリックします。**

✦ アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

✎ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



**【3】 企業ドメインのメールアドレスを入力します。**

**【4】 [次へ] をクリックします。**

⇒ 企業で初めて企業ドメインのメールアドレスを登録した場合は、手順【3】で入力したメールアドレスに、Google からメールが届きます。メールを確認してください。





- ✂
 すでに企業ドメインが登録されていた場合は、以下の画面が表示されます。  
 企業のドメイン管理者に連絡してください。企業のドメイン管理者が不明な場合は、Google にお問い合わせください。




- ✂
 ドメイン管理者のメールアドレスを他の企業で登録しようとした場合は、以下の画面が表示されます。  
 (A) [許可] をクリックすると、企業登録が完了します。



- 【5】** メールの内容を確認して、[メールアドレスの確認] をクリックします。  
⇒ 情報登録画面が表示されます。



- 【6】** 名、姓、会社名を入力して、国を選択します。
  - 【7】** [続行] をクリックします。
-  名、姓、会社名を入力すると、[続行] がクリックできます。



**【8】** [次へ] をクリックします。



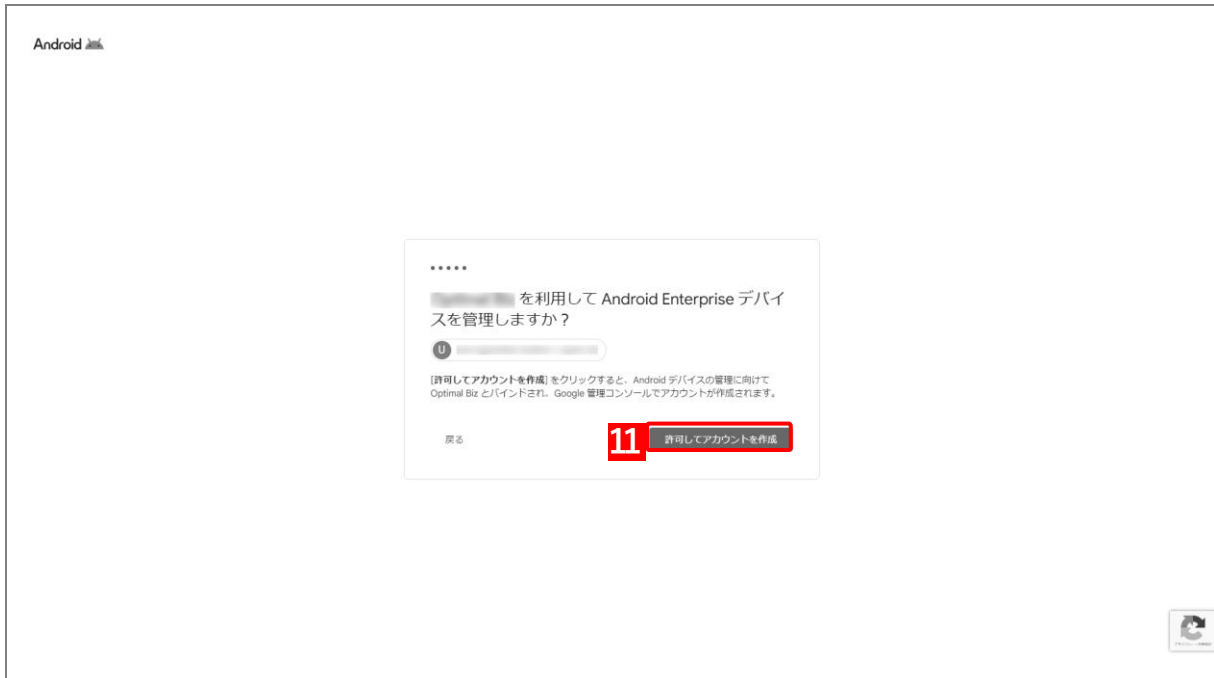
**【9】** 8 文字以上のパスワードを入力します。

**【10】** [同意して続行] をクリックします。

パスワードを入力すると、[同意して続行] がクリックできます。

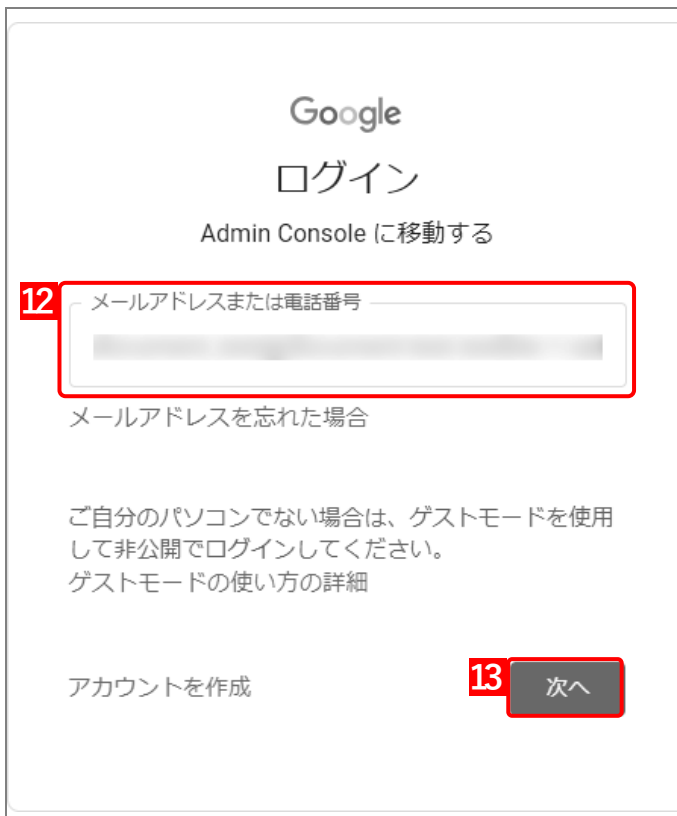


**【11】** [許可してアカウントを作成] をクリックします。



**【12】** 手順【3】 入力した企業ドメインのアドレスを入力します。

**【13】** [次へ] をクリックします。



**【14】** 手順【9】で入力したパスワードを入力します。

**【15】** [次へ] をクリックします。

⇒本人確認の画面が表示されます。

Google  
ようこそ

14 パスワードを入力  
.....

パスワードを表示する

パスワードをお忘れの場合


15 次へ

- 【16】** 確認コードを受け取る電話番号を入力します。
- 【17】** 確認コードの受け取り方法を選択します。
- 【18】** [コードを取得] をクリックします。

# Google

## 本人確認の実施

アクセスしようとしているアカウントで通常とは異なるアクティビティが検出されました。続行するには、以下の手順に沿って操作してください。



電話番号を指定して続行してください。ログインに使用できる確認コードを送信します。

国名  
[ 日本 ]

電話番号

**16**

この番号はセキュリティ保護の目的でのみ使用されます。  
通常のテキストメッセージ料金がかかります。

**確認コードの受け取り方法:**

**17**  テキストメッセージ (携帯電話のメール)  
 自動音声通話

**18**

確認コードが届かない場合は、サポート オプションをご確認ください。

**【19】** 手順【16】で入力した電話番号で受け取った確認コードを入力します。

**【20】** [確認] をクリックします。



**【21】** [理解しました] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で使用したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意的識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

**(A)** 状態  
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別  
Googleアカウント

**(B)** アカウントメールアドレス

**(C)** 組織ID

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ [同意する] にチェックを入れて [アカウント削除] をクリックしてください。

同意する

アカウント削除



## 4.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合

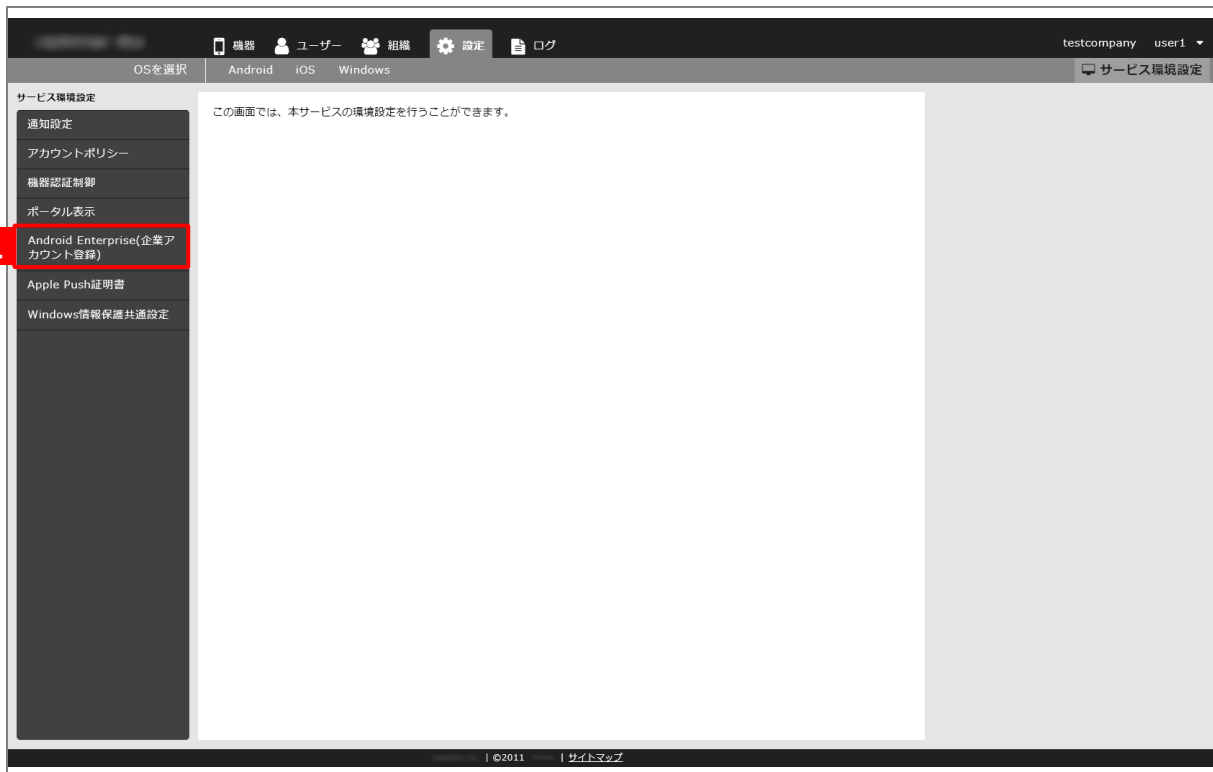
Microsoft ID アカウントのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

✂ Microsoft ID アカウントのメールアドレスは、Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みのものを使用してください。認証を行うため自動的に Microsoft の画面が表示されます。

✂ Microsoft ID アカウントについての詳細は、以下を参照してください。

🔗 <https://learn.microsoft.com/ja-jp/entra/identity-platform/v2-protocols-oidc>

**【1】** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



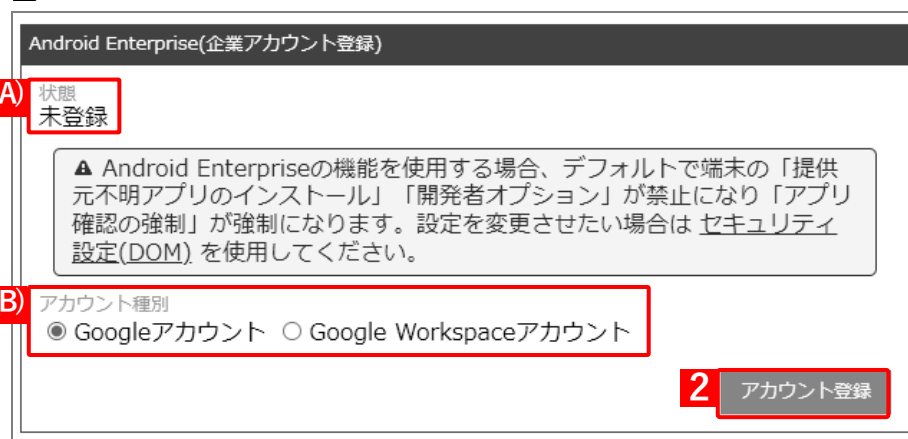
**[2] [アカウント登録] をクリックします。**

✚ アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

✎ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



**[3] Microsoft ID アカウントのメールアドレスを入力します。**

**[4] [次へ] をクリックします。**



**[5] [Microsoft でログイン] をクリックします。**

⇒ Microsoft の登録画面が表示されます。画面の指示にしたがい登録を行ってください。



⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で利用したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意的識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A)
状態  
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別  
Googleアカウント

(B)
アカウントメールアドレス

(C)
組織ID

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ [同意する] にチェックを入れて [アカウント削除] をクリックしてください。

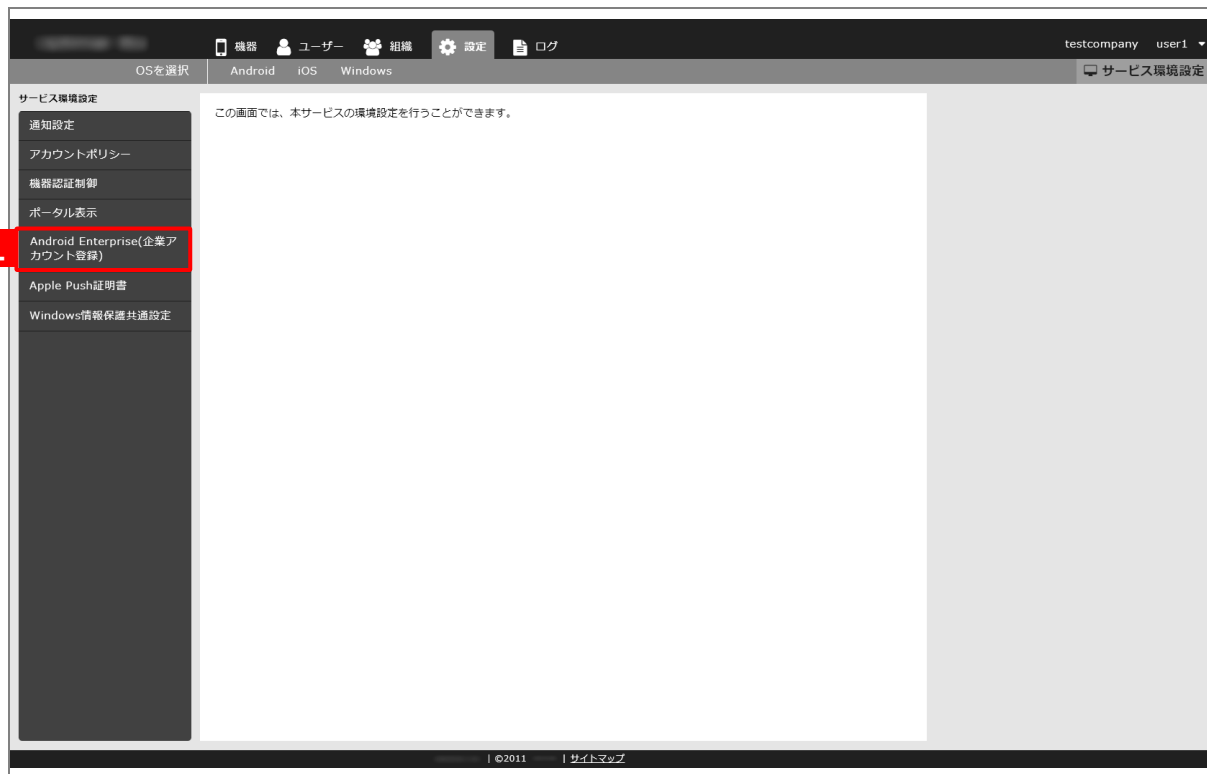
同意する

アカウント削除

### 4.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合

Gmail のメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- [1]** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



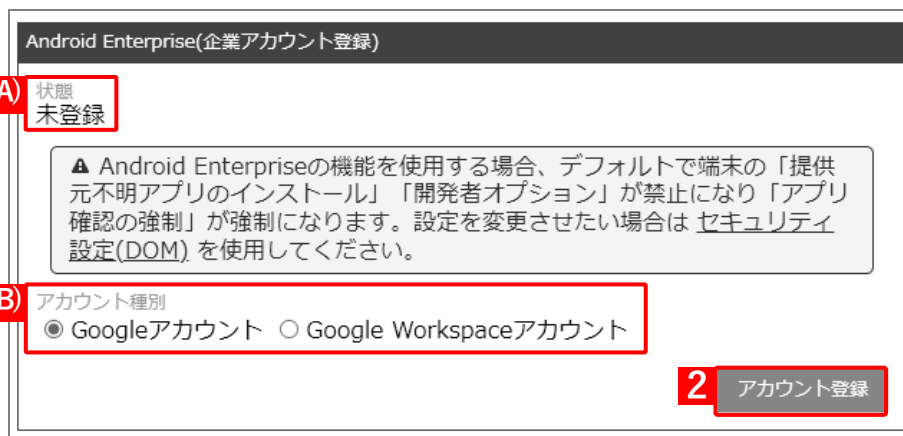
- [2]** [アカウント登録] をクリックします。

アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

(A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

(B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



**[3]** Gmail のメールアドレスを入力します。

**[4]** [次へ] をクリックします。



**[5]** 「Android のみ登録」の「登録」をクリックします。

⇒ Google Play ストアが表示されます。



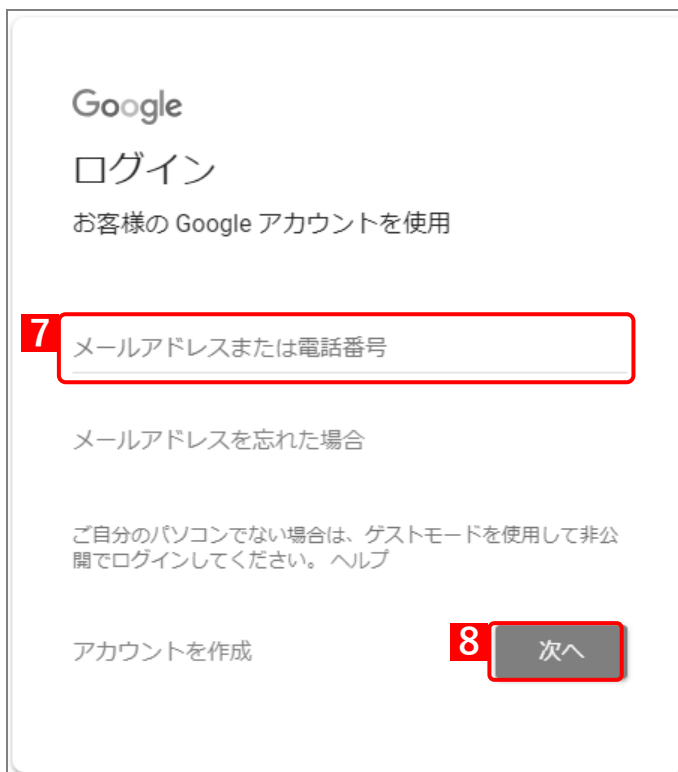
**【6】** [ログイン] をクリックします。

☑ 利用しているブラウザにより、Google Play ストアが正常に動作しないことがあります。



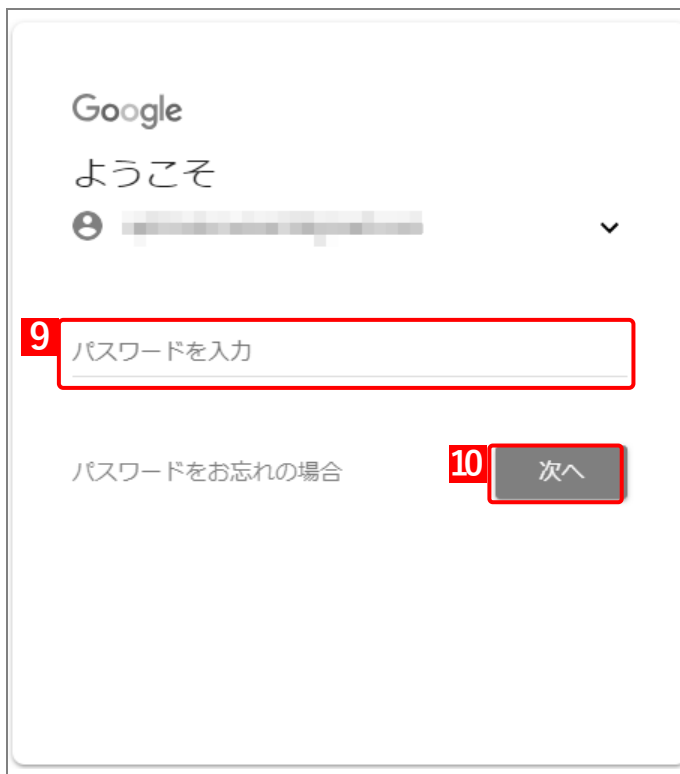
**【7】** 手順【3】で入力した Gmail のメールアドレスを入力します。

**【8】** [次へ] をクリックします。



**【9】** パスワードを入力します。

**【10】** [次へ] をクリックします。



**【11】** [完了] をクリックします。





**【12】** [スタートガイド] をクリックします。




**【13】** 「組織名」を入力します。

**【14】** [次へ] をクリックします。

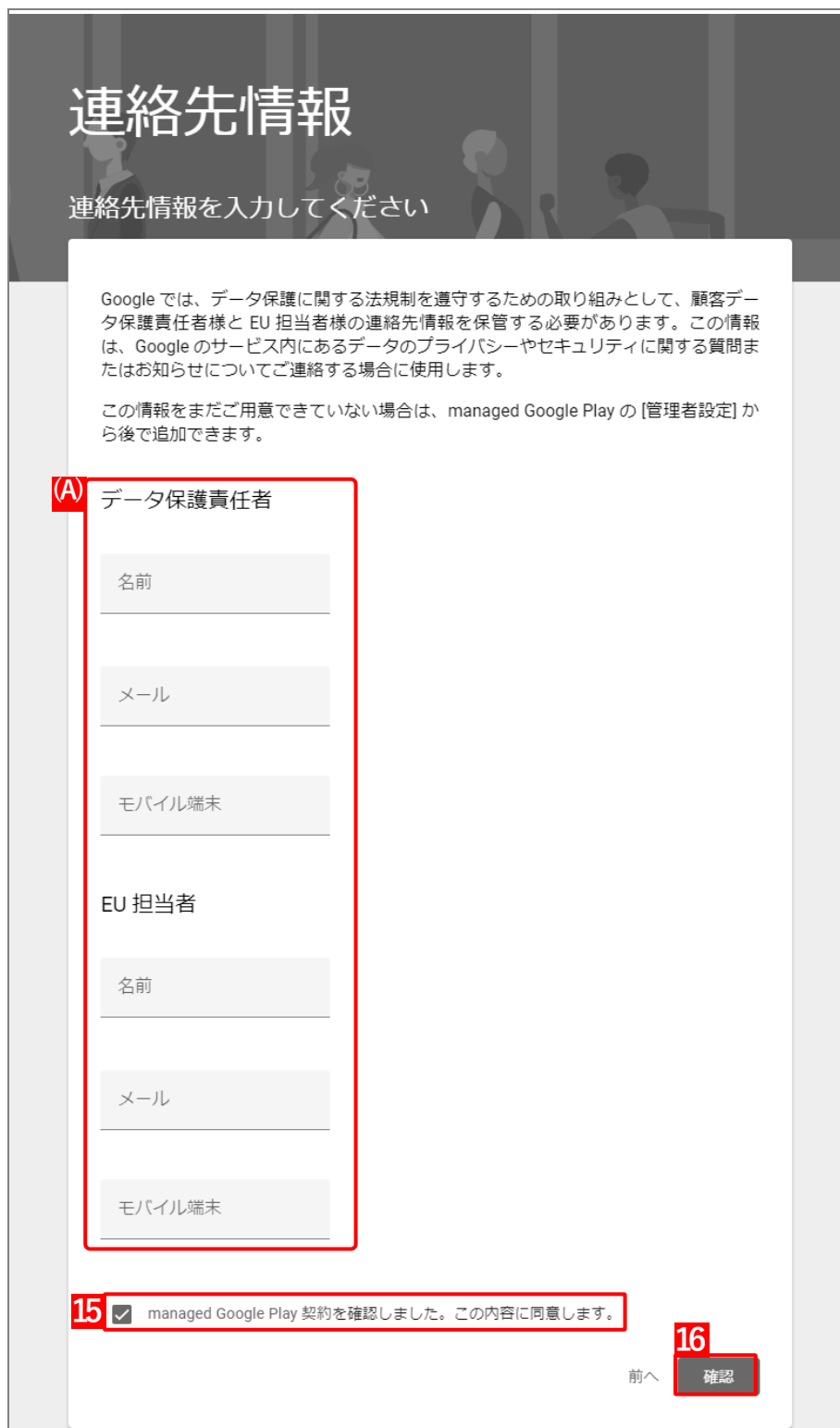


**【15】** 規約を確認し、同意にチェックを入れます。

**【16】** [確認] をクリックします。

-  (A) データの保護責任者および EU 担当者は、任意入力です。必要に応じて入力します。データの保護責任者、EU 担当者についての詳細は、以下を参照してください。

 <https://support.google.com/googleplay/work/answer/7681629>



連絡先情報

連絡先情報を入力してください

Google では、データ保護に関する法規制を遵守するための取り組みとして、顧客データ保護責任者様と EU 担当者様の連絡先情報を保管する必要があります。この情報は、Google のサービス内にあるデータのプライバシーやセキュリティに関する質問またはお知らせについてご連絡する場合に使用します。

この情報をまだご用意できていない場合は、managed Google Play の [管理者設定] から後で追加できます。

**(A)** データ保護責任者

名前

メール

モバイル端末

EU 担当者

名前

メール

モバイル端末

**15**  managed Google Play 契約を確認しました。この内容に同意します。

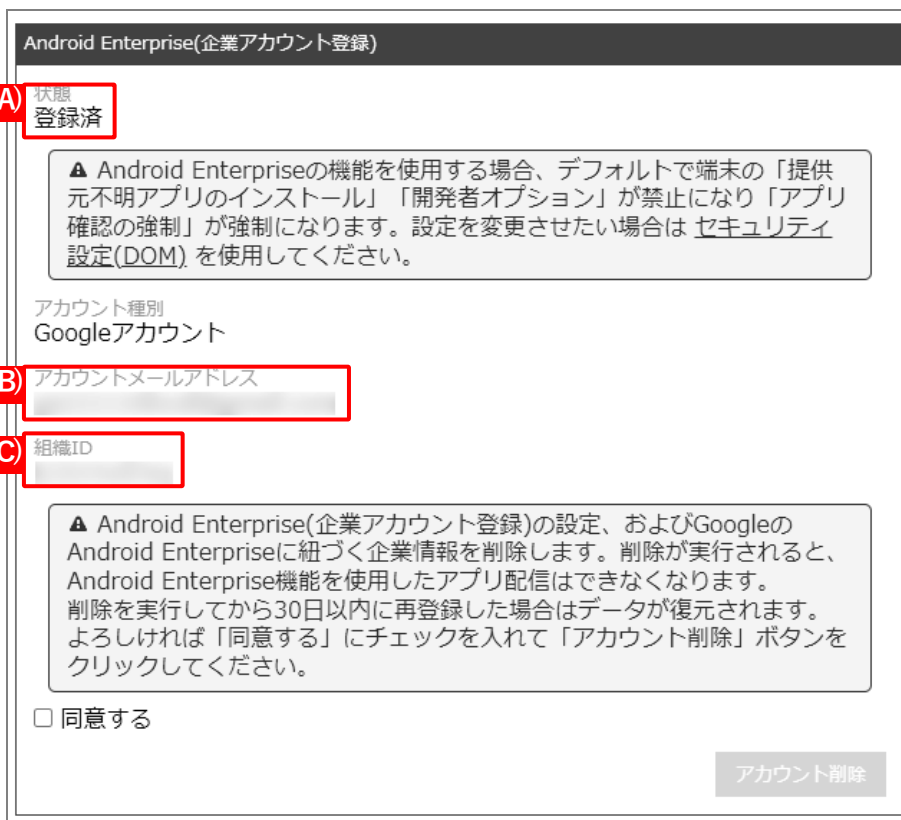
前へ **16** 確認

**【17】 [登録を完了] をクリックします。**

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



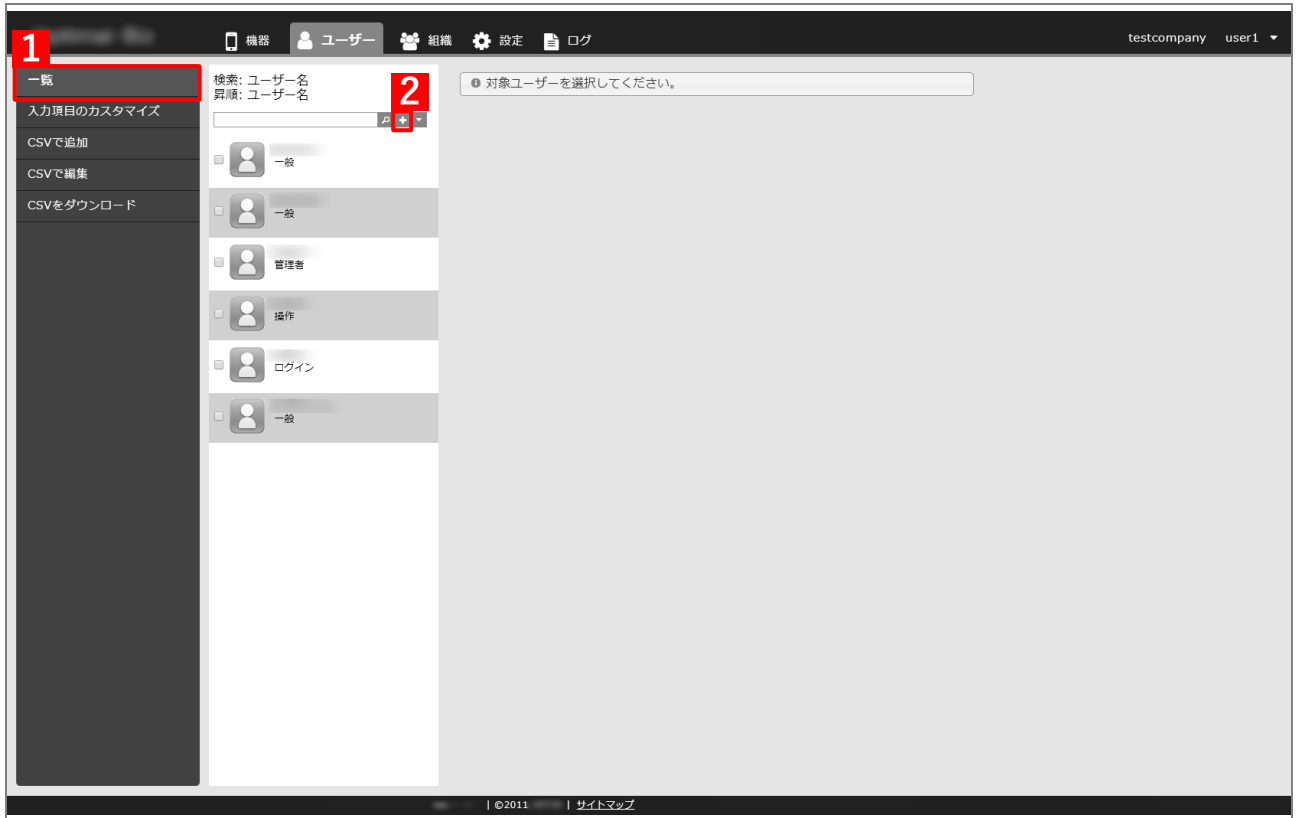
- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」に Google Play ストアで登録したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。



## 4.2 ユーザーを作成する

以下の手順で、ユーザーを作成します。

- 【1】** [ユーザー] → [一覧] をクリックします。
- 【2】** + をクリックします。



**【3】 「名前」 に任意の名前を入力します。**

✎ その他の入力および設定項目の詳細については、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」 - 「一覧」 - 「ユーザーの作成」

**【4】 「保存」 をクリックします。**

⇒ ユーザーが作成されます。

The screenshot shows a web interface for managing users. At the top, there are tabs for '管理' (Management), '「Appとブック」設定' (App and Book Settings), and 'その他' (Others). A '操作' (Action) dropdown menu is on the right. The main content area is titled '管理情報 - 編集' (Management Information - Edit). On the left, there is a form with the following fields: '名前' (Name), 'フリガナ' (Furigana), '姓' (Surname), '名' (Given Name), 'ユーザーID' (User ID), 'メールアドレス' (Email Address), 'ユーザー種別' (User Type) with radio buttons for '管理者' (Administrator), '操作' (Operator), '閲覧者' (Viewer), 'ロック・ワイプ' (Lock/Wipe), 'ログイン' (Login), and '一般' (General); '組織' (Organization) dropdown; '分類' (Classification) dropdown; and '機器認証制限' (Device Authentication Limit) with radio buttons for '制限なし' (No Limit), '制限あり' (Limit), and '認証禁止' (Prohibit Authentication). On the right, there are sections for 'パスワード' (Password) with a '編集' (Edit) button and '機器' (Device) with '機器数' (Device Count) set to 0. At the bottom of the form, there are '取消' (Cancel) and '保存' (Save) buttons. A red box with the number '3' highlights the '名前' field, and another red box with the number '4' highlights the '保存' button.

## 4.3 afw 識別子でキットニングする

以下の手順で、afw 識別子による端末のキットニングを行います。

🔗 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキットニングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キットニングを行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

✎ 手順【10】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

**【1】** [始める] をタップします。



**【2】** [スキップ] をタップします。

✎ SIM が挿入されている場合は、表示されません。



**【3】** 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

- ☑必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。
- ☑モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。



**【4】** [コピーしない] をタップします。



**【5】** 「メールアドレスまたは電話番号」に「afw#ntte\_mdm」と入力します。

**【6】** [次へ] をタップします。



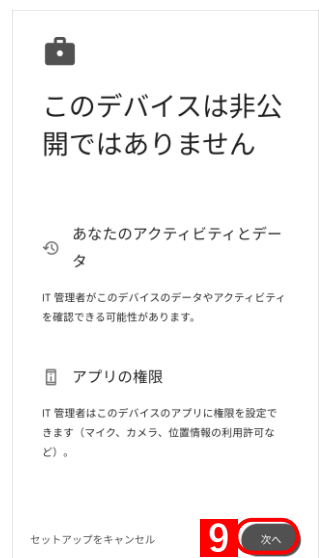
**【7】** [次へ] をタップします。



**【8】** [同意して続行] をタップします。



**【9】** [次へ] をタップします。





**【10】** [OK] をタップします。

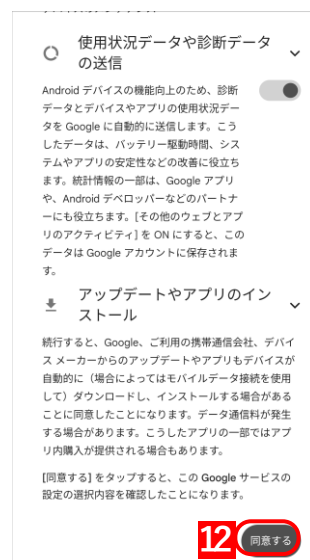


**【11】** [もっと見る] をタップします。

✎ 端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、タップします。



**【12】** [同意する] をタップします。

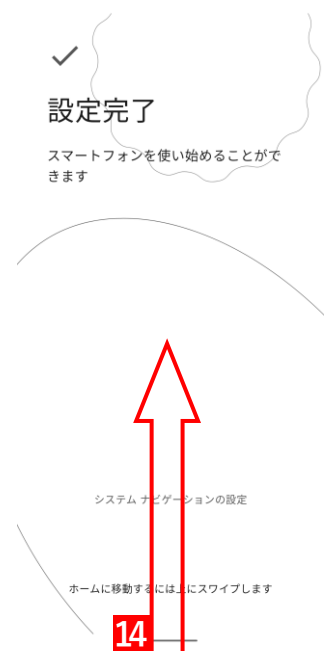


**【13】** [スキップ] をタップします。



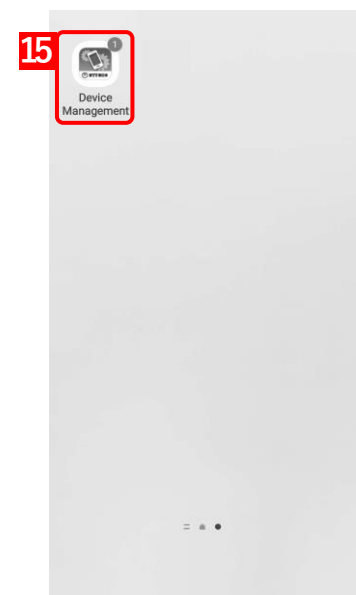
**【14】** 画面下部からスワイプします。

⇒ ホーム画面に移動します。



**【15】** [Device Management] をタップします。

📌 ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。



**【16】** [ライセンス認証] をタップします。



**【17】** 「使用許諾に同意する」にチェックを入れます。

**【18】** [OK] をタップします。



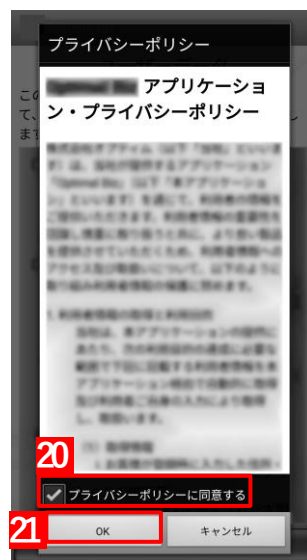
**【19】** ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



**【20】** 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。

**【21】** [OK] をタップします。

⇒ 権限要求画面が表示されます。



**【22】** 画面の案内に従って設定を行ってください。

✎ エージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、(A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。

✎ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、(A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。「ストレージ権限」は表示されません。



**【23】** [OK] をタップします。



**【24】 「企業コード」 および 「認証コード」 を入力します。**

- ☑ 企業コード、認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ☑ (A) [QRコード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QRコードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QRコードは、管理者にお問い合わせください。

**【25】 [送信] をタップします。**

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。

**【26】 [OK] をタップします。**

⇒ 初期登録画面が表示されます。

- ☑ 手順【27】～【29】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」 - 「ポータル表示」

**【27】 必要事項を選択、入力します。**

**【28】 [次へ] をタップします。**

- ☑ あらかじめ、管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「入力項目のカスタマイズ」

- ☑ 管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。

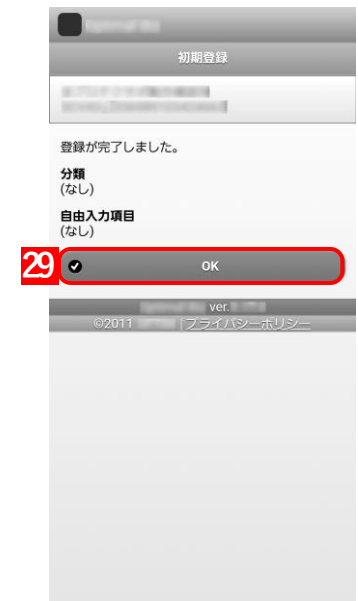
- ☑ 機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。



**【29】 [OK] をタップします。**

⇒ キットティングおよびライセンス認証が完了しました。  
以下に進んでください。

🏠 「端末にユーザーを割り当てる」 79 ページ



## 4.4 端末にユーザーを割り当てる

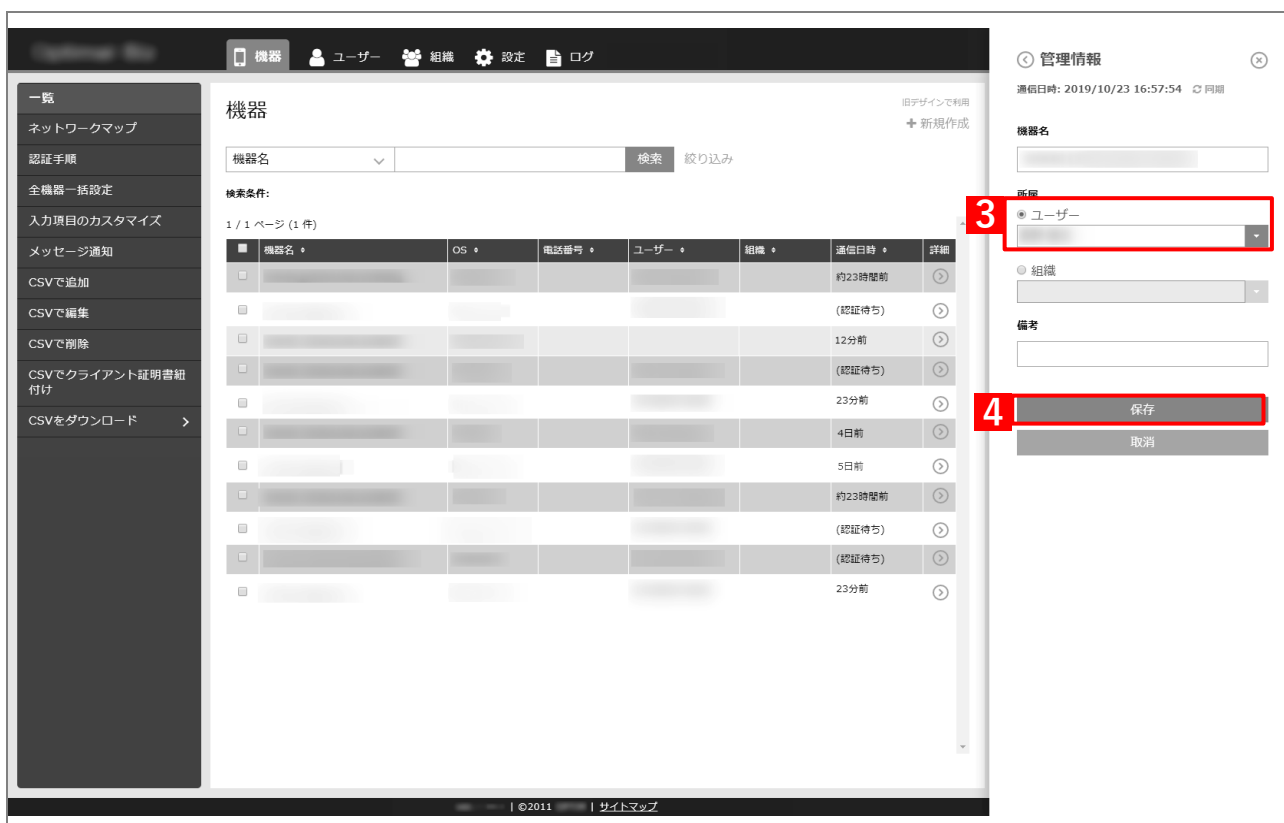
以下の手順で、「ユーザーを作成する」で作成したユーザーを対象端末に割り当てます。

- [1]** [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。
- [2]** [管理情報の編集] をクリックします。

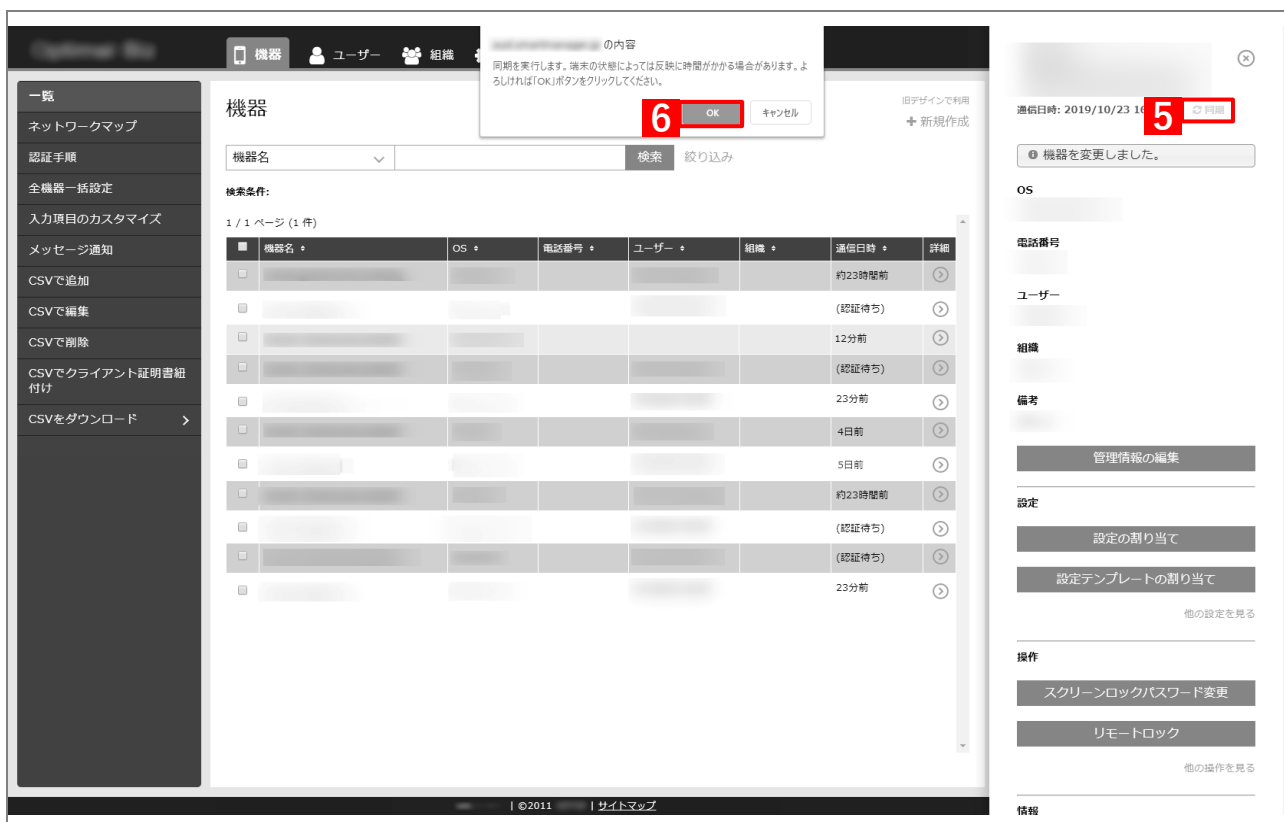
The screenshot shows the '機器' (Devices) management page. The main area displays a table of devices with columns for device name, OS, phone number, user, organization, and login time. A red box labeled '1' highlights a device row. The sidebar on the right contains various management actions, with a red box labeled '2' highlighting the '管理情報の編集' (Edit management information) button.

機器名	OS	電話番号	ユーザー	組織	ログイン日時	詳細
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	12分前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	4日前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	5日前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	⌵

- [3]** 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを作成する」で選択したユーザーを指定します。
- [4]** [保存] をクリックします。



- [5]** [同期] をクリックします。
  - [6]** [OK] をクリックします。
- ⇒端末にユーザーが割り当てられます。





## 4.5 Google Workspace アカウントを併用する

Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、端末にキットニング、ライセンス認証が完了したら、併用する Google Workspace アカウントを端末に追加します。

### 4.5.1 Google Workspace アカウントを設定する

Google 管理コンソールで、Google Workspace アカウントを以下の設定にします。

● 端末管理機能の無効化

- ❏ 端末管理機能を有効にしていると、Google Workspace アカウントが使用できなくなったり、端末の初期化が必要になったりします。

● Google Play ストアの利用制限

- ❏ Google Play ストアの利用を制限していないと、業務に不要な Google Play ストア上のアプリをインストールできてしまいます。

**[1]** Google 管理コンソール (<https://admin.google.com>) を表示します。

**[2]** [デバイス] → [モバイルとエンドポイント] → [設定] → [サードパーティとの連携] をクリックします。



- [3]** 「Android EMM」の「サードパーティの Android モバイル管理を有効にする」のチェックを外します。
- [4]** 「保存」をクリックします。



- [5]** 「モバイルとエンドポイント」→「設定」→「一般設定」をクリックします。

管理コンソールを表示するには、画面左上の [Google Admin] をクリックします。



- [6]** 「全般」→「モバイル管理」をクリックします。



**【7】 「モバイル管理をオフにする（管理しない）」を選択します。**

**【8】 [保存] をクリックします。**

モバイル管理  
「  
」で適用しました

❗ iOSの詳細管理を行うには、Apple プッシュ証明書を設定する必要があります。 [証明書を設定](#)

すべてのデバイスに基本管理または詳細管理を適用するか、[カスタム]を選択してデバイスプラットフォームごとに管理を適用できます。機能の比較 [☑](#)

標準（エージェント不要）  
シンプルなパスワード管理を適用し、仕事用アカウントをワイプできます。デバイスの不正使用からの保護機能が含まれます。機能を表示

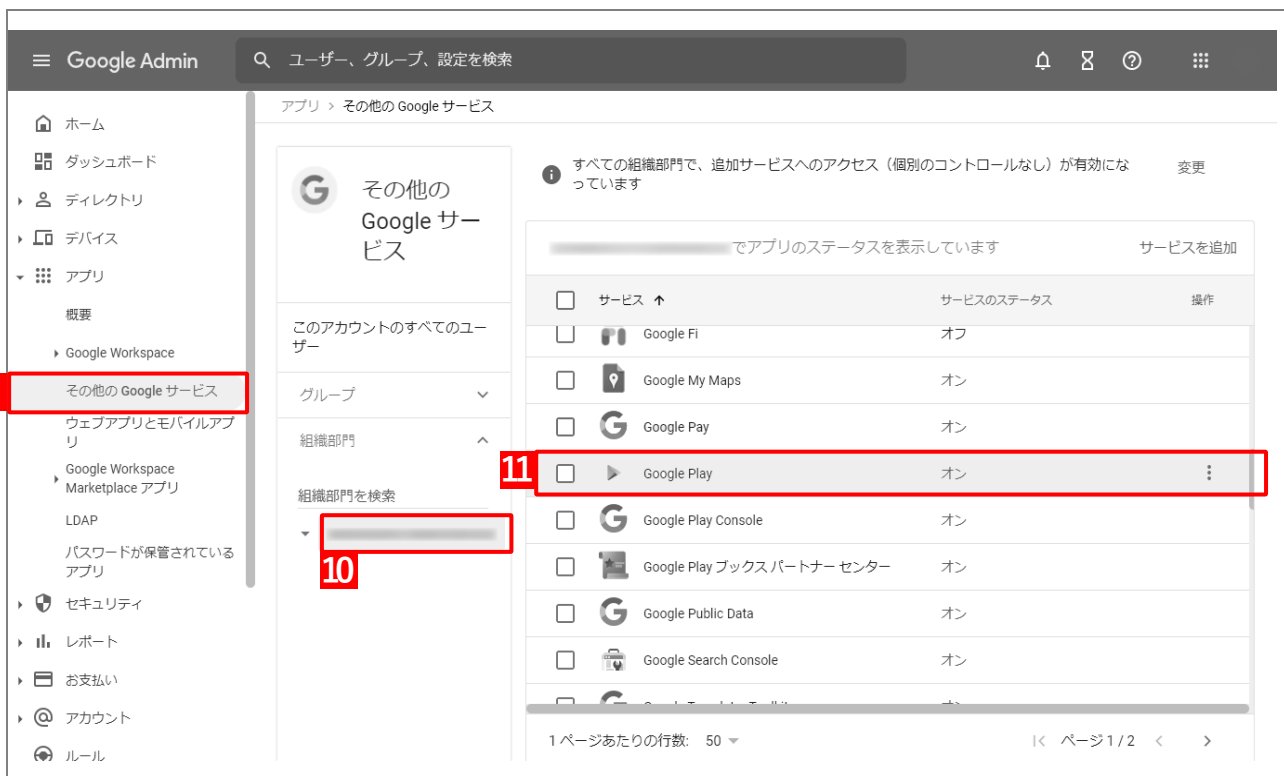
詳細（Device Policy アプリ要）  
パスワードの要件の適用、アプリの管理、デバイスのリモートワイプを行えます。デバイスの不正使用からの保護機能が含まれます。機能を表示

カスタム  
デバイスプラットフォームごとに基本管理または詳細管理を適用できます。

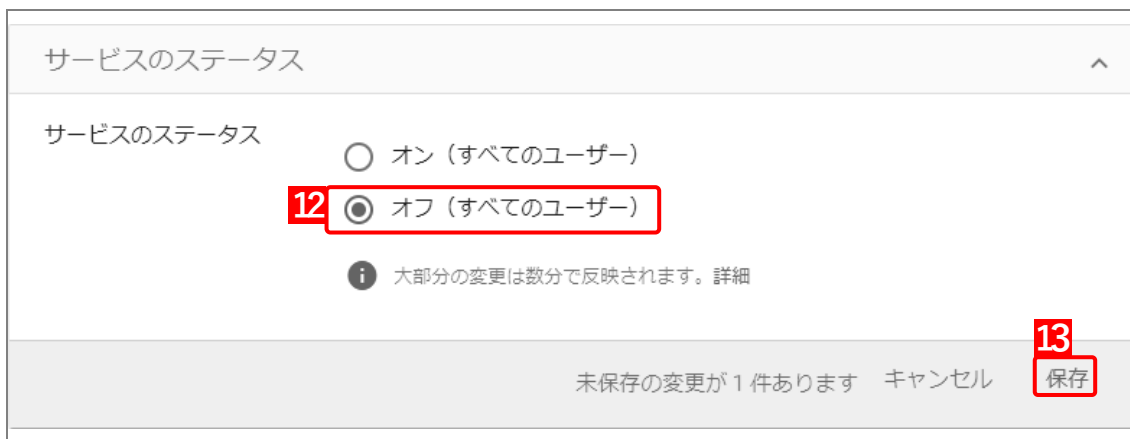
**7**  **モバイル管理をオフにする（管理しない）**  
管理者はデバイスを管理できません。仕事用データにアクセスしているデバイスは確認できます。

キャンセル **8** **保存**

- [9]** [アプリ] → [その他の Google サービス] をクリックします。  
管理コンソールを表示するには、画面左上の [Google Admin] をクリックします。
- [10]** 対象の組織を選択します。
- [11]** 「Google Play」 をクリックします。



- [12]** 「サービスのステータス」の「オフ (すべてのユーザー)」を選択します。
- [13]** [保存] をクリックします。



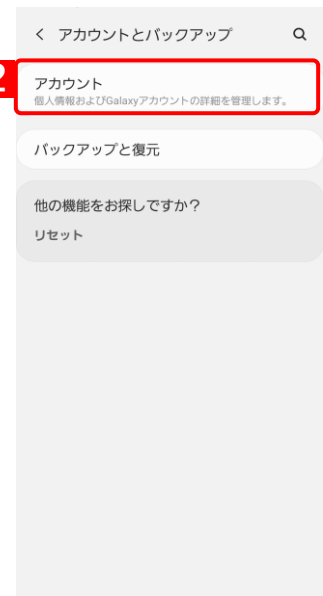
## 4.5.2 Google Workspace アカウントを追加する

端末の設定画面で、Google Workspace アカウントを追加します。


- 【1】** 端末の設定画面を表示して、[アカウントとバックアップ]をタップします。

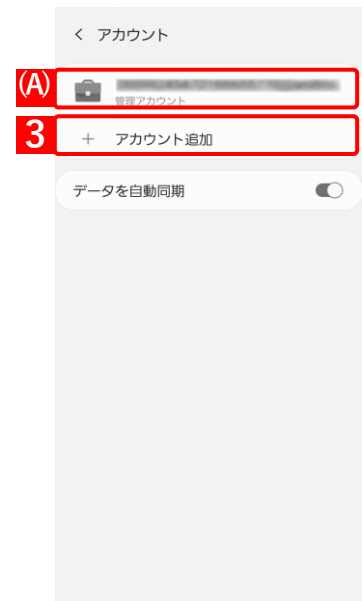


- 【2】** [アカウント] をタップします。



**【3】** [アカウント追加] をタップします。

 (A) Google アカウントが表示されています。

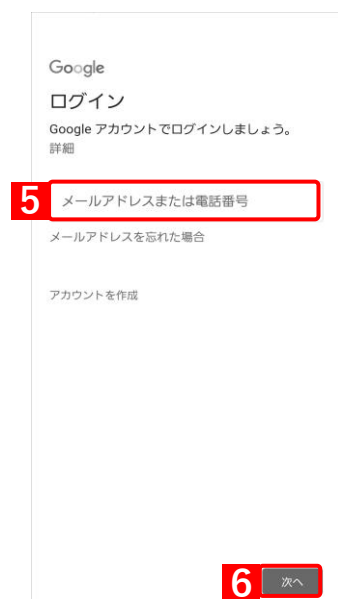


**【4】** [Google] をタップします。

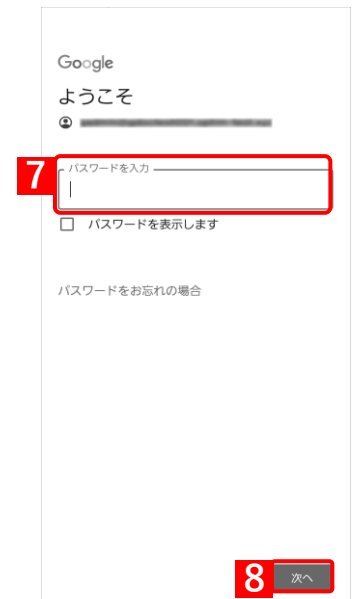


**【5】** 「メールアドレスまたは電話番号」に Google Workspace アカウントを入力します。

**【6】** [次へ] をタップします。



- 【7】** 「パスワード」を入力します。
- 【8】** [次へ] をタップします。



- 【9】** [同意する] をタップします。




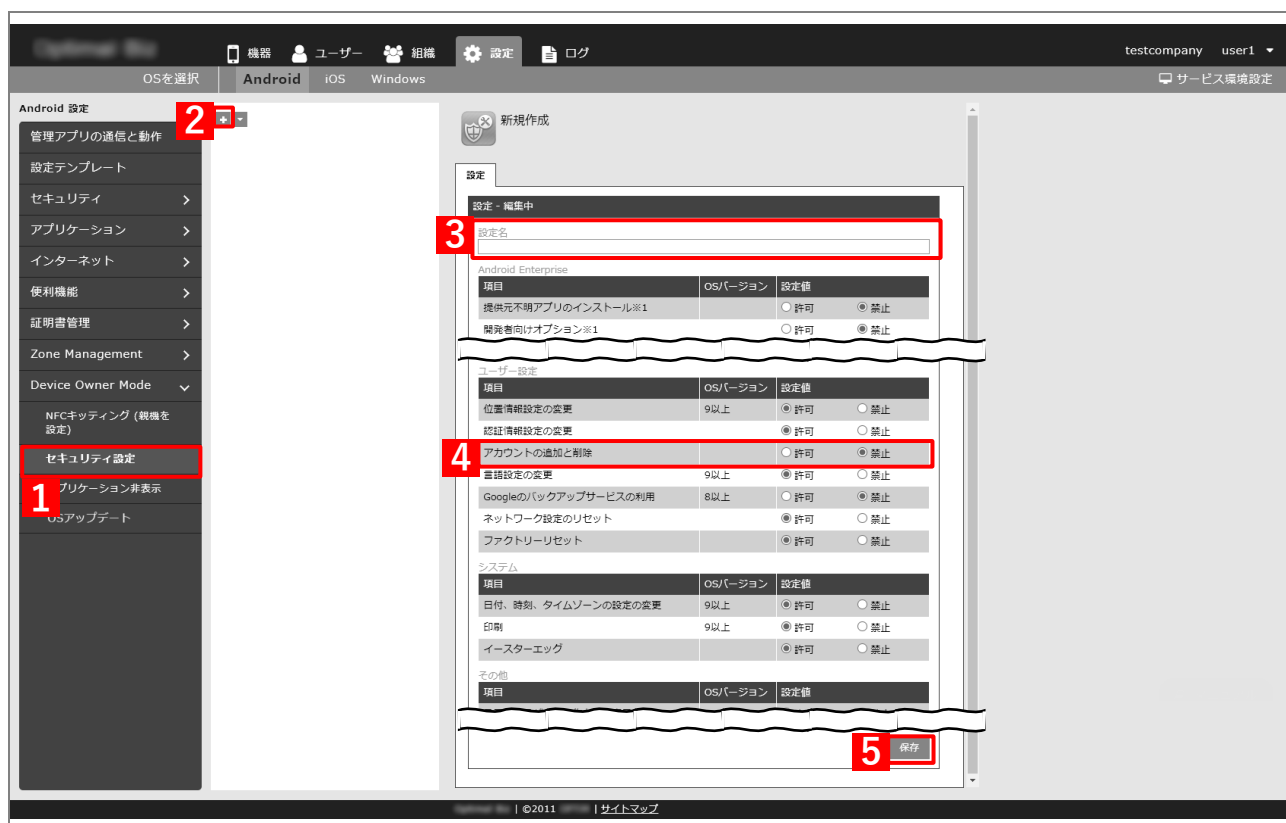
⇒ (A) Google Workspace アカウントが追加されました。





### 4.5.3 アカウントの追加を禁止する

Google Workspace アカウントを端末に追加したあと、私的利用のアカウントなどが追加できないように、管理サイトでアカウント追加を禁止する設定を行います。

- [1]** [設定] → [Android] → [Device Owner Mode] → [セキュリティ設定] をクリックします。
- [2]**  をクリックし、作成画面を表示します。  
 設定セットは最大 50 件まで作成できます。
- [3]** 設定名を入力します。
- [4]** 「アカウントの追加と削除」の [禁止] を選択します。
- [5]** [保存] をクリックします。



- [6]** 作成した設定セットを親機とする端末に [機器] → [一覧] → 対象の機器を選択 →  → 「設定」の [設定の割り当て] → [セキュリティ設定(DOM)] から適用します。  
適用の詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器の設定」 - 「(設定 - Android) 設定の割り当て」



## 5 Google Workspace アカウントで Android Enterprise 連携を行う


Android Enterprise を利用するには、端末をキットニングする前に Google Workspace アカウントで本製品と Google 間の連携設定を行います。Google Workspace アカウントを連携設定として登録する場合は、Google 管理コンソール上での設定を行い、トークンを発行してください。

### 注意


- Android Enterprise の連携設定を行っていない Google Workspace アカウントが必要です。
- Google との連携設定で Google Workspace アカウントを登録している場合は、強制（サイレント）インストールが実行できない場合があります。その場合は、managed Google Play ストアの利用規約の同意が必要です。以下の URL から Google Workspace の特権管理者で Google にログインして、承諾してください。


 <https://play.google.com/work/termservice>

強制インストールの詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」  
- 「アプリを強制インストールする」

- 以下の項目は、初回のキットニング時のみ必要な操作です。

 「トークンを発行する」90 ページ

 「Google Workspace アカウントを登録する」96 ページ

### 参考

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておくこと、キットニングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。

 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」

## 5.1 トークンを発行する

以下の手順で、Google Workspace アカウントを利用して本製品と Google 間の連携設定を行います。

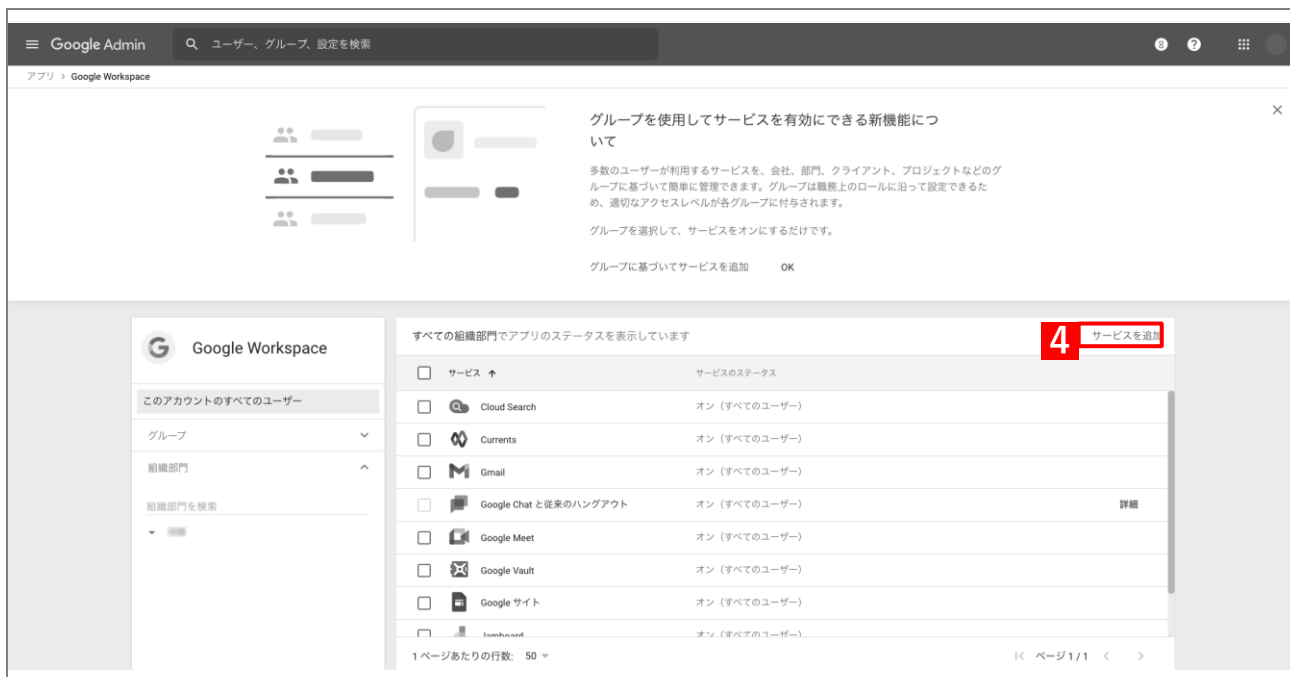
- [1]** Google 管理コンソール (<https://admin.google.com>) を表示します。
- [2]** [アプリ] をクリックします。



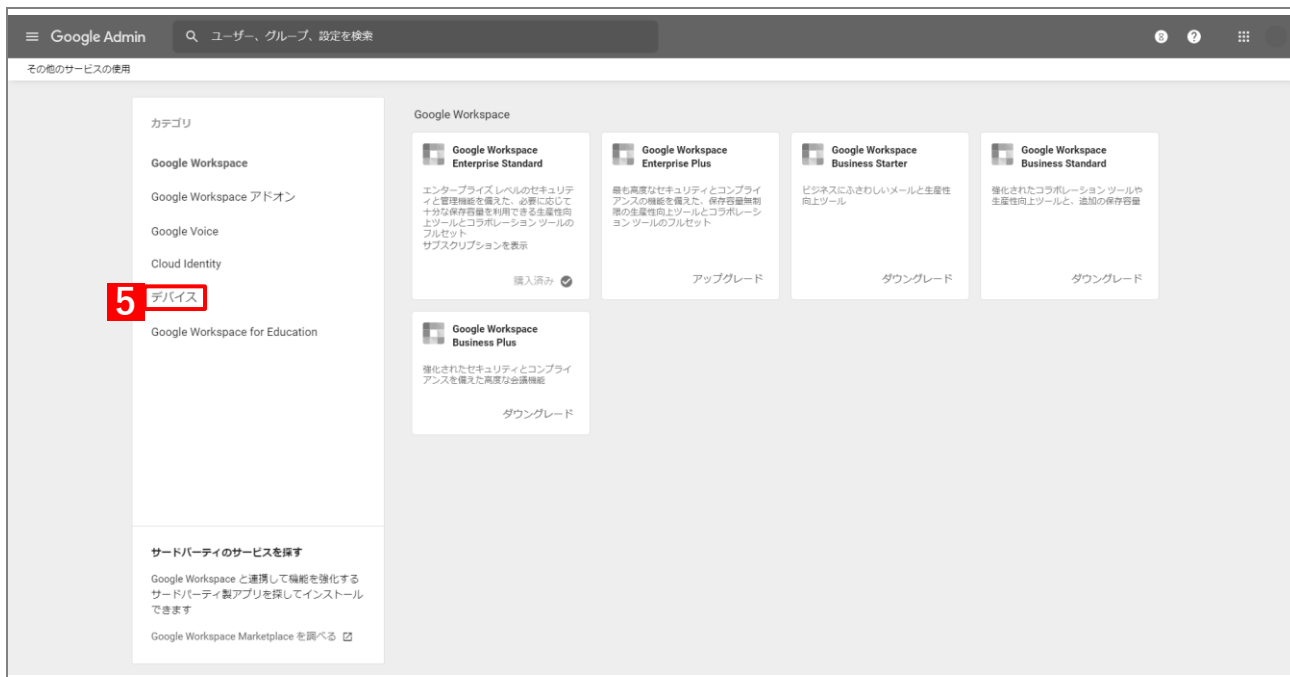
- [3]** [Google Workspace] をクリックします。




**[4]** [サービスを追加] をクリックします。

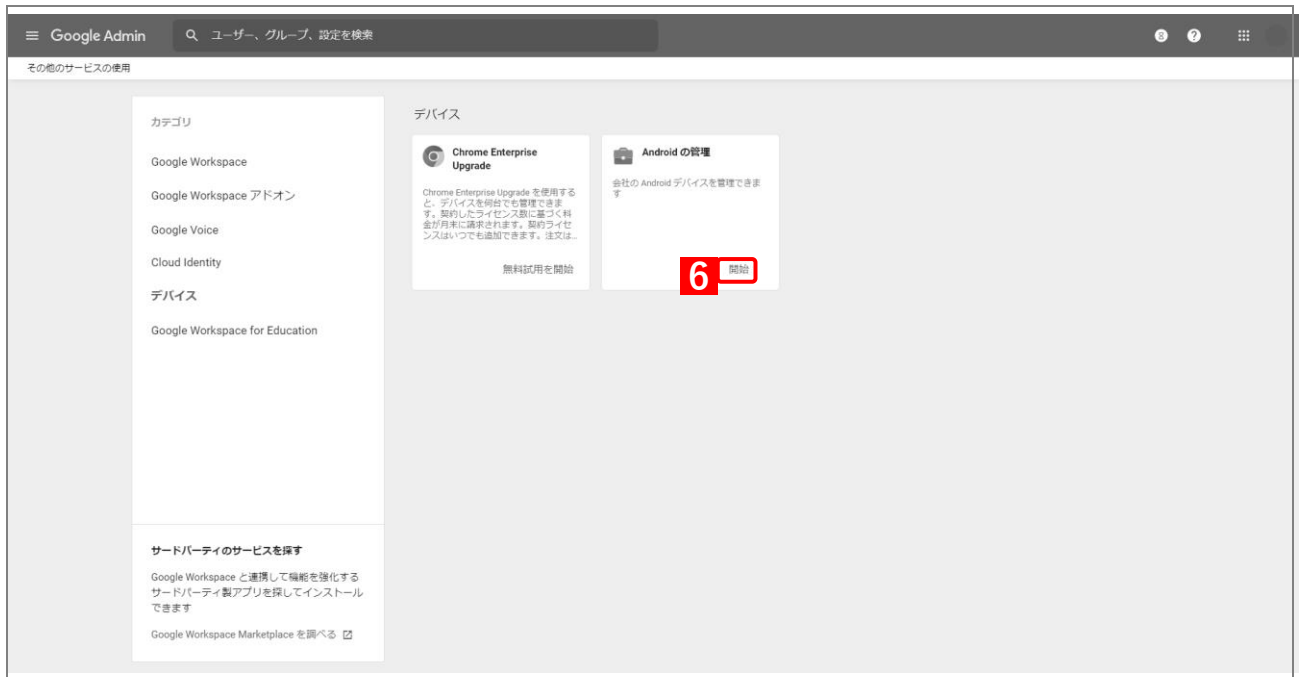


**[5]** [デバイス] をクリックします。



**【6】 「Android の管理」 の 「開始」 をクリックします。**

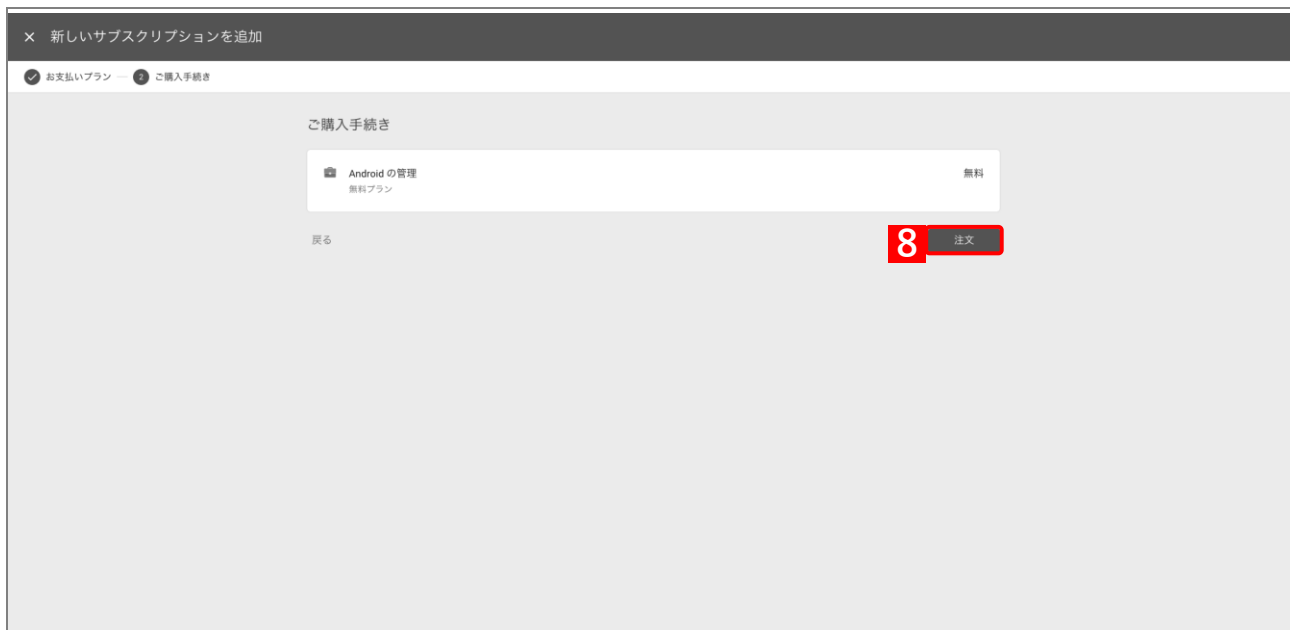
 本操作により、料金が発生することはありません。



**【7】 「ご購入手続き」 をクリックします。**



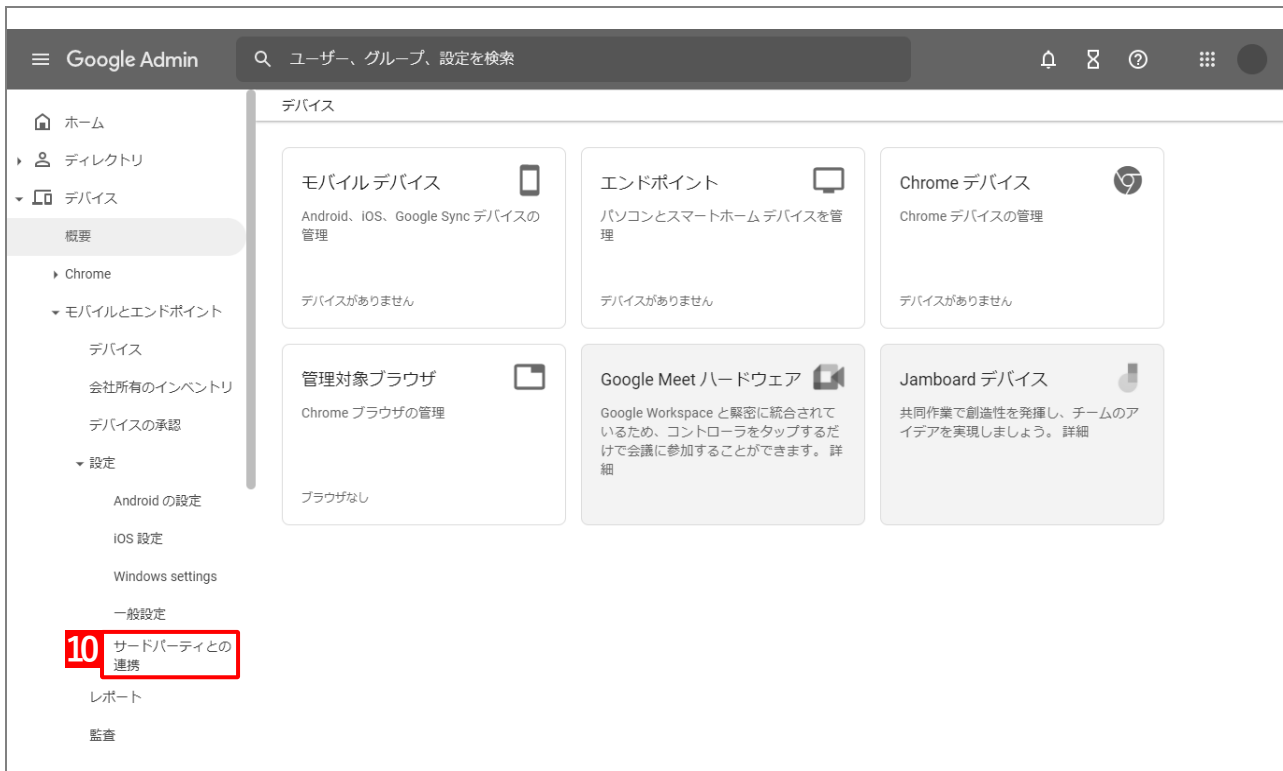
- 【8】** [注文] をクリックします。  
⇒管理コンソールが表示されます。



- 【9】** [デバイス] をクリックします。



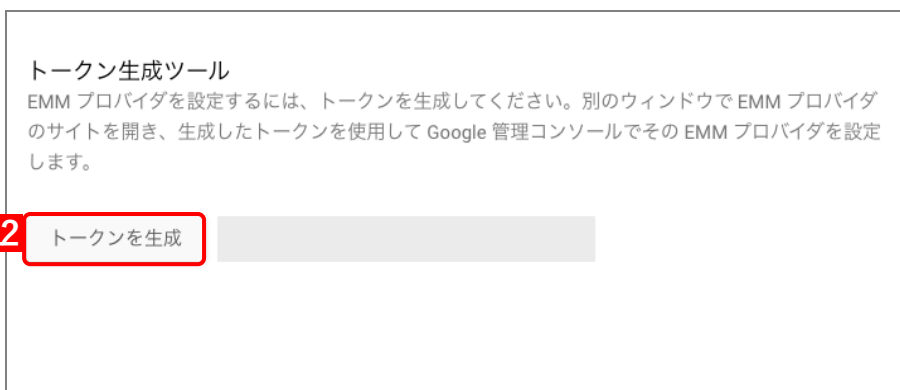
**【10】** [モバイルとエンドポイント] → [設定] → [サードパーティとの連携] をクリックします。



**【11】** [Android EMM] の [EMM プロバイダを追加] をクリックします。



**【12】** [トークンを生成] をクリックします。



- 【13】** トークンが表示されます。アカウント登録に必要となりますのでメモしてください。

トークン生成ツール

EMM プロバイダを設定するには、トークンを生成してください。別のウィンドウで EMM プロバイダのサイトを開き、生成したトークンを使用して Google 管理コンソールでその EMM プロバイダを設定します。

トークンを生成 **13**  コピー

このトークンは、30 日が経過した時点、またはプロバイダの設定に使用された時点で失効します

- 【14】** 「Android EMM」の「サードパーティの Android モバイル管理を有効にする」にチェックを入れます。

- 【15】** [保存] をクリックします。

Android EMM  
「」で適用しました

サードパーティの Android モバイル管理

**14**  サードパーティの Android モバイル管理を有効にする

EMM プロバイダの管理

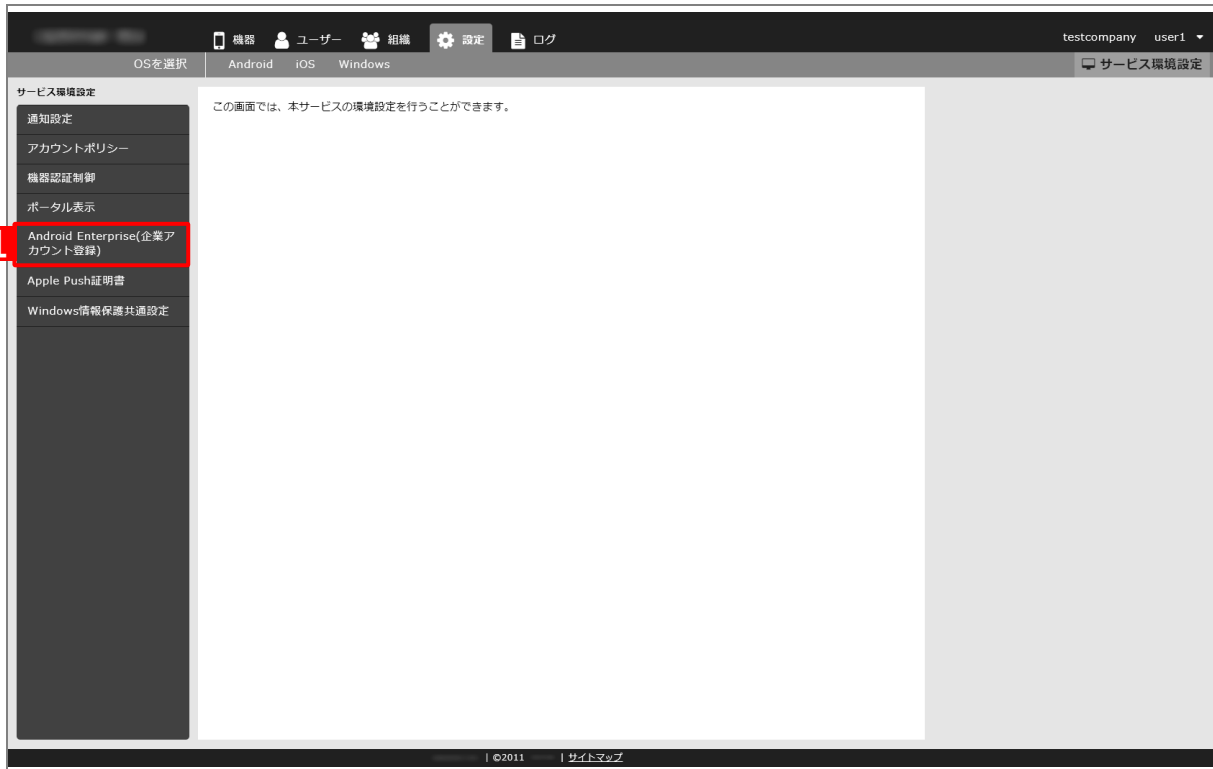
未保存の変更が 1 件あります キャンセル **15**

## 5.2 Google Workspace アカウントを登録する

以下の手順で、管理サイトに Google Workspace アカウントを登録します。

- ☑ Google Workspace アカウントを登録後は、Google 側の設定変更は行わないでください。
- ☑ Google Workspace 標準の「モバイル管理機能」を使っていた場合はモバイル管理機能の「端末」情報を削除してください。

**[1]** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。





**[2] 「Google Workspace アカウント」を選択します。**

✎ 「アカウント種別」の初期値は「Google Workspace アカウント」が選択されています。

✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

**[3] <https://play.google.com/work/termservice> にアクセスして、利用規約に同意します。**

**[4] 「ドメイン」、「EMM トークン」を入力します。**

✎ 「ドメイン」には、契約している Google Workspace アカウントのドメインを入力してください。  
Google Workspace アカウントが「XXXXX@xxxx.co.jp」の場合は、ドメインは「xxxx.co.jp」になります。

**[5] [アカウント登録] をクリックします。**

⇒ アカウント登録済みの画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Android Enterprise(企業アカウント登録)' screen. At the top left, a red box labeled '(A)' points to the status '未登録'. Below this is a warning box about security settings. Under 'アカウント種別', 'Google Workspaceアカウント' is selected with a red box labeled '2'. Below that, a warning box is followed by a red box labeled '3' containing the URL 'https://play.google.com/work/termservice'. At the bottom, there are input fields for 'ドメイン' and 'EMMトークン', with a red box labeled '4' around them. In the bottom right corner, there is a button labeled 'アカウント登録' with a red box labeled '5' around it.

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 手順【4】で入力した「ドメイン」、「EMM トークン」が表示されています。
- ✎ (C) 「組織ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

**(A)** 状態  
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別  
Google Workspaceアカウント

**(B)** ドメイン  
[Redacted]

EMMトークン  
[Redacted]

**(C)** 組織ID  
[Redacted]

▲ Google Workspaceアカウント連携をご利用の方は、特権管理者アカウントで Google Workspaceにログイン後、下記URLへアクセスし規約に同意してください。  
<https://play.google.com/work/termservice>

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。

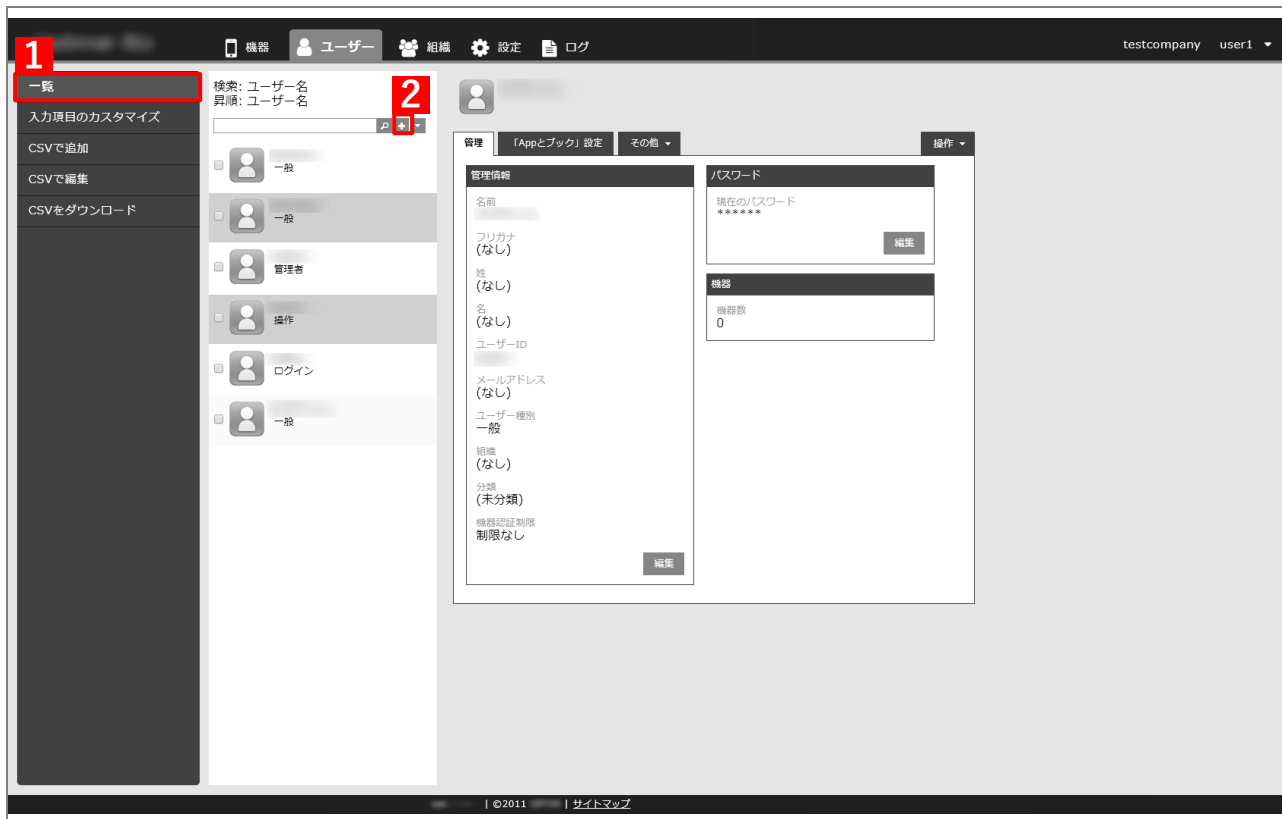
同意する


アカウント削除

## 5.3 ユーザーを作成する

以下の手順で、ユーザーを作成します。

- [1]** [ユーザー] → [一覧] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。



- [3]** 「名前」に任意の名前を入力します。
- [4]** 「メールアドレス」に Google Workspace アカウントを入力します。
  - Google Workspace アカウントが登録されていない場合は、キットニング時のライセンス認証に失敗します。
  - その他の入力および設定項目の詳細については、以下を参照してください。
    -  『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」 - 「一覧」 - 「ユーザーの作成」
- [5]** 「保存」をクリックします。
  - ⇒ユーザーが作成されます。



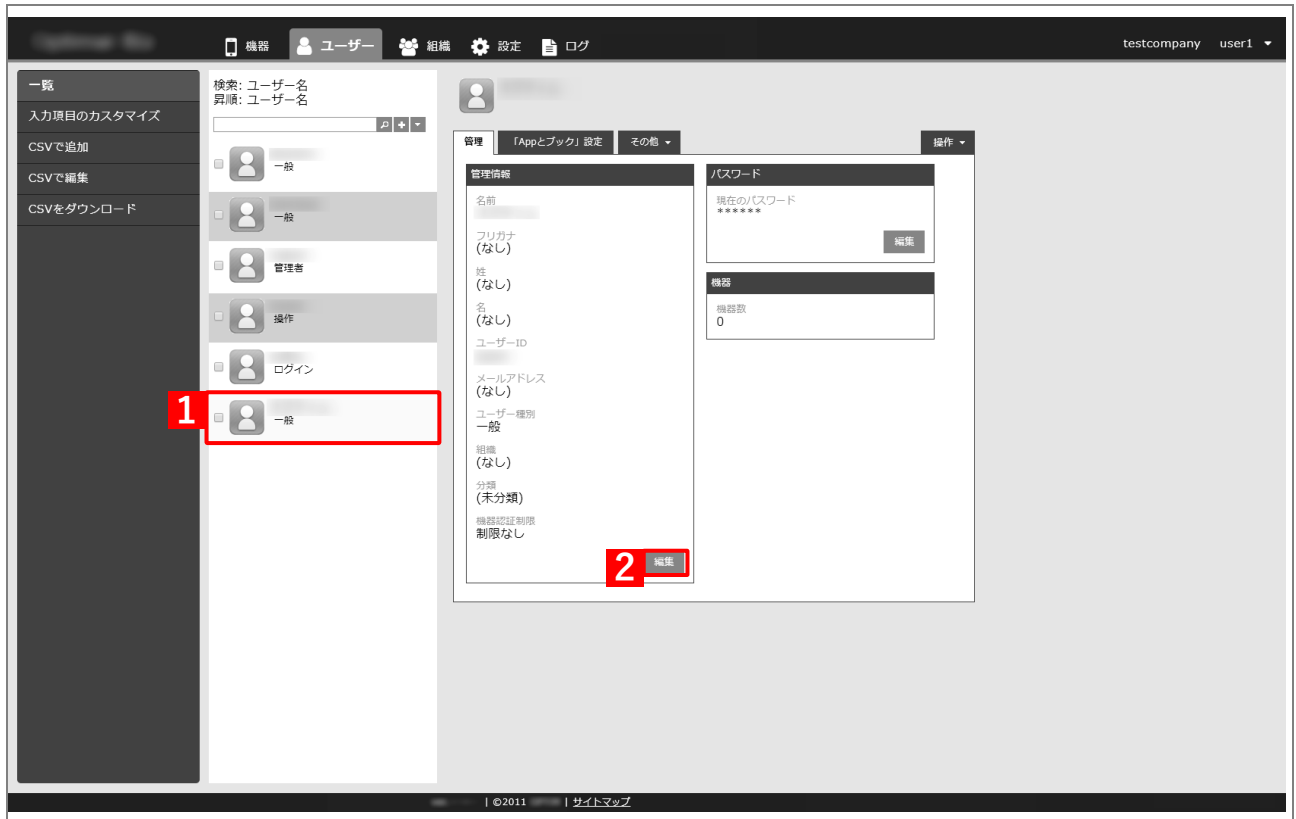
The screenshot shows a web interface for managing users. At the top, there are tabs for '管理' (Management), '「Appとブック」設定' (App and Book Settings), and 'その他' (Others). A '操作' (Action) dropdown menu is visible. The main content area is titled '管理情報 - 編集' (Management Information - Edit). It is divided into two columns. The left column contains the '管理情報' (Management Information) section, which includes fields for '名前' (Name), 'フリガナ' (Furigana), '姓' (Surname), '名' (Given Name), 'ユーザーID' (User ID), 'メールアドレス' (Email Address), 'ユーザー種別' (User Type) with radio button options (管理者, 操作, 閲覧者, ロック・ワイプ, ログイン, 一般), '組織' (Organization), '分類' (Classification), and '機器認証制限' (Device Authentication Limit) with radio button options (制限なし, 制限あり, 認証禁止). The right column contains the 'パスワード' (Password) section with a '現在のパスワード' (Current Password) field and a '編集' (Edit) button, and the '機器' (Device) section with a '機器数' (Device Count) field showing '0'. At the bottom of the form, there are '取消' (Cancel) and '保存' (Save) buttons. Red boxes and numbers 3, 4, and 5 highlight the '名前' field, the 'メールアドレス' field, and the '保存' button respectively.

### 5.3.1 既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する

既存のユーザーに対して Google Workspace アカウントを登録するには、以下の操作を行います。

🔗 Google Workspace アカウントが登録されていない場合は、キットニング時のライセンス認証に失敗します。

- [1]** [ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。
- [2]** [編集] をクリックします。



- 【3】** 「メールアドレス」に Google Workspace アカウントを入力します。
- 【4】** [保存] をクリックします。

⇒ユーザーにメールアドレスが登録されます。

The screenshot shows a user management interface with the following elements:

- Navigation tabs: 管理, 「Appとブック」設定, その他
- Buttons: 操作
- Section: 管理情報 - 編集
- Fields: 名前, フリガナ, 姓, 名, ユーザーID, メールアドレス (highlighted with a red box and '3'), ユーザー種別, 組織, 分類 (未分類)
- Radio buttons for user type: 管理者 (全ての操作ができます), 操作, 閲覧者 (変更操作ができません), ロック・ワイプ, ログイン (個別に権限を設定), 一般 (ログインできません)
- Device authentication limit: 制限なし (selected), 制限あり [ ]台, 認証禁止
- Buttons: 取消, 保存 (highlighted with a red box and '4')
- Other sections: パスワード (現在のパスワード: \*\*\*\*\*) with 編集 button; 機器 (機器数: 0)

## 5.4 Google Workspace アカウントでキットニングする

以下の手順で、Google Workspace アカウントによる端末のキットニングを行います。

🔗 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキットニングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キットニングを行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

✎ 手順【13】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

**【1】** [始める] をタップします。



**【2】** [スキップ] をタップします。

✎ SIM が挿入されている場合は、表示されません。



**【3】 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。**

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

- ☑必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。
- ☑モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。



**【4】 [コピーしない] をタップします。**



**【5】 「メールアドレスまたは電話番号」に Google Workspace アカウントを入力します。**

- ☑管理サイトのユーザーに Google Workspace アカウントが登録されていない場合は、ライセンス認証に失敗します。

🔗 「既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する」101 ページ

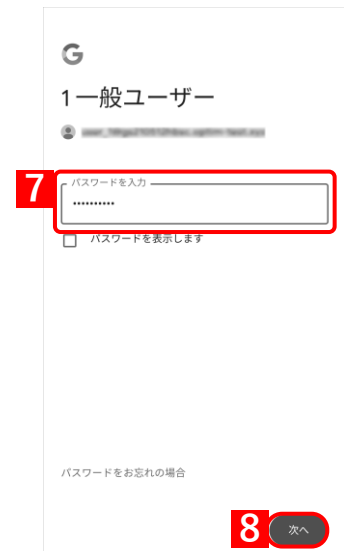
**【6】 [次へ] をタップします。**



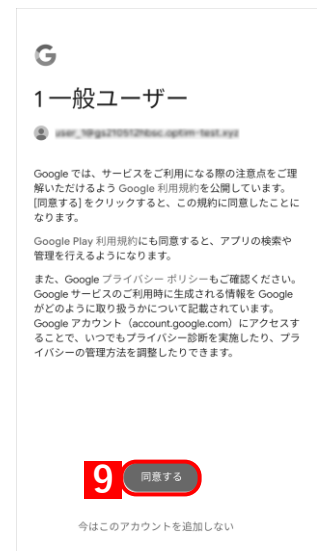


**【7】 「パスワード」 を入力します。**

**【8】 [次へ] をタップします。**



**【9】 [同意する] をタップします。**



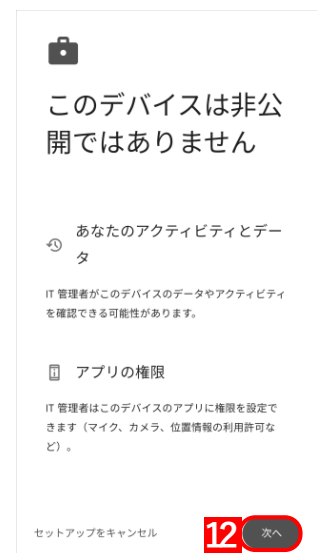
**【10】 [次へ] をタップします。**



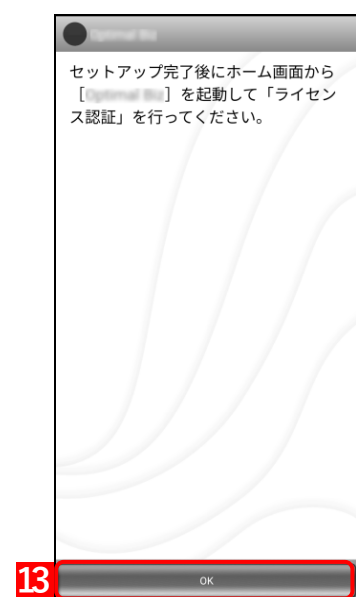
**【11】** [同意して続行] をタップします。



**【12】** [次へ] をタップします。



**【13】** [OK] をタップします。

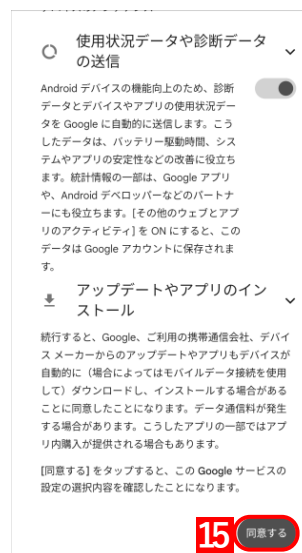


**【14】 [もっと見る] をタップします。**

☞ 端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、[もっと見る] をタップします。



**【15】 [同意する] をタップします。**

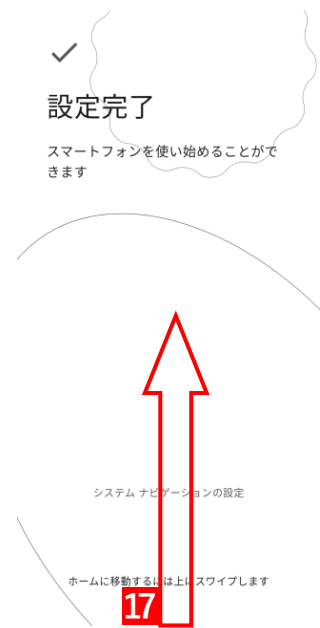


**【16】 [スキップ] をタップします。**



**【17】** 画面下部からスワイプします。

⇒ ホーム画面に移動します。



**【18】** [Device Management] をタップします。

✎ ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。



**【19】** [ライセンス認証] をタップします。

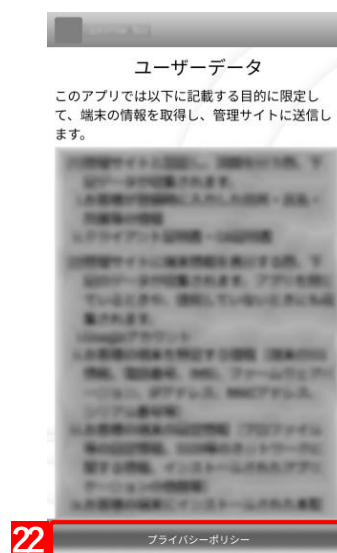


**【20】** 「使用許諾に同意する」にチェックを入れます。

**【21】** [OK] をタップします。



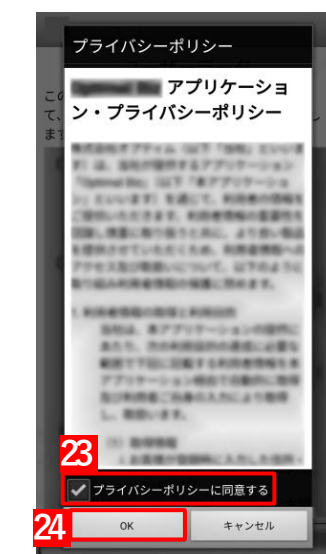
**【22】** ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



**【23】** 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。

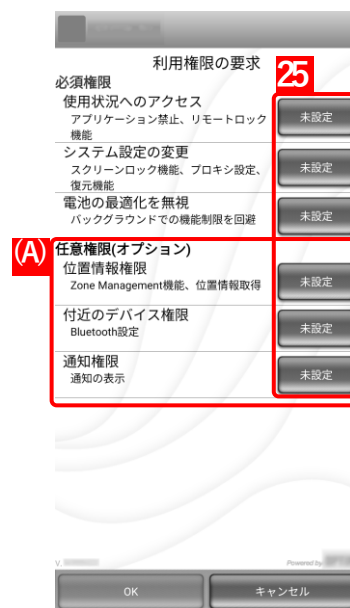
**【24】** [OK] をタップします。

⇒ 権限要求画面が表示されます。

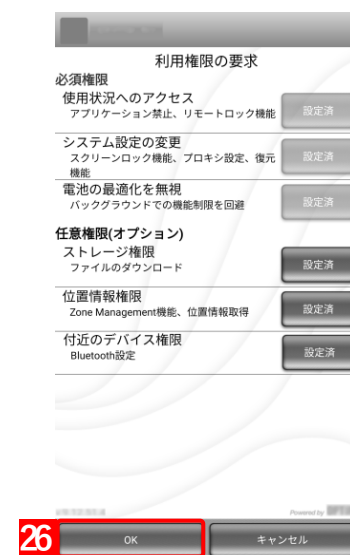


**【25】 画面の案内に従って設定を行ってください。**

- ✎ エージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、(A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
- ✎ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、(A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。「ストレージ権限」は表示されません。

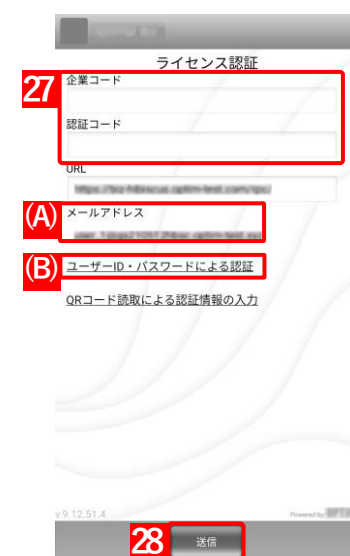


**【26】 [OK] をタップします。**



**【27】 「企業コード」および「認証コード」を入力します。**

- ✎ 企業コード、認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ✎ Google Workspace アカウントが、(A) 「メールアドレス」として表示されます。
- ✎ (B) [QR コード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QR コードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QR コードは、管理者にお問い合わせください。



**【28】 [送信] をタップします。**

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。

**【29】 [OK] をタップします。**

⇒ 初期登録画面が表示されます。

✎ 手順【30】～【32】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

**【30】 必要事項を選択、入力します。****【31】 [次へ] をタップします。**

✎ あらかじめ、管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

✎ 管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。

✎ 機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。

**【32】 [OK] をタップします。**

⇒ キットニングおよびライセンス認証が完了しました。



## 6 その他のキットティング方法

QRコードまたは NFC で、端末のキットティングを行います。


利用している端末やアカウントにより、キットティング方法が異なります。適切なキットティング方法を選んでください。

### 注意

- キットティングを行うには、端末を工場出荷状態（初期設定画面）にする必要があります。
- Android Enterprise を利用している場合は、あらかじめ管理サイトに Google アカウントの登録が必要です。詳細については、以下を参照してください。

 「Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う」 11 ページ

- Android 6.0 以上の端末で利用できます。ただし、端末によっては対応していない場合があります。詳細については、以下を参照してください。


 『Android エージェント対応端末表』

 動作保証の対象は、Android 11 以上です。

- 従来版エージェントから切り替える場合は、端末を初期化してからキットティングを行ってください。

### 参考

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておくこと、キットティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。

 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」



## 6.1 QR コードでキットニングする

QR コードを読み込んで、キットニングができます。

### 6.1.1 QR コードを表示する

- 【1】 [機器] → [認証手順] をクリックします。
- 【2】 [キットニング用 QR コード] をクリックします。

⇒ Device Owner Mode キットニング用 QR コードが表示されます。

表示された QR コードは「QR コードを端末に読み込む」手順【2】で端末に読み込みます。

- 📌 エージェントのバージョンが上がると、QR コードも変更になります。最新の QR コードは管理サイトを確認してください。



## 6.1.2 QR コードを端末に読み込む

工場出荷状態（初期設定画面）から設定を行います。

☑ 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキットニングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キットニングを行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

✍ 手順【8】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

### 【1】初期設定画面を 6 回タップします。

⇒ カメラが起動します。

☑ [始める] や [緊急連絡]などを避けて、タップしてください。

☑ SIM を挿入している場合、モバイルネットワーク接続が開始されます。




### 【2】以下を参照して、管理サイトで表示されている Device Owner Mode キットニング用 QR コードを読み込みます。

🔗 「QR コードを表示」 113 ページ






**【3】 [スキップ] をタップします。**

 モバイルネットワークを利用する場合は、SIM を挿入してください。



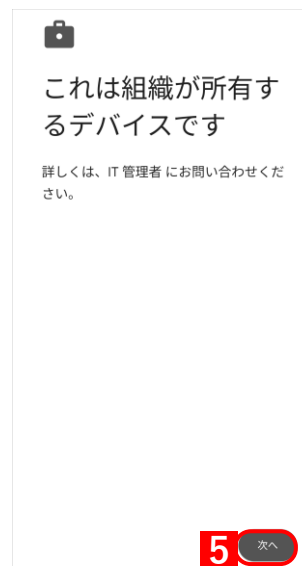
**【4】 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。**

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

-  必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。
-  Android 13 以上、かつ有線 LAN を接続している場合でも Wi-Fi 接続が必要です。有線 LAN 接続を解除して Wi-Fi 接続を行ったあと、有線 LAN に接続し直してください。
-  モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。



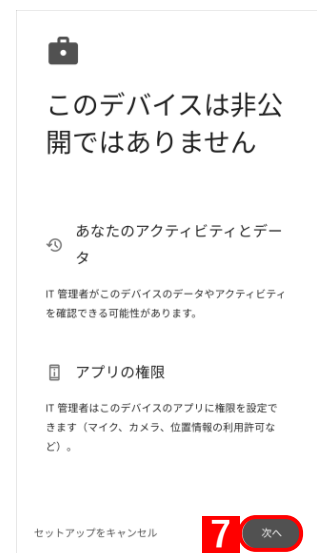
**【5】 [次へ] をタップします。**



**【6】** [同意して続行] をタップします。



**【7】** [次へ] をタップします。

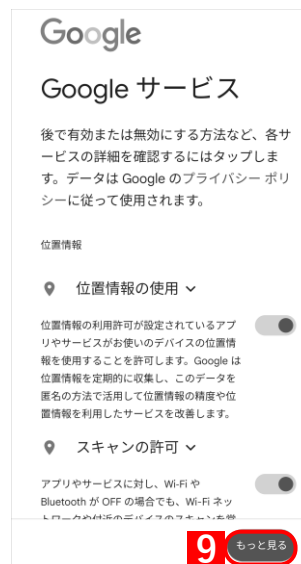


**【8】** [OK] をタップします。

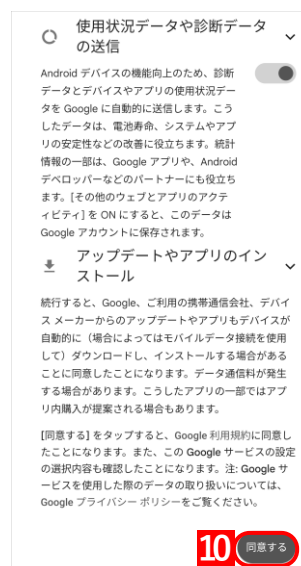


**【9】 [もっと見る] をタップします。**

☑️端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、[もっと見る] をタップします。



**【10】 [同意する] をタップします。**

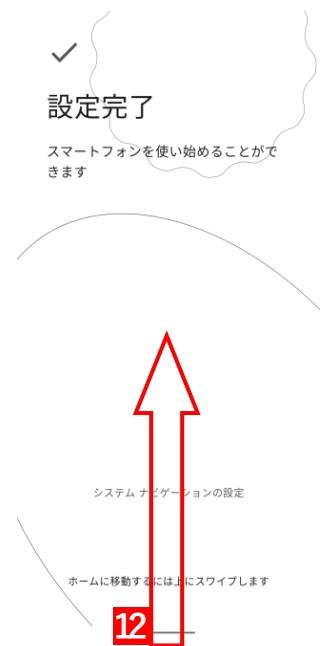


**【11】 [スキップ] をタップします。**



**【12】** 画面下部からスワイプします。

⇒ ホーム画面に移動します。



**【13】** [Device Management] をタップします。

✎ ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。



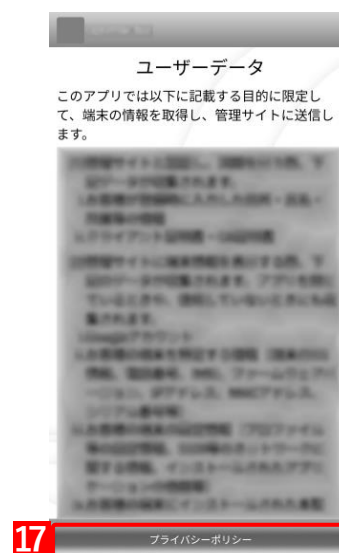
**【14】** [ライセンス認証] をタップします。



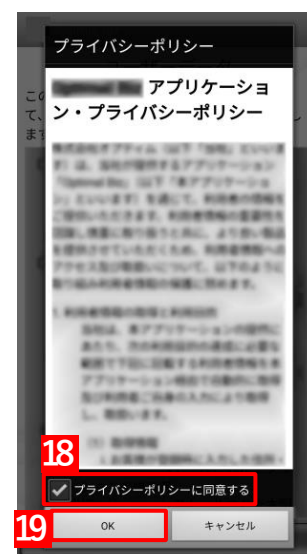
- 【15】 「使用許諾に同意する」にチェックを入れます。
- 【16】 [OK] をタップします。



- 【17】 ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。

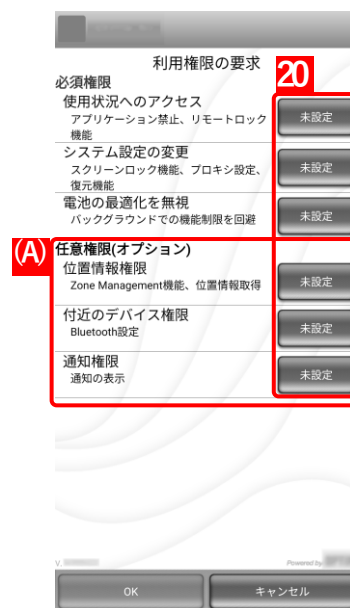


- 【18】 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。
- 【19】 [OK] をタップします。  
⇒ 権限要求画面が表示されます。



**【20】 画面の案内に従って設定を行ってください。**

- ☑ Android 12 以上でエージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、  
(A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
- ☑ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、  
(A) 任意権限にの「通知権限」が表示されます。「ストレージ権限」は表示されません。

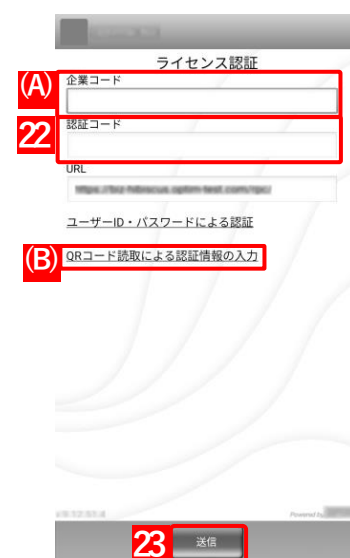


**【21】 [OK] をタップします。**



**【22】 「認証コード」を入力します。**

- ☑ 認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ☑ (A) 「企業コード」は、自動で入力されています。
- ☑ (B) [QR コード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QR コードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QR コードは、管理者にお問い合わせください。



**【23】 [送信] をタップします。**

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。



**【24】 [OK] をタップします。**

⇒ 初期登録画面が表示されます。

✎ 手順【25】～【27】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

**【25】 必要事項を選択、入力します。****【26】 [次へ] をタップします。**

✎ あらかじめ、管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

✎ 管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。

✎ 機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。

**【27】 [OK] をタップします。**

⇒ キットニングおよびライセンス認証が完了しました。



## 6.2 NFC でキットティングする

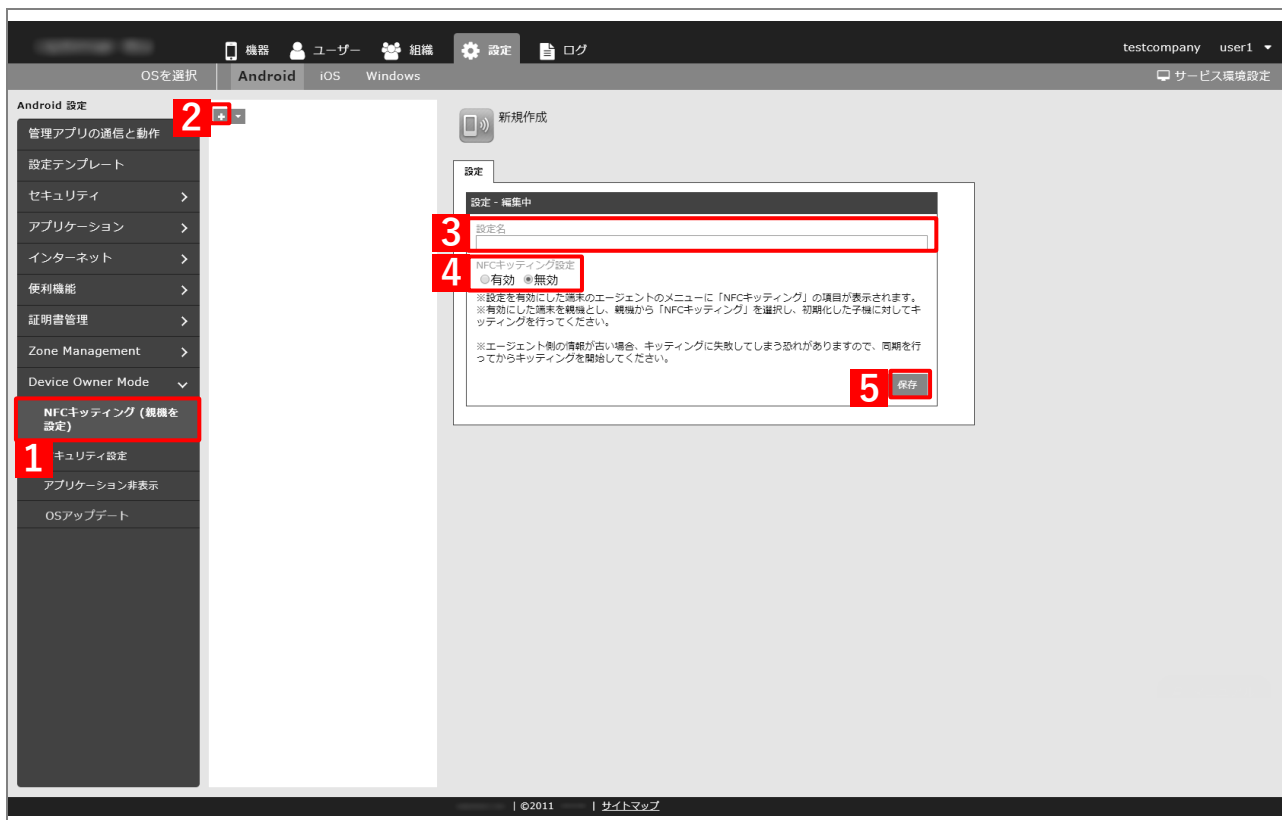
NFC を利用すると、親機の設定を行うことによって、簡単に複数の子機（キットティング対象端末）のキットティングを行うことができます。

📌 Android 6.0～9 の NFC 対応端末で利用できますが、動作保証の対象外です。NFC 対応端末については、以下を参照してください。

🔍 『Android エージェント対応端末表』

### 6.2.1 設定セットを作成する

- [1]** [設定] → [Android] → [Device Owner Mode] → [NFC キットティング (親機を設定)] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックし、作成画面を表示します。  
📌 設定セットは最大 50 件まで作成できます。
- [3]** 設定名を入力します。
- [4]** NFC キットティング設定の [有効] を選択します。
- [5]** [保存] をクリックします。



- [6]** 作成した設定セットを親機とする端末に [機器] → [一覧] → 対象の機器を選択 → ⏪ → 「設定」の [設定の割り当て] → [NFC キットティング設定] から適用します。  
適用の詳細については、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器の設定」 - 「(設定 - Android) 設定の割り当て」

## 6.2.2 親機を設定する

親機にする端末に NFC キットिंगの設定を行います。

- ☑ 管理サイト上で、NFC キットिंगが有効に設定されていない場合は、本機能は使用できません。
- ☑ 親機となる端末のエージェント情報が古い場合、キットिंगに失敗してしまう恐れがあります。あらかじめ同期を行い、エージェントアプリを最新にしてからキットिंगを開始してください。

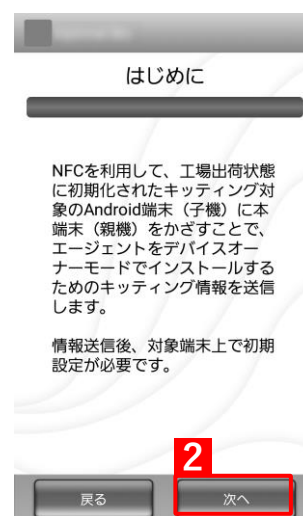
- 【1】** エージェントのメニュー画面で、(A) メニューボタンをクリックしてオプションメニューを表示し、[NFC キットिंग] をタップします。

⇒キットिंग手順を案内するメッセージが表示されます。




- 【2】** [次へ] をタップします。

⇒Wi-Fi の設定画面が表示されます。




**【3】** Wi-Fi の設定画面が表示されます。[Wi-Fi 設定をこの端末から送信する] を選択し、接続したい Wi-Fi の「SSID」、「パスワード」を入力、「プロキシ」を選択します。


 (A) [スキップする] を選択した場合は、子機の設定時に Wi-Fi ネットワークの情報を入力します。

**【4】** [次へ] をタップします。

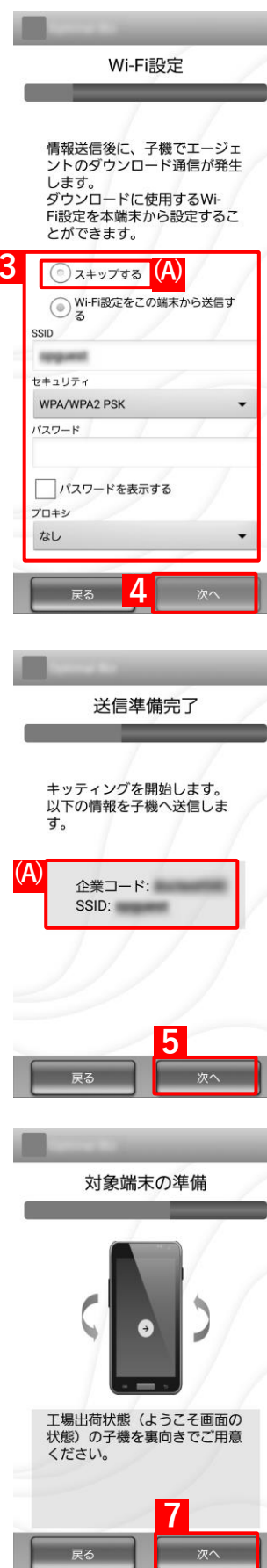
**【5】** (A) 「企業コード」および「SSID」の表示に誤りがないか確認し、[次へ] をタップします。

**【6】** 子機を裏向きにします。

 子機は工場出荷状態（初期設定画面）にする必要があります。

 親機の画面に表示されるアニメーションを参考にしてください。

**【7】** [次へ] をタップします。

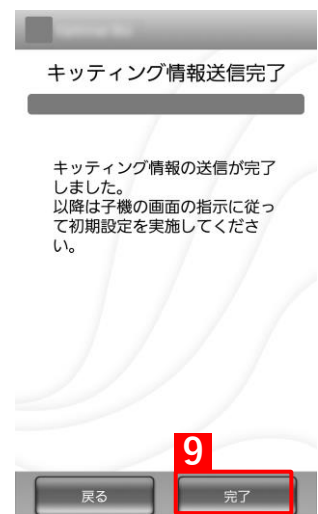


**[8]** 親機を子機の背面にかざします。親機の画面が変化したら、親機の画面をタップします。[次へ] をタップします。

- ☑ 複数の端末を連続してキットティングする場合は、[次へ] はタップせずに、この画面のまま連続して子機にかざしてください。
- ☑ 端末によっては、背面に NFC がない場合があります。NFC の位置は、端末の説明書を確認してください。
- ☑ 子機では、機種によって暗号化が始まる場合があります。電池残量が少ない場合は、失敗することがありますので、注意してください。

**[9]** キットティング情報の送信が完了しました。子機の画面の指示に従って、初期設定を行ってください。[完了] をタップすると、エージェントのメニュー画面に戻ります。

- ☑ 子機が NFC 未対応機種の場合は、親機で情報送信が完了の表示になっても子機側で何も反応しません。



## 6.2.3 子機を設定する

子機に NFC キットニングでキットニングします。

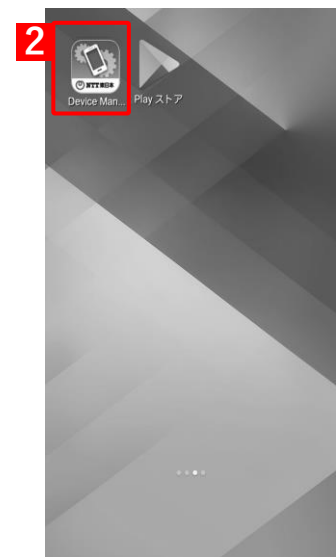
- ☑ キットニングを行う場合は、あらかじめ NFC キットニング設定を有効にした親機を用意する必要があります。
- ☑ 子機は工場出荷状態（初期設定画面）にする必要があります。

**【1】** 初期設定画面を表示させた子機を裏向きにし、親機をかざします。

- ☑ 詳細については、「親機を設定する」の手順【6】～【8】を参照してください。



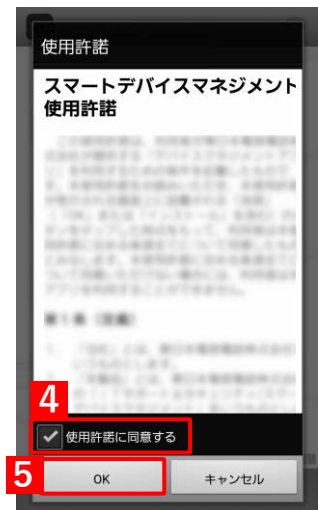
**【2】** [Device Management] をタップします。



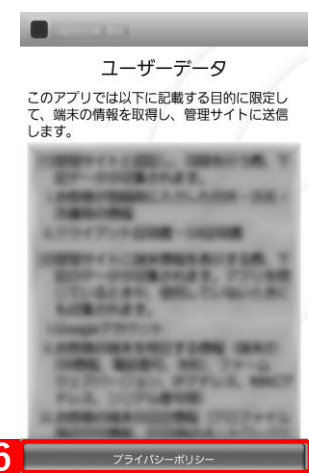
**【3】** [ライセンス認証] をタップします。



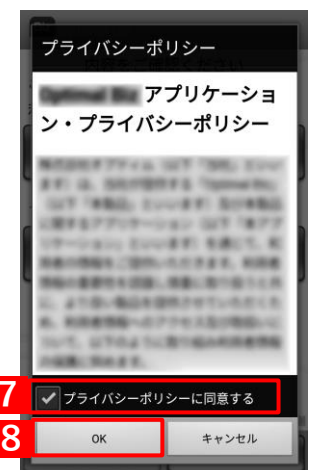
- 【4】** 「使用許諾に同意する」にチェックを入れます。
- 【5】** [OK] をタップします。



- 【6】** ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



- 【7】** 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。
- 【8】** [OK] をタップします。  
⇒ 権限要求画面が表示されます。



**【9】** 画面の案内に従って設定を行ってください。

**【10】** [OK] をタップします。

⇒ キットニングが完了しました。  
以下に進んでください。

🏠 「ライセンス認証を行う」 129 ページ





## 6.3 ライセンス認証を行う

キットニングが完了したら、ユーザーID または企業コード・認証コードでライセンス認証を行います。

☑ QR コードでキットニングを行った場合は、キットニングでライセンス認証を行っているため、本操作は不要です。

### 6.3.1 ユーザーID で認証する

**[1] [ユーザーID・パスワードによる認証] をタップします。**

✎ (A) 「企業コード」は、自動で入力されています。

**[2] 「企業コード」、「ユーザーID またはメールアドレス」、「パスワード」を入力します。**

☑ 企業コード、ユーザーID、パスワードは、管理者にお問い合わせください。

✎ (A) URL は変更不要です。

**[3] [送信] をタップします。**

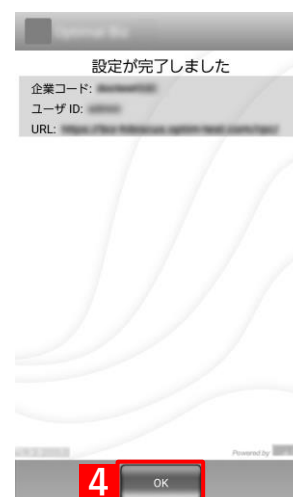
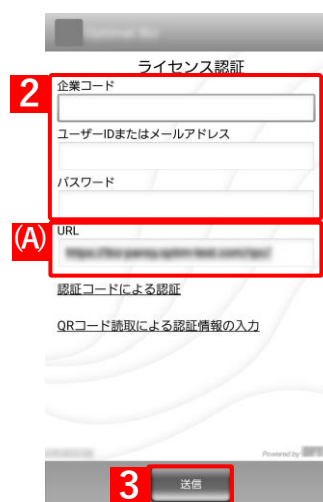
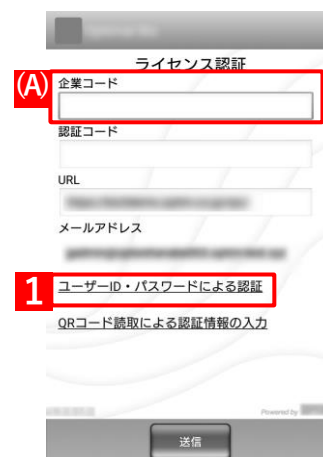
⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。

**[4] [OK] をタップします。**

⇒ エージェントのメニュー画面が表示されます。

☑ ライセンス認証後、管理サイトで初回の同期が完了するまでは、エージェントを操作することができません。エージェントのメニュー画面や操作については、以下を参照してください。

🔍 『Android クライアント リファレンスマニュアル』



### 6.3.2 企業コード・認証コードで認証する

Android Enterprise を利用している場合は、ライセンス認証完了後に、管理サイトで端末に該当ユーザーを割り当ててください。

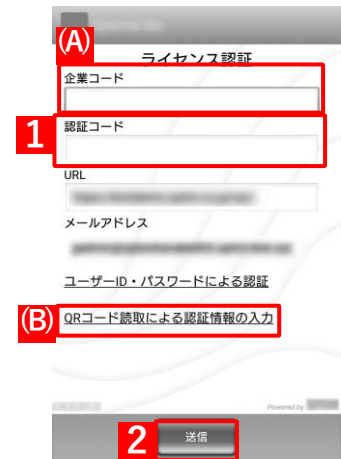
『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器の管理情報」

#### 【1】 「認証コード」を入力します。

- ☑ 認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ✍ (A) 「企業コード」は、自動で入力されています。
- ✍ (B) [QRコード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QRコードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QRコードは、管理者にお問い合わせください。

#### 【2】 [送信] をタップします。

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。

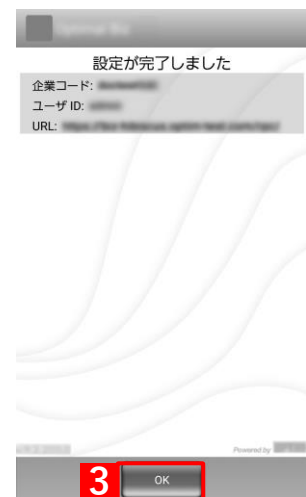


#### 【3】 [OK] をタップします。

⇒ 初期登録画面が表示されます。

- ✍ 手順【4】～【6】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」 - 「ポータル表示」



#### 【4】 必要事項を選択、入力します。

#### 【5】 [次へ] をタップします。

- ☑ あらかじめ、管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

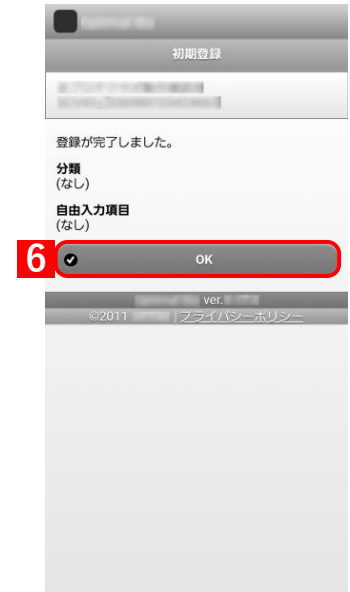
『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「入力項目のカスタマイズ」

- ☑ 管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。

- ✍ 機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。



**[6]** [OK] をタップします。



## 7 オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント － Google 間の連携設定を変更する

「Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う」で登録した Google Workspace アカウントまたは、Google Workspace アカウントの削除や再登録ができます。

## 7.1 Google アカウントを削除する

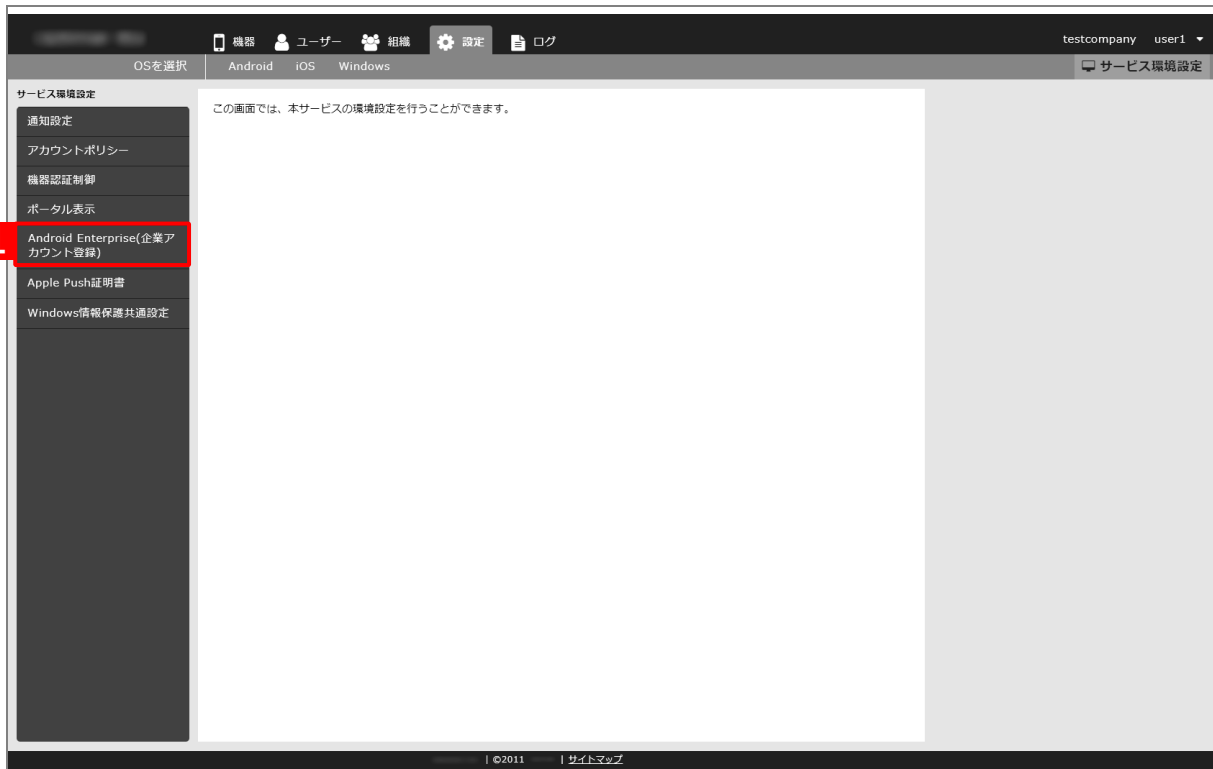
登録している Google アカウントが利用できなくなった場合などは、以下の手順で削除してください。

☑ Google アカウントを削除したあと、別の Google アカウントを再登録した場合は、端末を再度キットニングする必要があります。

☑ Google アカウントを削除すると、Android Enterprise の設定もすべて削除されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「Android Enterprise」

**[1]** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise 企業アカウント登録] をクリックします。



- [2]** 「同意する」にチェックを入れます。
- [3]** 「アカウント削除」をクリックします。

⇒アカウント未登録の画面が表示されます。

**Android Enterprise(企業アカウント登録)**

状態  
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別  
Googleアカウント

アカウントメールアドレス  
[REDACTED]

組織ID  
[REDACTED]

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ「同意する」にチェックを入れて「アカウント削除」ボタンをクリックしてください。

**2**  同意する

**3** アカウント削除

- ✎ (A) 「状態」に「未登録(復元データあり)」とデータ保持期限が表示されます。
- ✎ 同じアカウントを再登録する場合は、(C) [アカウント再登録] をクリックします。詳細については、以下を参照してください。
  - 🔗 「Google アカウントを再登録する」 136 ページ
- ✎ 別のアカウントを登録する場合は、(B) [アカウント新規登録] をクリックします。詳細については、以下を参照してください。
  - 🔗 「Google アカウントを登録する」 12 ページ

Android Enterprise(企業アカウント登録)

**(A)** 状態  
未登録(復元データあり)  
データ保持期限: 2018/05/17

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別  
Googleアカウント

アカウントメールアドレス  
[REDACTED]

組織ID  
[REDACTED]

▲ データ保持期限内にアカウントを再登録した場合、以前のアカウントデータが引き継がれます。データ保持期限が過ぎた後は引継ぎデータは削除されます。

**(B)**  
アカウント新規登録

**(C)**  
アカウント再登録

## 7.2 Google アカウントを再登録する

削除した Google アカウントを、再登録します。

Google アカウントに応じて、いずれかの方法で再登録してください。

- 企業ドメインのメールアドレスで再登録する場合
- Gmail のメールアドレスで再登録する場合

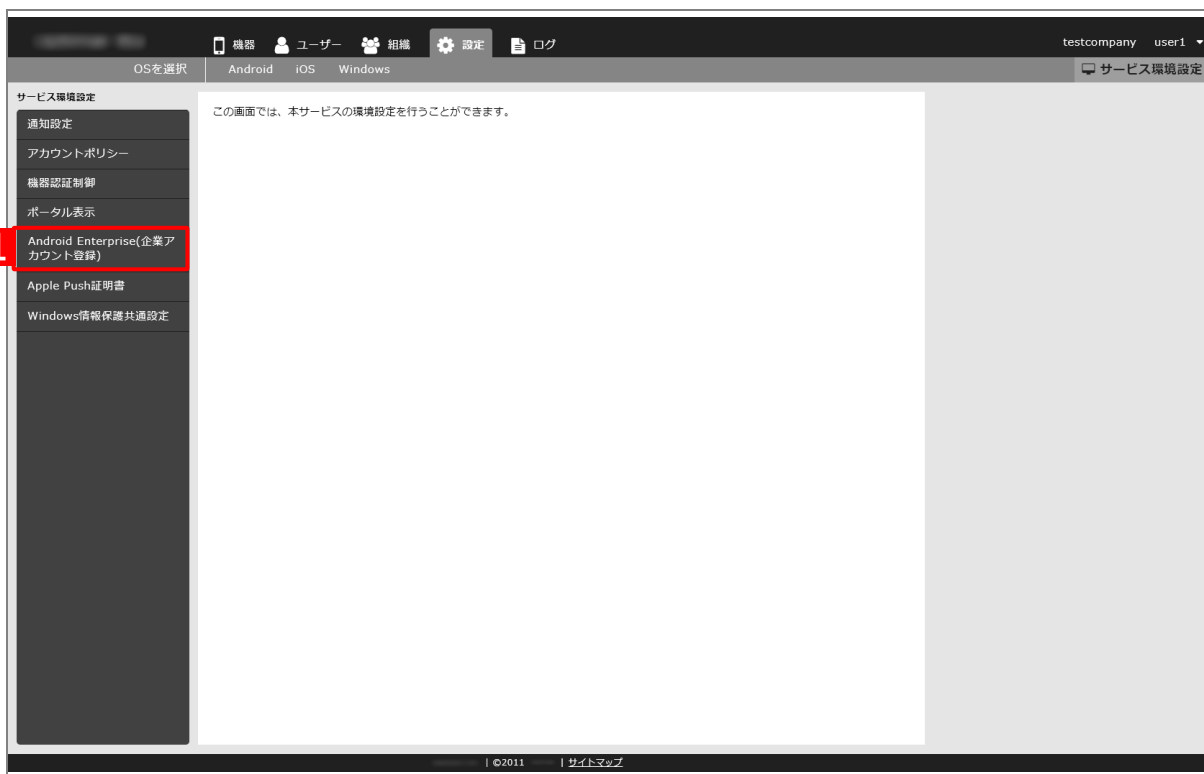
✔ 再登録できるのは、直近に削除した Google アカウントのみです。

✔ Google アカウントを再登録しても、Android Enterprise の設定はすべて再登録されません。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「Android Enterprise」

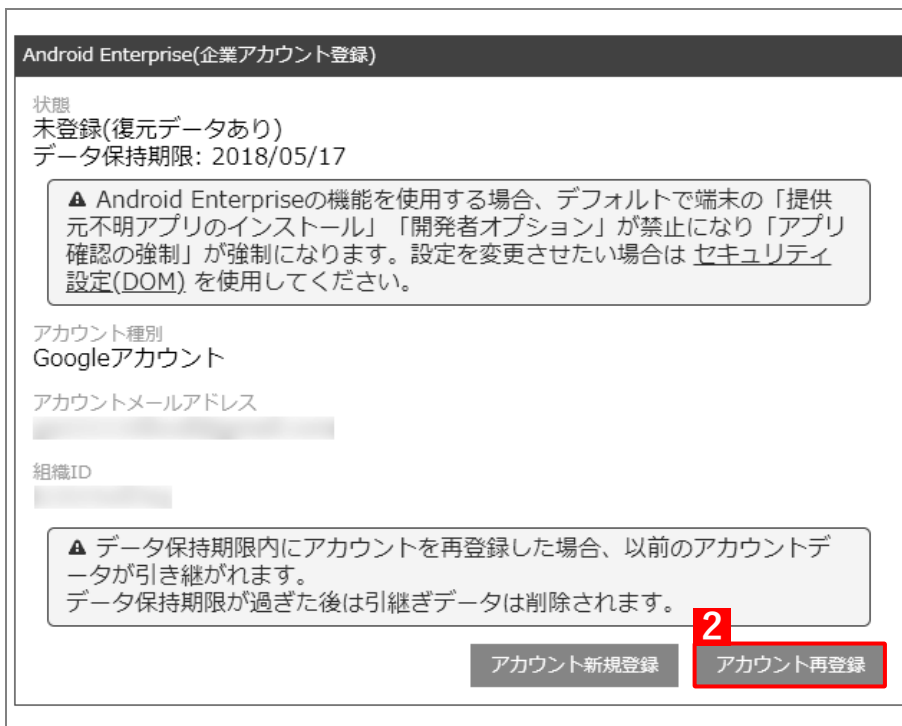
### 7.2.1 企業ドメインのメールアドレスで再登録する場合

- 【1】 [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。





**[2]** [アカウント再登録] をクリックします。



**[3]** 企業ドメインのメールアドレスを入力します。

**[4]** [次へ] をクリックします。




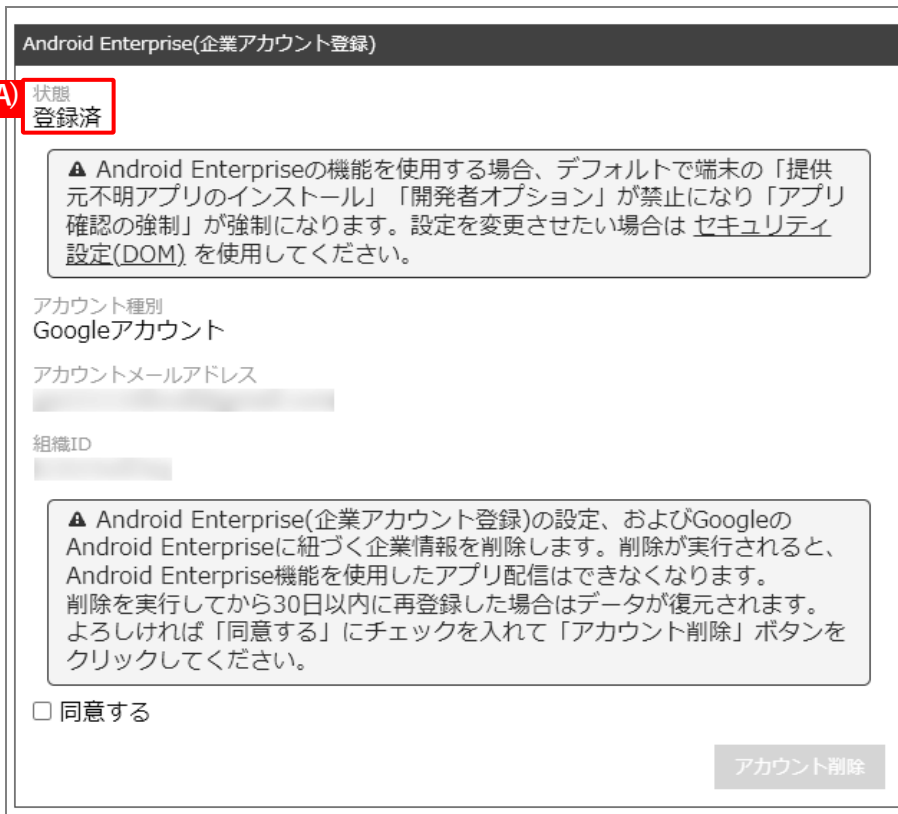
**【5】** 再登録したい削除済みアカウントの組織 ID を選択します。

**【6】** [確認] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。

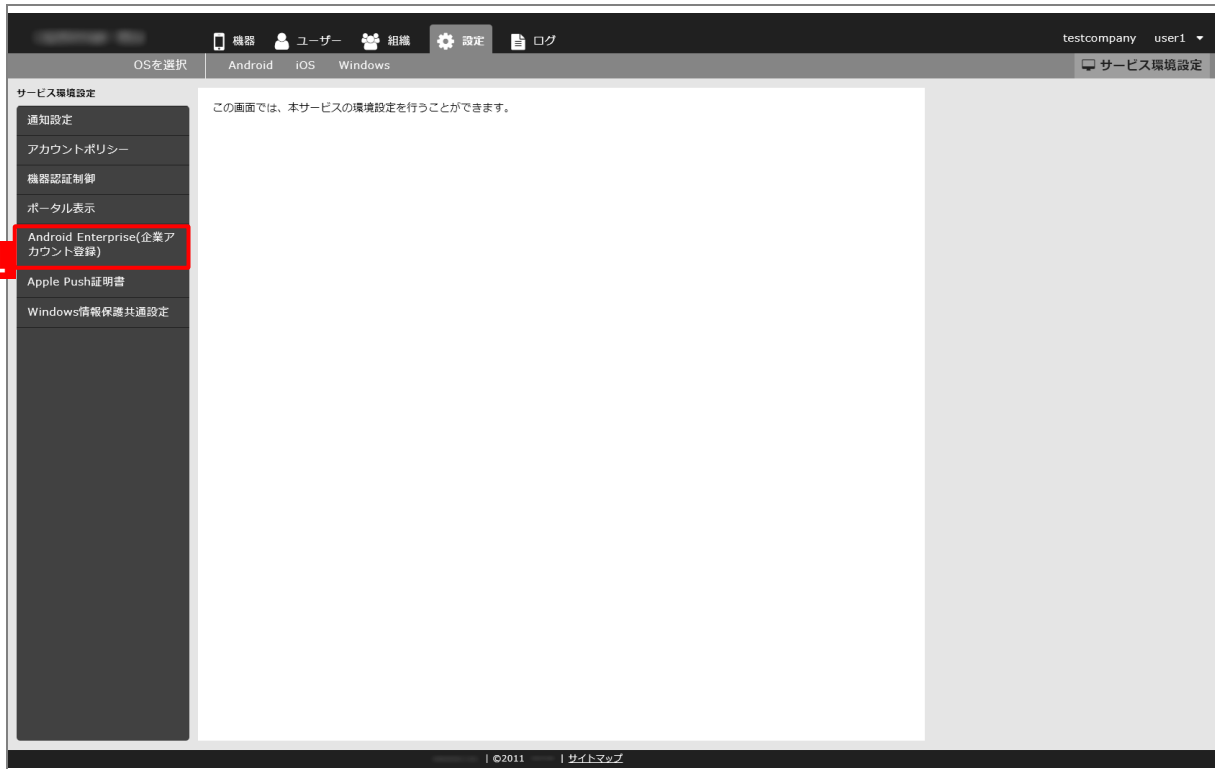


 (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。

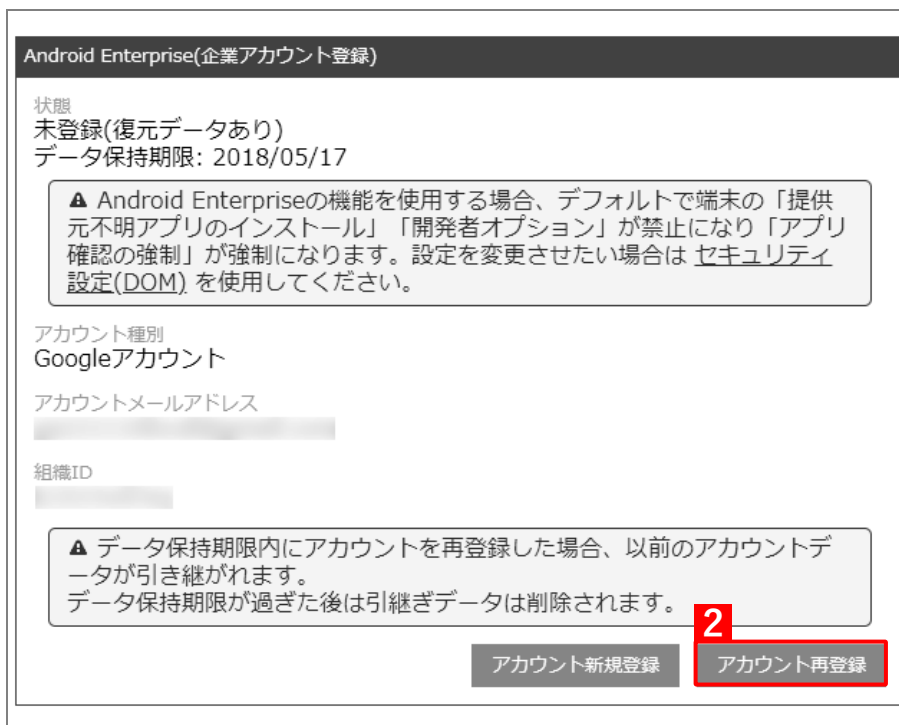


## 7.2.2 Gmail のメールアドレスで再登録する場合

- 【1】** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



- 【2】** [アカウント再登録] をクリックします。



**[3]** Gmail のメールアドレスを入力します。

**[4]** [次へ] をクリックします。

**[5]** 「Android のみ登録」の「登録」をクリックします。

⇒ Google Play ストアが表示されます。

🚩 利用しているブラウザにより、Google Play ストアが正常に動作しないことがあります。

**【6】 [再登録] をクリックします。**

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



(A) 「状態」は「登録済」と表示されています。

**Android Enterprise(企業アカウント登録)**

**(A) 状態 登録済**

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別  
Googleアカウント

アカウントメールアドレス  
[ ]

組織ID  
[ ]

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ「同意する」にチェックを入れて「アカウント削除」ボタンをクリックしてください。

同意する

アカウント削除

## 7.3 Google Workspace アカウントを削除する

登録している Google Workspace アカウントが利用できなくなった場合などは、以下の手順で削除してください。

- [1]** Google 管理コンソール (<https://admin.google.com>) を表示し、[デバイス] をクリックします。




- [2]** [設定] → [サードパーティとの連携] をクリックします。

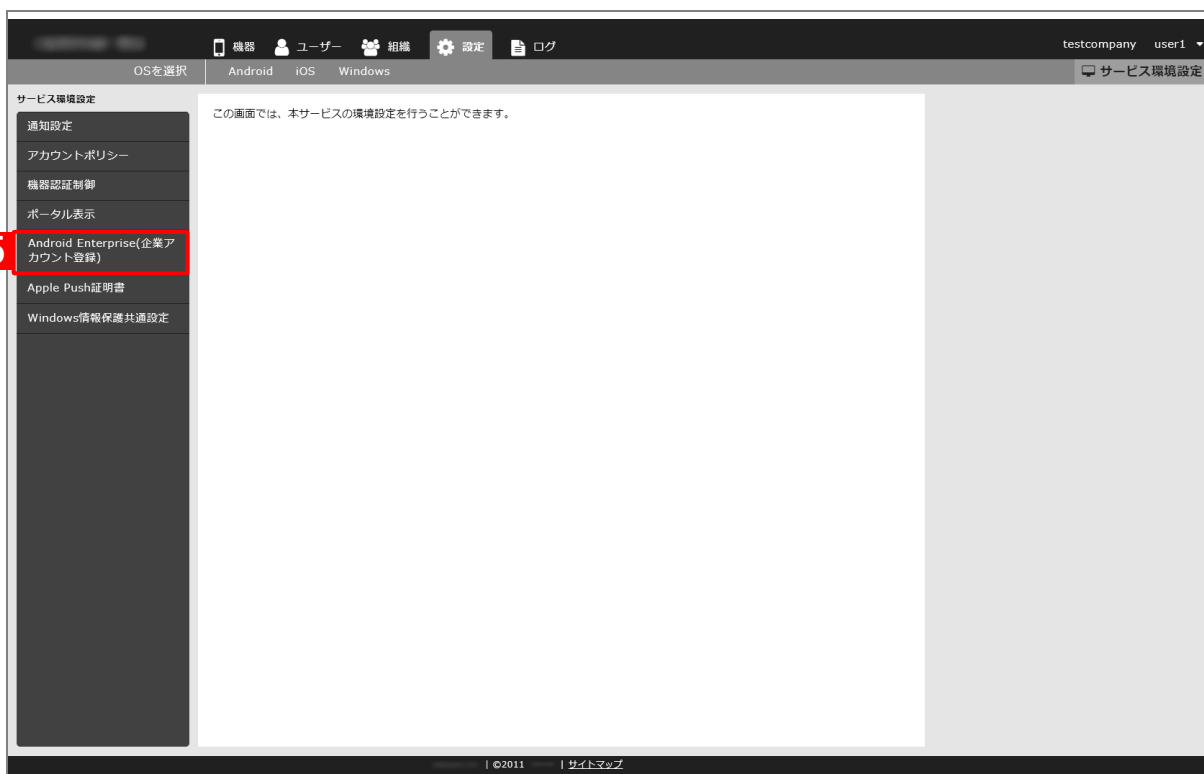


- 【3】** 「Android EMM」の「サードパーティの Android モバイル管理を有効にする」のチェックを外します。
- 【4】** 「保存」をクリックします。



 以下の操作は、管理サイトで行います。

- 【5】** 「設定」 → 「サービス環境設定」 → 「Android Enterprise (企業アカウント登録)」をクリックします。




**【6】** 「同意する」にチェックを入れます。

**【7】** 「アカウント削除」をクリックします。

⇒アカウント未登録の画面が表示されます。

 再びアカウントを登録する場合は、以下を参照してください。

 「Google Workspace アカウントを登録する」96 ページ

**Android Enterprise(企業アカウント登録)**

状態  
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別  
Google Workspaceアカウント

ドメイン  
████████████████████

EMMトークン  
████████████████████

組織ID  
████████████████████

▲ Google Workspaceアカウント連携をご利用の方は、特権管理者アカウントで Google Workspaceにログイン後、下記URLへアクセスし規約に同意してください。  
<https://play.google.com/work/termservice>

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。

**6**  同意する

**7** アカウント削除